

阿蘇くじゅう国立公園

指定書、公園計画書、
公園区域及び公園計画変更書
〔第6次点検〕

令和7年2月28日
環境省

阿蘇くじゅう国立公園
指定書

[第6次点検]

令和7年2月28日
環境省

目 次

1 指定理由.....	1
2 地域の概要.....	2
(1) 阿蘇地域.....	2
ア 景観の特性.....	2
(ア) 地形、地質.....	2
(イ) 植生.....	2
(ウ) 野生動物.....	3
イ 利用の現況.....	3
ウ 社会経済的背景.....	3
(ア) 土地所有別.....	3
(イ) 人口及び産業.....	4
(ウ) 権利制限関係.....	4
a 保安林.....	4
b 鳥獣保護区.....	5
c 史跡名勝天然記念物.....	6
(2) くじゅう地域.....	6
ア 景観の特性.....	6
(ア) 地形、地質.....	6
(イ) 植生.....	7
(ウ) 野生動物.....	8
イ 利用の現況.....	9
ウ 社会経済的背景.....	9
(ア) 土地所有別.....	9
(イ) 人口及び産業.....	9
(ウ) 権利制限関係.....	10
a 保安林.....	10
b 鳥獣保護区.....	11
c 史跡名勝天然記念物.....	11
3 公園区域.....	12

1 指定理由

(1) 景観

阿蘇くじゅう国立公園は、九州のほぼ中央に位置し、熊本県の阿蘇地域と大分県のくじゅう地域からなる。

阿蘇地域は、東西 18km、南北 25km、周囲 128km を有する世界最大級の阿蘇カルデラと、カルデラ内部に形成された中央火口丘を含み、その北東部に広がるくじゅう九重山群に連なる区域とあわせ、特色ある広大な火山地形と日本最大の半自然草原から構成されている。

本地域は、霧島火山帯、大山火山帯及び瀬戸内火山帯が重なり、二重式活火山として各種の火山地形が見られ、緩やかな起伏を示す広大な草原が景観の特徴であるが、このほか菊池溪谷、南外輪山、北向山、根子岳等には天然林も残されている。火口原には古くから居住者が多く、農林業が盛んで、文化史跡も多く、人文景観にも恵まれている。また、このような当該地域の火山地形、地質及びそれに纏わる生活史が学術的に高い評価を受け、平成 26 年に「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されている（平成 31 年に再認定）。

くじゅう地域は、九州（本島）最高峰の中岳と久住山、大船山を擁する九重山群、別府温泉の背後に連座する由布鶴見火山群からなっている。

本地域の景観は、両火山群の溶岩ドームが中心をなしているが、小田の池、山下池等の湖沼、黒岳、由布岳の原生林、タデ原、坊ガツル、猪の瀬戸等の火山性の湿原もみられるほか、九重山群の南麓には広大な草原景観が広がるなど、変化に富んでいる。

以上により、阿蘇くじゅう国立公園は、世界最大級の阿蘇カルデラとその中央にそびえる中央火口丘、九州本島最高峰の中岳や久住山を中心とするくじゅう連山及び由布鶴見火山群からなる景観を風景形式とするとともに、我が国最大の半自然草原を含む草原景観が広がり、我が国を代表する傑出した自然の風景地である。

(2) 規模

本国立公園の区域面積は 76,289ha である。そのうち阿蘇地域は 57,640ha、くじゅう地域は 18,649ha である。

(3) 自然性

本国立公園の景観核心地域は、阿蘇地域では中央火口丘の高岳や根子岳といった山頂及び火口周辺の火山地形、並びに菊池溪谷周辺であり、区域面積は 3,006ha である。

くじゅう地域では、中岳や久住山等から構成されるくじゅう連山及び由布岳の山頂及び山稜部、並びに山麓の火山性湿地が景観核心地域であり、区域面積は 3,382ha である。

(4) 利用

本国立公園の利用は、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々、くじゅう連山、由布岳や鶴見岳への登山やハイキング、カルデラや草原景観の風景観賞や乗馬、サイクリング等の自然体験、中岳の火口探勝、南阿蘇湧水群や男池湧水群等の湧水巡り、別府・阿蘇を結ぶ「九州横断道路（通称やまなみハイウェイ）」等のドライブ、火山活動を背景にした内牧温泉、地獄垂玉温泉、筋湯温泉等における温泉保養、キャンプ利用及び阿蘇神社等の参拝等が主で

ある。

また、平成 28 年熊本地震により被災した利用施設等の復旧が進められているほか、防災教育に活用できる震災遺構等の被災を教訓とした利用施設の整備にも取り組まれている。

以上により、国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領に記載される要件を満たすことから、本地域を国立公園に指定する。

また、本国立公園のテーマを「草原のかほり、火山の呼吸。風と水の恵みを人が継(つ)ぎ人が繋(つな)ぐ、感動の大地」とし、世界最大級のカルデラを含む火山地形と、人の営みによって利用・維持される草原景観を楽しむことができる国立公園として、風致景観の保護と適切な利用を推進する。

2 地域の概要

(1) 阿蘇地域

ア 景観の特性

(ア) 地形、地質

「阿蘇カルデラ」の地形は、約 27 万年前から 9 万年前の間に繰り返された大規模な火山噴火により生じた世界最大級かつ形状の明瞭なカルデラと、その周辺に堆積した火砕流や、遠見ヶ鼻、象ヶ鼻、妻子ヶ鼻、清栄山、冠ヶ岳等（標高約 800～1,100m）のカルデラ生成前に生成された外輪山からなる。カルデラ内部には火口原が広がり、阿蘇五岳と呼ばれる高岳、中岳、根子岳、鳥帽子岳、杵島岳（標高約 1,600～1,300m）のほか、多くの火口丘が生成されている。中岳では、現在も噴火活動が続いている。また、北東部の外輪山は九重山群の裾野に接している。

カルデラ形成前の阿蘇地域は、先阿蘇火山が群れを成していたが、その後のカルデラ形成大噴火により大カルデラを生じ、さらにその後、中央に火口丘群が形成されたとされている。外輪山周辺は、巨大火砕流による溶結凝灰岩類に広く覆われている。

(イ) 植生

本地域は、放牧、採草、火入れ等の人為が加えられながら維持されている日本最大の半自然草原が特徴となっており、おおむね中央火口丘ではススキが、外輪山ではネザサがそれぞれ優勢な草原となっている。これらイネ科の草原では、ススキ、ネザサ、トダシバ、ワラビが優占するほか、ハルリンドウ、ミツバツチグリ、ウマノアシガタ、ツクシノボロスゲ、オキナグサ、リンドウ、アソノコギリソウ、シラヤマギク、カワラマツバ、バイカイカリソウ等が多い。この中には、希少種としてヒゴタイ、ヤツシロソウ、コウライトモエソウ等特殊な植物もある。また、畜産業の振興のため、冬でも緑色をしている改良牧野が草原の緩傾斜地に広がっている地区もある。

野草地であっても、放牧、採草、火入れ等を止めたため、ヤマツツジ、ノリウツギなどの低木林やヤシャブシ、コナラ、ミズナラ等高木林へと遷移がみられる地区もある。

火口周辺は噴煙などの影響を受けて火山荒原となっており、イタドリ、コイワカンスゲの特異な群落が形成され、外縁部にはミヤマキリシマの群落がみられる。

天然林は、中央火口丘では根子岳に、外輪山では南外輪山稜線部分及び火口瀬の左岸北向山に、また北外輪山西部斜面の菊池溪谷に残されている。このうち標高 700m 以上では落葉樹林としてミズナラ、ブナ、ケヤキ、カエデ類がみられるが、それ以下の標高 200～600m の範囲では、カシ、シイ、タブ類の照葉樹林からなっている。

人工林としては、外輪山内壁及び中央火口丘裾野の崖錐地及び扇状地に、スギ、ヒノキの造林が見られ、人工林化が進みつつある。

(ウ) 野生動物

哺乳類では、南外輪山でサルの群れがおり、キツネの生息密度も高い。

鳥類では 100 種類以上が生息し、中でも高原で繁殖するコジュリンとコヨシキリは現在知られている繁殖地の南限として貴重である。

蝶類は草原にクヌギ、カシワ、ミズナラが生立する環境にあるため、その種類は極めて豊富で 100 種を超え、ヒメシロチョウ、オオルリシジミ、ハヤシミドリシジミ等が特記される。

イ 利用の現況

本国立公園の利用の特色は、道路がよく整備され、自動車による利用が多いことで、中でも阿蘇と別府を結ぶ九州横断道路は、阿蘇・くじゅうにまたがる広域的な景観探勝を楽しむ公園道路として、本国立公園利用の基幹となっている。

阿蘇中央火口丘では、現在も活動が続ける中岳の火口探勝及び草千里地区でのトレッキングやハイキング利用等に年間約 43 万人の利用者がみられ、阿蘇火山博物館内にある阿蘇山上ビジターセンターが、自然情報の発信拠点の 1 つとなっている。

また、中央火口丘山麓及び外輪山上一帯に広がる草原では、ハイキング、キャンプ等の野外レクリエーション利用が盛んであり、近年では、乗馬、サイクリング、パラグライダー等の多様な自然体験が行われている。地域内には内牧温泉や地獄垂玉温泉等が、また、隣接する公園区域外には黒川温泉等の温泉地があり、公園利用の宿泊基地となっている。

さらに、南阿蘇、地獄垂玉、瀬の本に集団施設地区が設けられており、南阿蘇集団施設地区内にある南阿蘇ビジターセンターは、自然情報の発信拠点の 1 つとして機能している。

ウ 社会経済的背景

(ア) 土地所有別

中央火口丘の中腹以上は国有地、山麓は公有地が多い。外輪山内壁の稜線に近い部分は一部国有地、大部分は公有地であり、中腹部分は公有地が多いが、一部には私有地が優占している地区もある。山麓は大部分が私有地である。北外輪山の外側は一部国有地で、大部分が公有地と私有地である。国有地、公有地、私有地の割合はほぼ 1：4：5 となっているが、公有地の大半は地元部落の入会権を伴っており、その権利関係は複雑である。

国有地 4,820ha、公有地 27,928ha、私有地 24,892ha

(イ) 人口及び産業

阿蘇地域に関係する各市町村の世帯数、人口は次のとおりである。

(令和5年10月1日現在)

市町村	世帯数（世帯）	人口（人）
菊池市	18,176	45,184
阿蘇市	11,706	24,633
菊池郡大津町	15,890	35,967
阿蘇郡南小国町	1,670	3,659
阿蘇郡小国町	2,924	6,158
阿蘇郡産山村	537	1,328
阿蘇郡高森町	2,480	5,518
阿蘇郡南阿蘇村	4,209	9,592

阿蘇市、南阿蘇村の2市村は、ほぼ全域が公園区域に含まれるが、主居住区及び主生産基盤である農業区域は、普通地域であり、住民生活上、自然公園法による制約は多くはない。他市町村については、住民生活の基盤地域は概ね公園区域外である。

当該地域の産業は、農・林・畜産業が主体であるが、近年、阿蘇谷及び南郷谷を中心に観光産業の占める割合が増加している。

農業はカルデラ内での米作を主体に、一部に高冷地野菜栽培がみられる。林業は、スギ、ヒノキの他、シイタケ栽培が行われている。

畜産は、古くから、肥後あか牛を中心に牛馬の生産が盛んであり、火入れ、放牧、採草を繰り返す粗牧的な経営が続けられ、本国立公園景観の基盤である草原景観が維持されてきたが、草地改良等の集約化事業や一部草原における造林地化が行われたことにより、草原景観にも変化がみられる。

(ウ) 権利制限関係

a 保安林

種類	位置	重複面積（ha）	指定年月日
水源かん養	熊本県菊池市地内		
	熊本県阿蘇市地内		
	熊本県菊池郡大津町地区内		
	熊本県阿蘇郡南小国町地内		
	熊本県阿蘇郡小国町地内		
	熊本県阿蘇郡産山村地内		
	熊本県阿蘇郡高森町地内		
	熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内		
土砂流出防備	熊本県阿蘇市地内		
	熊本県阿蘇郡南小国町地内		

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
	熊本県阿蘇郡小国町地内		
	熊本県阿蘇郡産山村地内		
	熊本県阿蘇郡高森町地内		
	熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内		
土砂崩壊防備	熊本県阿蘇市地内		
	熊本県阿蘇郡小国町地内		
落石防止	熊本県阿蘇市地内		
保健	熊本県阿蘇市地内		
	熊本県阿蘇郡産山村地内		
	熊本県阿蘇郡高森町地内		

注) 阿蘇地域の保安林の重複面積について、正確な値は不明である。

b 鳥獣保護区

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
菊池水源 鳥獣保護区	熊本県菊池市地内 熊本県阿蘇市地内	1,240	令和元年 11 月 1 日
鞍岳 鳥獣保護区	熊本県菊池市地内	223	平成 25 年 11 月 1 日
南宮原 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	438	平成 24 年 11 月 1 日
的石端辺 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	1,371	平成 25 年 11 月 1 日
高塚 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	445	平成 26 年 11 月 1 日
高岳 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	556	令和元年 11 月 1 日
乙姫 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	361	平成 30 年 11 月 1 日
斧岳 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	446	平成 30 年 11 月 1 日
小柏 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	606	令和元年 11 月 1 日
長陽 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内 熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	1,432	平成 30 年 11 月 1 日
北向山 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津町地内 熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	309 (うち特保 99)	平成 29 年 11 月 1 日
瀬田裏 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津町地内	213	平成 27 年 11 月 1 日

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
矢護山 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津町地内	174	平成 24 年 11 月 1 日
満願寺 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南小国町地内	608	平成 30 年 11 月 1 日
湯風呂 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南小国町地内	69	平成 21 年 11 月 1 日
休暇村 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡高森町地内	488	平成 30 年 11 月 1 日
色見 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡高森町地内	384	平成 30 年 11 月 1 日
中松 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	872	平成 29 年 11 月 1 日
小牧羅漢 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	213	平成 30 年 11 月 1 日

c 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
国指定史跡指定	豊後街道	熊本県阿蘇市地内	平成 25 年 7 月 10 日
国指定名勝及び天然記念物	米塚及び草千里ヶ浜	熊本県阿蘇市地内 熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	平成 25 年 3 月 27 日
国指定天然記念物	阿蘇北向谷原始林	熊本県菊池郡大津町地内	昭和 44 年 8 月 22 日
県指定史跡	上御倉古墳	熊本県阿蘇市地内	昭和 34 年 12 月 8 日
県指定史跡	下御倉古墳	熊本県阿蘇市地内	昭和 34 年 12 月 8 日
県指定史跡	中通古墳群	熊本県阿蘇市地内	昭和 34 年 12 月 8 日

(2) くじゅう地域

ア 景観の特性

(ア) 地形、地質

くじゅう連山は、標高 1,787m の久住山を主峰とする九重火山群を中心に、その周辺を取り巻く標高 500～1,000m の広大な高原地帯からなってくる。

九重火山群は、山陰火山系の中心をなすもので三段階の火山形成過程がみられる。まず涌蓋山、一目山の輝石安山岩の噴出、次いで花牟礼山、鍋山、鏡山等の輝石安山岩や角閃石安山岩の噴出、最後に、両火山群の中間への溶岩の噴出である（狭義の九重火山群）。三次の噴出によって形成された火山群は、中央の久住山、東方の大船山、西方の黒岩山の 3 山地に分かれている。角閃石安山岩からなる溶岩ドームの黒岩山が地質的に最も古く、久住山、大船山は、溶岩ドームや火砕丘の集合体である。

星^{ほっしょう}生山、硫黄山の尾根では無数の硫気孔から噴気が立ちのぼり、付近一帯は裸地となっているなど、九重火山活動による特異な景観を呈している。

くじゅう連山山麓の筋湯、長者原等には温泉が湧出している。自然景観としては、山岳地域のミヤマキリシマ群落、山麓に点在するタデ原、坊ガツル等の火山性の湿原景観、くじゅう連山の南麓の久住高原の草原景観が特筆される。

これらの湿原や草原は、古来より、人の手が加わることで維持されてきた景観であることが特徴で、人の暮らしに寄り添うように生育している湿性・草原性の希少な植物群落が、くじゅう連山の山麓地域の独特の景観を造り出している。

由布鶴見火山群は、標高 1,583mの由布岳及び標高 1,375mの鶴見岳からなる由布鶴見火山と、その南麓に広がる高原地域からなっている。

由布岳は、この地域の最高峰で、頂上には西ノ岳、東ノ岳、剣ノ峯の3峰がある。頂上部の3つのくぼ地は旧噴火口であり、これらの地形から判断して活動の中心が南から西に移動したことが推定されている。由布岳の火山岩は、主として含橄欖石両輝石角閃安山岩からなる。

鶴見岳は、溶岩ドームの複合体であり、山頂北西部には赤池と呼ばれる噴気孔があり、現在も盛んに噴気を上げている。鶴見岳の火山岩は、主として含石英両輝石角閃安山岩からなる。

九重地区と由布鶴見火山群をつなぐ九州横断道路沿線地帯は、かつては、標高 700～1,000mのゆるやかな起伏をなす草原が広がっていたが、現在はスギ・ヒノキの植林が進み、横断道路沿いの眺望が得にくくなっている。

それでも、沿線には、猪の瀬戸湿原、小田の池、立石池等の山地湿原が点在し、貴重な植物群落の生育地となっているほか、志高湖や神楽女湖、山下池のように、キャンプ場や園地として利用される湖沼も存在する。

(イ) 植生

くじゅう地域の植生の特徴は、広大な草原と九州には少ない山地湿原が集中していること、及び温帯林の代表であるブナ、ミズナラ等の自然林や、九州山頂帯特有のミヤマキリシマ群落がみられることである。

公園内に点在する山地湿原や久住高原に広がる草原は、野焼き等により維持されてきた草本植生で、タマボウキ等、大分県内では本国立公園内にのみ残された希少植物も少なくない。

くじゅう地域のうち黒岳は、比較的自然林の状態が良好に維持されている。山頂部には、ノリウツギの低木林、その下部にはコミネカエデ、ナナカマドを主とする落葉広葉樹林がある。これらの森林はいずれもブナ林の代償植生で、標高 1,400m以上の山腹を被っている。標高 1,000～1,300mの火山灰をかぶらない溶岩塊に被われた急傾斜地には、ツクシシヤクナゲを混じえたブナ林がある。また、北西の谷にはオヒョウ林、北東の山腹にはモミ林が断片的にみられるが、いずれも黒岳だけにみられる特徴的な植生である。

黒岳にくらべて他の山塊では、ブナ林に代わってミズナラ林が山麓や山腹の自然林を占めていることと、標高 1,400m以上から山頂一帯にミヤマキリシマ低木林が広く分布する

ことが特徴的である。ミヤマキリシマ低木林は、久住山、星生山、平治岳、三俣山、大船山等の山頂部一帯にみられ、マイヅルソウ、イワカガミ、コイワカンスゲ等とともに、九州山頂帯特有の植生とされている。特に山頂付近の風衝地では、ミヤマキリシマの樹高が5～20cm程となり、北アルプスの高山ハイデに類似した、コケモモ、フクオウソウ、ノギラン、コメススキ等を含むコケモモ群落がある。コケモモは日本における分布の南限とされ、三俣山、扇ヶ鼻、中岳付近の山頂部には、この群落の典型がみられる。

由布鶴見火山群の山頂付近には、ミヤマキリシマ低木林のほかブナ林の代償植生とされるツクシヤブウツギを主とする低木林がみられる。由布岳南麓は、野焼きで維持されているススキ草原がある。山腹から山麓部にある主な自然林は、クマシデやコナラを主とする森林である。これは、九州中北部火山帯の低山帯に発達する森林で、モミ・ツガ林の代償植生とされている。

くじゅう地域の湿原は、ほぼ標高1,000mを境界として上部の山地帯にみられるミズゴケ類を含むヌマガヤ湿原と、下部の高原にもみられるスゲ類やヨシが密生するヨシ湿原とに区別される。タデ原付近は、その境界領域にあたり、坊ガツル湿原は前者のヌマガヤ湿原に含まれる。小田の池湿原は、標高800m以下の低地であるにもかかわらず、山地帯の湿原植生を示している。また、同地域の猪の瀬戸湿原にも湿原植生が発達している。

しかし、当該地域全域で、植生の遷移が進み、人工林や二次林の伸長に伴って、これらの希少な植物群落が被圧を受け、衰退しつつある。

かつて、標高1,000m付近までは、ススキ草原が広大な面積を占めていたが、草地改良や、スギ、ヒノキ等の造林による人工林化が進行している。また、野焼きを継続している地区は、由布岳南麓、猪の瀬戸湿原、泉水山麓、タデ原、坊ガツル等、ごく限られており、比較的まとまった面積で野焼きが行われている久住高原の牧野でも野焼きの継続が危ぶまれている。

くじゅう連山山頂付近の山岳では、ヤマヤナギ、ノリウツギ等をはじめとする遷移が進行し、ミヤマキリシマ群落が被圧されつつある。

これらの残された希少な植物群落も、ニホンジカの分布拡大に伴う食害も懸念される状況となっている。

(ウ) 野生動物

くじゅう地域における動物相は、哺乳類としては、イノシシ、ニホンジカをはじめ、ホンドタヌキ、イタチ、キツネ、ムササビ、モモンガ、キュウシュウノウサギなどがあげられる。

鳥類では、コシアカツバメ、カワセミ、カワガラス、ヤマセミ、コノハズク、コゲラ、ブッポウソウ、ホオアカ、イカル、アカモズ、ヤマドリ、キジ、カッコウ、セグロカッコウ、ゴジュウカラ、オオルリなどの山地性、草原性、湿性の鳥類が確認される。外来種の鳥類としては、ソウシチョウが確認される。

その他、白水付近のチクシブチサンショウウオ、飯田高原吉部花牟礼一帯に生息するアマゴが貴重であり、キュウシュウエゾゼミや多くのミドリシジミ類は九重山群一帯が九州唯一の生息地として知られ、北方系の種と南方系の種の混在した多様の昆虫相を示す貴重

な生息地となっている。

蝶類では、山頂帯にカラスアゲハ、モンキチョウ、アカタテハ、コツバメ等がみられるほか、草原性のヒメシロチョウ、オオルリシジミ等の希少な蝶類も一部の地区で残されている。甲虫類の宝庫でもあり、放牧地に依存するダイコクコガネ等の糞虫類、ホソクチカクシゾウムシ、マダラカレキゾウムシ、ヒメヒラタムシ等数種について九州での数少ない記録がある。

イ 利用の現況

くじゅう地域の利用面の特色は、筋湯温泉、九重温泉及び久住高原温泉、並びに公園区域外に隣接する長湯温泉、別府温泉及び湯布院温泉等の温泉地の宿泊利用を中心に、四季を通じたくじゅう連山・由布岳・鶴見岳でのトレッキングがあげられる。また、別府・阿蘇を結ぶ「九州横断道路（通称やまなみハイウェイ）」沿いにおいては、鶴見岳のロープウェイ、小松地獄園地の散策、男池園地での森林浴、久住高原でのキャンプ及び乗馬等の自然体験が行われている。さらに、くじゅう連山西麓の獵師山においては、山地の草原と寒冷地である立地を生かし、冬期のスキー利用も行われている。

くじゅう連山の登山は、6月のミヤマキリシマ開花期、夏期、紅葉時期の3つのピークがあり、利用者は年間12万人以上と推定される。

くじゅう連山登山の拠点として、長者原と久住高原に集団施設地区が設けられており、特に、長者原集団施設地区の長者原ビジターセンターは自然情報、登山情報、観光情報の発信拠点として機能している。

キャンプ場としては、長者原、^{そうみ}沢水、^{しだかこ}志高湖等で利用者が多く、中でも志高湖は別府市の近郊の水辺レクリエーションが楽しめることもあり、年間約3万人の利用者がある。

ウ 社会経済的背景

（ア） 土地所有別

九重山群、涌蓋山及び由布鶴見岳の中腹以上は国有地、山麓及び九州横断道路沿線は主に公有地と私有地である。

私有地の割合がほぼ半分を占めており、また、草原内の公有地の大半は地元牧野の入会権を伴っているため、その権利関係は複雑である。

国有地 6,879ha、公有地 3,791ha、私有地 7,979ha

（イ） 人口及び産業

くじゅう地域に関する各市町の世帯数、人口は次の通りである。

（令和5年10月1日現在）

市町	世帯数（世帯）	人口（人）
別府市	55,461	113,373
竹田市	8,438	18,845
由布市	13,409	32,287
玖珠郡九重町	3,318	7,952

玖珠郡玖珠町	5,722	13,481
--------	-------	--------

各市町とも、公園区域内の定住者世帯は少ないが、山麓付近の土地の大部分が共有地を含む民有地であり、土地所有権の売買が進むにつれ、地権者関係がきわめて複雑になった地区も存在する。また、この土地所有形態の変化に伴って、国立公園の景観の変化が進行し、加えて、公園内外で大規模な開発計画が検討されるケースもみられる。

公園内の一次産業のうち畜産は、かつてはくじゅう地域全域で盛んであり、広大な草原景観を構成していたが、現在、久住高原以外の地域では、ごく限られた地区で行われる程度である。その久住高原でも、畜産従事者の高齢化等により、牧野の維持のための野焼きの継続が困難となっている。

農業では、飯田高原や久住高原における高冷地野菜の栽培が盛んであり、田畝は千町無田付近を除けば山間地に点在する程度である。

林業では、くじゅう地域のほぼ全域で、伐期を迎えたスギ、ヒノキ等の伐採が進み、また、しいたけ原木となるクヌギ等の伐採もみられる。

第1次産業以外では、火山地域特有の地熱資源を利用して、八丁原発電所、大岳発電所の大規模な地熱発電所が操業しているほか、国立公園周辺部でバイナリー発電所も一部みられる。

(ウ) 権利制限関係

a 保安林

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	大分県別府市地内	461	
	大分県竹田市地内	3,437	
	大分県由布市地内	893	
	大分県玖珠郡九重町地内	3,431	
	大分県玖珠郡玖珠町地内	2	
土砂流出防備	大分県別府市地内	1,041	
	大分県竹田市地内	622	
	大分県由布市地内	94	
	大分県玖珠郡九重町地内	602	
防火	大分県別府市地内	32	
保健	大分県別府市地内	553	
	大分県竹田市地内	1,687	
	大分県由布市地内	345	
	大分県玖珠郡九重町地内	1,285	
防風	大分県竹田市地内	488	

b 鳥獣保護区

名称	位置	重複面積 (ha)	設定年月日
城島高原 鳥獣保護区	大分県別府市地内 大分県由布市地内	2,841	平成 25 年 11 月 1 日
黒岳 鳥獣保護区	大分県竹田市地内 大分県由布市地内	1,580	平成 25 年 11 月 1 日
久住大船 鳥獣保護区	大分県竹田市地内	1,527	平成 30 年 11 月 1 日
白丹 鳥獣保護区	大分県竹田市地内	104	平成 22 年 11 月 1 日
山下湖 鳥獣保護区	大分県由布市地内 大分県玖珠郡九重町地内	578 (うち特保 110)	平成 27 年 11 月 1 日
天ヶ谷 鳥獣保護区	大分県玖珠郡九重町地内	90	平成 30 年 11 月 1 日
牧ノ戸 鳥獣保護区	大分県玖珠郡九重町地内	1,700 (うち特保 86)	平成 28 年 11 月 1 日

c 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
国指定天然記念物	大船山のミヤマキリシマ群落	大分県竹田市地内	昭和 36 年 9 月 21 日
	九重山のコケモモ群落	大分県竹田市地内 大分県玖珠郡九重町地内	昭和 37 年 1 月 26 日
	イヌワシ	大分県竹田市地内 大分県由布市地内 大分県玖珠郡九重町地内	昭和 40 年 5 月 12 日
県指定天然記念物	鶴見権現社のイチイガシ林	大分県別府市地内	昭和 50 年 3 月 28 日
	御嶽権現社の自然林	大分県別府市地内	昭和 50 年 3 月 28 日
	久住のツクシボダイジュ	大分県竹田市地内	昭和 54 年 5 月 15 日
	岳本のコナラ原生林	大分県由布市地内	昭和 36 年 3 月 14 日

3 公園区域

阿蘇くじゅう国立公園の区域を次のとおりとする。

(表 1 : 公園区域表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内 国有林熊本森林管理署 1 林班から 5 林班まで、11 林班、18 林班及び 19 林班の全部 菊池市 原及び麓の各一部	1,617
	阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 4 林班から 17 林班までの全部 阿蘇市 赤水、跡ヶ瀬、一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、今町、内牧、内牧成川、小倉、小倉西小倉、小里、小野田、狩尾、蔵原、黒川上西黒川、黒川北黒川、黒川下西黒川、黒川千丁、黒川東黒川、黒川坊中、黒川南黒川、黒川元黒川、黒流町、小池、竹原、永草、永草枳、西小園、西町、三久保宇土、三久保折戸、三久保浜川、南宮原、無田、役犬原上役犬原、役犬原下役犬原、役犬原道尻及び湯浦の全部並びに一の宮町宮地、乙姫、車帰、波野大字新波野、波野大字中江、波野大字波野、西湯浦、的石及び山田の各一部	30,356
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 116 林班及び 117 林班の全部 菊池郡大津町 瀬田、古城、外牧及び真木の各一部	736
	阿蘇郡南小国町内 国有林熊本森林管理署 236 林班及び 237 林班の全部 阿蘇郡南小国町 大字赤馬場、大字中原及び大字満願寺の各一部	3,732
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 238 林班及び 240 林班の各一部 阿蘇郡小国町 大字上田、大字北里及び大字西里の各一部	1,560
	阿蘇郡産山村 大字産山、大字大利、大字田尻及び大字山鹿の各一部	998
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 222 林班から 226 林班までの全部 阿蘇郡高森町	4,935

都道府県名	区域	面積 (ha)
	大字上色見、大字色見、大字高森、大字中及び大字矢津田の各一部	
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 119 林班、120 林班及び 122 林班から 128 林班までの全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白川、大字立野、大字長野、大字中松、大字久石、大字吉田及び大字両併の各一部	13, 706
	小計	57, 640
大分県	別府市内 国有林大分西部森林管理署 1007 林班から 1010 林班まで及び 1013 林班の全部並びに 1006 林班及び 1012 林班の各一部 別府市 大字扇山、大字東山及び大字別府の各一部	2, 336
	竹田市内 国有林大分森林管理署 46 林班から 50 林班まで、227 林班、2061 林班から 2069 林班まで及び 2072 林班の全部 竹田市 久住町大字有氏、久住町大字久住、久住町大字白丹及び直入町大字長湯の各一部	6, 811
	由布市内 国有林大分森林管理署 13 林班及び 51 林班の全部並びに 11 林班、12 林班、21 林班及び 215 林班から 217 林班までの各一部 由布市 庄内町阿蘇野、湯布院町川上、湯布院町川北、湯布院町川西及び湯布院町湯平の各一部	3, 055
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 220 林班、226 林班、228 林班から 235 林班まで、238 林班、239 林班、241 林班及び 242 林班の全部並びに 218 林班及び 221 林班の各一部 玖珠郡九重町 大字後野上、大字菅原、大字田野、大字野上、大字町田及び大字湯坪の各一部	6, 445
	玖珠郡玖珠町 大字日出生の一部	2

都道府県名	区域	面積 (ha)
	小計	18,649
	合計	76,289

阿蘇くじゅう国立公園
公園計画書

[第6次点検]

令和7年2月28日
環境省

目 次

1 基本方針.....	1
2 規制計画.....	3
(1) 保護規制計画等.....	3
ア 特別地域.....	3
(ア) 特別保護地区.....	6
(イ) 第1種特別地域.....	10
(ウ) 第2種特別地域.....	16
(エ) 第3種特別地域.....	23
イ 関連事項.....	31
(ア) 採取等規制植物.....	31
(イ) 乗入れ規制区域及び期間.....	35
(ウ) 普通地域.....	36
ウ 面積内訳.....	39
3 事業計画.....	41
(1) 施設計画.....	41
ア 保護施設計画.....	41
イ 利用施設計画.....	43
(ア) 集団施設地区.....	43
(イ) 単独施設.....	52
(ウ) 道路.....	59
a 車道.....	59
b 歩道.....	61
(エ) 運輸施設.....	65
(2) 生態系維持回復計画.....	66
(3) 自然体験活動計画.....	67
4 参考事項.....	69
(1) 過去の経緯.....	69

1 基本方針

阿蘇くじゅう国立公園は、阿蘇カルデラとその中央にそびえる中央火口丘、くじゅう連山及び由布鶴見火山群からなる原生的景観を風景形式とするとともに、我が国最大の半自然草原を含む草原景観が広がり、また、火山がもたらす恵みである温泉や湧水・水源が各地に点在する等、我が国を代表する傑出した自然の風景地である。

阿蘇地域は、世界最大級のカルデラ地形と活発な活動を続ける火口を間近に望める中岳に代表される火山が生み出す雄大な自然景観が特徴である。加えて、野焼き、採草といった人々の営みにより長い間維持されてきた広大な草原は、褐毛和種（あか^{あか}げ牛）の放牧風景等が広がっており、火山と草原と人々の営みが当地域ならではの美しい景観を生み出している。草原には、大陸系遺存種のハナシノブやヒゴタイ、草原性の昆虫であるオオルリシジミ等、希少な野生動植物も生息・生育しており、また、近年の研究によって、水源涵養、炭素固定、災害防止・抑制等多面的な機能を有していることが明らかとなっている。これらの自然景観を背景として、農耕祭事、神社仏閣等の文化が根付いている。

くじゅう地域は、九州本島最高峰の中岳^{なかだけ}や久住山^{くじゅうさん}を中心とするくじゅう連山、別府湾や湯布院盆地を一望できる由布岳^{ゆふだけ}・鶴見岳^{つるみだけ}が連なる火山景観が特徴である。今なお火山活動が活発であるため、各地に「地獄」と呼ばれる硫気現象がみられ、地球のもたらす恵みとエネルギーを体感できる。また、火山山頂帯にはミヤマキリシマ群落が見られ、火山の裾野には久住高原や飯田高原、塚原高原等の雄大な草原が広がっていると同時に、その周囲には豊富な湧水や雨水により形成される多数の湿原が発達している。タデ原湿原、坊ガツル湿原、猪の瀬戸湿原、小田の池、地蔵原湿原等学術的にも貴重な湿地も多く、希少な湿性植物の宝庫となっている。その中でもタデ原湿原と坊ガツル湿原は、山間部の中間湿原としては国内最大級の面積となっている。

本国立公園の利用は、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々、くじゅう連山、由布岳や鶴見岳への登山やハイキング、カルデラや草原景観の風景観賞や乗馬、サイクリング等の自然体験、中岳の火口探勝、南阿蘇湧水群や男池湧水群等の湧水巡り、別府・阿蘇を結ぶ「九州横断道路（通称やまなみハイウェイ）」等のドライブ、火山活動を背景にした内牧温泉^{うちのまき}、地獄垂玉温泉^{じごくたるたま}、筋湯温泉^{すじゆ}等における温泉保養、キャンプ利用及び阿蘇神社等の参拝等が主な利用である。

世界に誇る風致景観を保護し、その利用を推進するため、以下の方針により公園計画を定める。

（１）ビジョン及び管理運営方針

ア ビジョン

火山、草原及びそれらの恵みである風土や文化、温泉や湧水・水源等が本国立公園を代表する資源であることを踏まえ、本国立公園のコンセプトを「草原のかほり、火山の呼吸。風と水の恵みを人が継ぎ人が繋ぐ、感動の大地」と定める。阿蘇地域においては、農畜産業の維持や地域外の受益者も巻き込んだ草原維持・再生の仕組みづくりや、適切な登山道管理に留意しつつ、資源の保護を図る。くじゅう地域においては、登山道の管理や草原維持、湿地や植生群落保全等に関する地域活動の支援に留意しつつ、資源の保護を図る。また、これらの資源を満喫できる質の高いツーリズムの実現とブランド化を図ることで、訪日外国人も含めた本国立公園の利用者数の増加、消費単価や満足度の向上を目指す。その際、環境や地域の経済社会に配慮したサステナビリティの要素を積極的に取り入れていく。

イ 管理運営方針

上記の実現に向け、市町村の景観条例や景観計画、まちづくり条例、天然記念物、重要文化的景観、ラムサール条約湿地等と整合を図り、優れた景観形成を推進するとともに、関係機関と連携し、公共工事において、民間の模範となる景観配慮を推進する。また、多様な主体と連携し、自然再生推進法に基づく阿蘇草原再生及びくじゅう地域生態系維持回復事業に継続的に取り組む。

利用の推進については、国立公園の保護と利用の好循環により優れた自然を守り地域活性化を図る「国立公園満喫プロジェクト」に継続的に取り組む。

(2) 保護に関する事項

ア 阿蘇地域は、阿蘇カルデラや中央火口丘等が織りなす火山景観、その山麓や外輪山上に広がる草原景観、菊池溪谷周辺の森林景観等の保護に重点をおいた計画とする。また、草原景観の維持・再生を目的として、野焼きを継続・復活するために、自然再生施設を計画的に整備する。

イ くじゅう地域は、由布岳、鶴見岳、くじゅう連山の火山が織りなす山岳景観、その山麓に広がる草原景観、加えて、山麓に点在する山地湿地の希少植物群落を有し、これらの保護に重点をおいた計画とする。

(3) 利用に関する事項

ア 阿蘇地域については、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々の登山やハイキング、火口探勝のために、草千里や古坊^{ふるぼうちゅう}中等に園地や駐車場等を計画的に整備するとともに、山麓部の利用拠点として、南阿蘇集団施設地区や地獄垂玉集団施設地区を計画的に整備する。また、菊池溪谷の探勝を目的として、園地や駐車場の整備を図る。

イ くじゅう地域については、由布岳、鶴見岳、くじゅう連山の登山やトレッキングの利用を主体とし、その登山の拠点となる長者原集団施設地区及び久住高原集団施設地区並びに山麓の利用拠点に位置する園地・宿舎・駐車場等の単独施設の計画的な整備を図る。また、広大な草原景観を望み見できる久住高原地区の園地や宿舎も重点的に整備を図る。

ウ 両地域に共通して、やまなみハイウェイ等のドライブ利用による景観探勝を想定し、周辺の風致景観の保全と適切な施設の整備を行う。また、阿蘇地域とくじゅう地域の中間のやまなみハイウェイ沿いに位置する瀬の本を集団施設地区に指定し、適切な利用のための施設を集団的に整備する。さらに、本国立公園の地域ごとの地形地質・景観・文化等を活かした質の高い自然体験活動を促進する。

2 規制計画

(1) 保護規制計画等

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表 1：特別地域総括表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班から 5 林班まで、11 林班及び 19 林班の各一部 菊池市 原及び麓の各一部	470 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 5 林班、6 林班及び 8 林班から 12 林班までの各一部 阿蘇市 一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小里、乙姫、車埴、黒川下西黒川、黒川北黒川、永草、波野大字新波野、波野大字中江、波野大字波野、西湯浦、的石、三久保折戸及び山田の各一部	14,896 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 116 林班の全部及び 117 林班の一部 菊池郡大津町 瀬田、古城及び外牧の各一部	314 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇郡南小国町内 国有林熊本森林管理署 236 林班及び 237 林班の全部 阿蘇郡南小国町 大字赤馬場、大字中原及び大字満願寺の各一部	2,353 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字上田の一部	176 (国 ー) (公 ー) (私 ー)

都道府県名	区域	面積 (ha)
	阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	657 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 222 林班から 226 林班までの全部 阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見、大字高森、大字中及び大字矢津田の各一部	2,906 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 119 林班及び 122 林班から 128 林班までの全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白川、大字立野、大字長野、大字中松、大字久石、大字吉田及び大字両併の各一部	5,771 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	小計	27,543 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
大分県	別府市内 国有林大分西部森林管理署 1007 林班から 1010 林班まで及び 1013 林班の全部並びに 1006 林班及び 1012 林班の各一部 別府市 大字扇山、大字東山及び大字別府の各一部	2,321 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	竹田市内 国有林大分森林管理署 46 林班から 50 林班まで、227 林班及び 2061 林班から 2069 林班までの全部並びに 2072 林班の一部 竹田市 久住町大字有氏、久住町大字久住、久住町大字白丹及び直入町大字長湯の各一部	4,925 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$

都道府県名	区域	面積 (ha)
	由布市内 国有林大分森林管理署 13 林班及び 51 林班の全部並びに 11 林班、12 林班、21 林班及び 215 林班から 217 林班までの各一部 由布市 庄内町阿蘇野、湯布院町川上、湯布院町川北、湯布院町川西及び湯布院町湯平の各一部	2,262 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 220 林班、228 林班から 235 林班まで、239 林班、241 林班及び 242 林班の全部並びに 218 林班、221 林班及び 226 林班の各一部 玖珠郡九重町 大字後野上、大字菅原、大字田野、大字野上、大字町田及び大字湯坪の各一部	5,541 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	玖珠郡玖珠町 大字日出生の一部	2 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	小計	15,051 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
合計		42,594 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区域を特別保護地区とする。

(表 2 : 特別保護地区総括表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	阿蘇市 一の宮町宮地の一部	331 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 116 林班の全部	70 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 224 林班の全部並びに 223 林班及び 226 林班の各一部	317 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字白川及び大字吉田の各一部	94 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	小計	812 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$

都道府県名	区域	面積 (ha)
大分県	竹田市内 国有林大分森林管理署 2069 林班の全部並びに 46 林班、47 林班、2064 林班から 2068 林班まで及び 2072 林班の各一部 竹田市 久住町大字有氏の一部	1,034 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 228 林班及び 229 林班の各一部	91 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	小計	1,125 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
合計		1,937 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$

※ 端数処理のため合計値が一致しない場合がある。

(表3：特別保護地区内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
九重山群	大分県竹田市内 国有林大分森林管理署 2069 林班の全部並びに 46 林班、47 林班、2064 林班から 2068 林班まで及び 2072 林班の各一部 大分県竹田市 久住町大字有氏の一部 大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 228 林班及び 229 林班の各一部	本公園のほぼ中央に位置する九重山群の中核部分で、地形としてはトロイデ（平治岳はコニーデ）の集合体である。植生としては、大船山を中心とする九州山頂風衝帯特有のミヤマキリシマ群落及び亜高山帯の代表植生であるコケモモ群落（いずれも国指定天然記念物）がある。 平治岳北側についても同様である。 地域全体が火山性植生の見本園ともいうべき景観を呈しており、学術的にも、景観的にも特に優れている。	1,125 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
高岳・中岳	熊本県阿蘇市 一の宮町宮地の一部 熊本県阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 226 林班の一部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字白川及び大字吉田の各一部	火山活動中の噴火口、砂千里及び山頂一帯の自然裸地（火山荒原）等の典型的な火山地形である。	540 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
根子岳	熊本県阿蘇市 一の宮町宮地の一部 熊本県阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 224 林班の全部並びに 223 林班の一部	鋸歯状の火山岩峰の地形及び中央火口丘では、唯一の天然林（低木林）である。	179 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
北向山	熊本県菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 116 林班の全部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰の一部	標高の低い地域は常緑広葉樹、高い地域は落葉広葉樹を主体とする優れた天然林と火口瀬の地形である。	93 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
合計			1,937 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班から 5 林班まで及び 11 林班の各一部	58 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 5 林班、6 林班及び 8 林班から 11 林班までの各一部 阿蘇市 一の宮町宮地、乙姫及び永草の各一部	905 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部	37 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 226 林班の一部	307 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 122 林班の全部及び 123 林班から 126 林班までの各一部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字白川、大字中松及び大字吉田の各一部	887 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	小計	2,194 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
大分県	別府市内 国有林大分西部森林管理署 1010 林班、1012 林班及び 1013 林班の各一部 別府市 大字東山の一部	84 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$

都道府県名	区域	面積 (ha)
	竹田市内 国有林大分森林管理署 50 林班の全部並びに 47 林班から 49 林班まで、227 林班及び 2061 林班から 2068 林班までの各一部	1,107 <div> <div>(</div> <div>国</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>私</div> <div>—</div> <div>)</div> </div></div></div>
	由布市内 国有林大分森林管理署 13 林班及び 51 林班の各一部 由布市 湯布院町川上及び湯布院町川西の各一部	258 <div> <div>(</div> <div>国</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>私</div> <div>—</div> <div>)</div> </div></div></div>
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 226 林班、228 林班から 230 林班まで、232 林班、233 林班、239 林班、241 林班及び 242 林班の各一部 玖珠郡九重町 大字田野の一部	808 <div> <div>(</div> <div>国</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>私</div> <div>—</div> <div>)</div> </div></div></div>
	小計	2,257 <div> <div>(</div> <div>国</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>私</div> <div>—</div> <div>)</div> </div></div></div>
合計		4,451 <div> <div>(</div> <div>国</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>私</div> <div>—</div> <div>)</div> </div></div></div>

(表5：第1種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
由布岳山頂部	大分県別府市内 国有林大分西部森林管理署 1010 林班、1012 林班及び 1013 林班の各一部 大分県由布市内 国有林大分森林管理署 13 林班の一部	標高 1,583m の典型的な鐘状火山で、その優美な山容は豊後富士と称され、また、山頂部の風衝林は、原始性が保たれている。	98 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
猪の瀬戸	大分県別府市 大字東山の一部	由布岳の麓に広がる火山性湿原で、草地と湿地とが混在し、貴重な湿原性植生を有する。	38 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
岳本	大分県由布市 湯布院町川上の一部	由布岳山麓のコナラ原生林で、県の天然記念物にも指定されている。	15 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
小田の池	大分県由布市 湯布院町川西の一部	本公園内における数少ない自然湖であり、また、湖畔の湿地には貴重な湿原性植生を有する。	38 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
涌蓋山山頂部	大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 239 林班、241 林班及び 242 林班の各一部 熊本県阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部	九重山群の西端に位置する標高1,500mの端正な形をした山で、山容から玖珠富士の名がある。山頂風衝帯の植生は、ミズナラ林及びミヤマキリシマ群落で、優れた自然景観を呈している。	92 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
タデ原	大分県玖珠郡九重町 大字田野の一部	九重山群の麓に広がる火山性湿原で、貴重な湿原植生を有する。	62 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
久住、三俣山腹 (九州横断道路より東側の九重山群山麓)	大分県竹田市内 国有林大分森林管理署 227 林班、2061 林班から 2068 林班までの各一部 大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部管理署 226 林班、228 林班から 230 林班まで、232 林班及び 233 林班の各一部	特別保護地区を取り囲む九重山群の山腹で、優れた風衝草原及び天然林の林相を呈している。	1,305 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
黒岩・泉水山東側斜面	大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部管理署 230 林班の一部 大分県玖珠郡九重町 大字田野の一部	草原景観、山頂風衝帯の植生及び天然林を有しており、また、長者原集団施設地区の背後地として重要な位置にある。	125 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
黒岳	大分県由布市内 国有林大分森林管理署 51 林班の一部 大分県竹田市内 国有林大分森林管理署 50 林班の全部及び 47 林班から 49 林班までの各一部	大船山の東北方にある標高 1,630m の山塊で、九重山群における唯一の原生林である。	522 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
菊池溪谷	熊本県菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班から 5 林班まで及び 11 林班の各一部 熊本県阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 5 林班、6 林班及び 8 林班から 11 林班までの各一部	暖帯から温帯に移行する優れた天然林と瀑布、深淵等を有する溪谷の地域である。	201 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
米塚	熊本県阿蘇市 乙姫及び永草の各一部	特異な噴石丘の山容を呈している。	13 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
杵島岳・往生岳	熊本県阿蘇市 乙姫の一部	中央火口丘群山頂部一帯の火山地形と植生（ミヤマキリシマ群落）が顕著な地域である。	184 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
檜尾岳・丸山	熊本県阿蘇市 一の宮町宮地及び乙姫の各一部 熊本県阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 226 林班の一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字白川、大字中松及び大字吉田の各一部	中央火口丘群山頂部一帯の火山地形と植生（ミヤマキリシマ群落）が顕著な地域である。	1,300 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
烏帽子岳・草千里	熊本県阿蘇市 永草の一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字中松の一部	中央火口丘群及び寄生火山の地形と地被を保護する必要がある地域である。	218 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
南外輪山山稜	熊本県阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 122 林班の全部並びに 123 林班から 126 林班までの各一部	南外輪山山稜部に残された天然林地域である。	240 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
合計			4,451 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班、11 林班及び 19 林班の各一部 菊池市 麓の一部	181 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇市 一の宮町三野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小里、乙姫、永草、波野大字波野、西湯浦、的石、三久保折戸及び山田の各一部	3,037 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部	18 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	317 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	233 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 225 林班及び 226 林班の各一部 阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見、大字高森及び大字矢津田の各一部	630 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 123 林班の一部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字立野、大字長野、大字中松及び大字吉田の各一部	1,758 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$
	小計	6,174 $\left(\begin{array}{c} \text{国} \\ \text{公} \\ \text{私} \end{array} \begin{array}{c} - \\ - \\ - \end{array} \right)$

都道府県名	区域	面積 (ha)
大分県	別府市内 国有林大分西部森林管理署 1007 林班から 1009 林班までの全部並びに 1006 林班、1010 林班及び 1013 林班の各一部 別府市 大字扇山、大字東山及び大字別府の各一部	2,237 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	竹田市内 国有林大分森林管理署 46 林班から 49 林班まで、227 林班、2061 林班及び 2072 林班の各一部 竹田市 久住町大字有氏、久住町大字久住、久住町大字白丹及び直入町大字長湯の各一部	978 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	由布市内 国有林大分森林管理署 11 林班から 13 林班まで、21 林班、51 林班及び 215 林班から 217 林班までの各一部 由布市 庄内町阿蘇野、湯布院町川上、湯布院町川北、湯布院町川西及び湯布院町湯平の各一部	1,806 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 220 林班及び 234 林班の全部並びに 218 林班、221 林班、226 林班及び 228 林班から 233 林班までの各一部 玖珠郡九重町 大字後野上、大字田野、大字野上、大字町田及び大字湯坪の各一部	2,958 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	玖珠郡玖珠町 大字日出生の一部	2 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	小計	7,981 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	合計	14,155 (国 ー) (公 ー) (私 ー)

(表 7 : 第 2 種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
由布岳・鶴見岳	大分県別府市内 国有林大分西部森林管理署 1007 林班から 1009 林班までの全部並びに 1006 林班、1010 林班及び 1013 林班の各一部 大分県別府市 大字扇山、大字東山及び大字別府の各一部 大分県由布市内 国有林大分森林管理署 11 林班から 13 林班までの各一部 大分県由布市 湯布院町川上の一部	由布岳の第 1 種特別地域を取り囲む南側山腹と山麓一帯は、優れた山容と優美な草原景観を呈している。 鶴見岳は、標高 1,375m の鐘状火山で多くの側火山を持つ巨大な山塊で優れた山容を呈しており、山頂近くまでロープウェイが架設されているため、別府の好展望地としての利用の拠点でもある。 また、鶴見岳南東麓に位置する志高湖は、本公園でも数少ない湖であり、水辺レクリエーションを中心とする利用基礎となっている。	2,640 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
九州横断道路沿線 (大分県由布市荒木から熊本県阿蘇市一の宮町まで)	大分県由布市内 国有林大分森林管理署 21 林班及び 215 林班から 217 林班までの各一部 大分県由布市 湯布院町川北、湯布院町川西及び湯布院町湯平の各一部 大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 220 林班の全部並びに 218 林班及び 221 林班の各一部 大分県玖珠郡九重町 大字後野上、大字田野、大字野上及び大字町田の各一部 大分県玖珠郡玖珠町	阿蘇地域と九重・由布鶴見地域を結び、本公園を横断する利用上の幹線道路沿線地域で、瀬の本高原、飯田高原等の広大な草原景観が広がり、本公園の代表的な風景地である。	3,696 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
	大字日出生の一部 熊本県阿蘇市 一の宮町三野及び一の宮町中通の各一部 熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部 熊本県阿蘇郡産山村 大字田尻の一部		
九重山群山麓	大分県竹田市内 国有林大分森林管理署 46 林班から 48 林班まで、227 林班、2061 林班及び 2072 林班の各一部 大分県竹田市 久住町大字有氏、久住町大字久住及び久住町大字白丹の各一部 大分県由布市 庄内町阿蘇野の一部 大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 234 林班の全部並びに 226 林班及び 228 林班から 233 林班までの各一部 大分県玖珠郡九重町 大字田野及び大字湯坪の各一部	九重山群の特別保護地区及び第 1 種特別地域を取り囲む地域で、主として天然林の林相を呈している。 また、三俣山と大船山に囲まれた坊ガツルは、九州本土最標高の山地湿原で多くの湿原植物を有する。	2,444 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
黒岳山麓	大分県竹田市内 国有林大分森林管理署 49 林班の一部 大分県由布市内 国有林大分森林管理署 51 林班の一部	第 1 種特別地域の黒岳原生林の山麓にあたり、山頂部を厳正に保護するための緩衝地帯としての役割を有する自然林地域である。	114 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
黒岳東麓	大分県竹田市 直入町大字長湯の一部	黒岳東麓で、国内希少野生動植物種のイヌワシが生息する岩壁を含む特異な溶岩台地、良好な草地在有する地域である。	172 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
沢水	大分県竹田市 久住町大字久住の一部	九重山群の南麓で、広大な草原景観を呈する久住高原の一部である。	75 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
斧岳	熊本県阿蘇市 西湯浦の一部	北外輪山北側の台地にある丘陵状の草原景観地域である。	36 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
菊池溪谷	熊本県菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班、11 林班及び 19 林班の各一部	溪谷の地形と森林の植生を保護し、第 1 種特別地域の緩衝地帯として必要な地域である。	76 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
北外輪山内壁及び 北外輪山主要道路 沿線	熊本県阿蘇市 一の宮町三野、一の宮町中通、西湯浦、的石、三久保折戸及び山田の各一部	外輪山内壁の露岩風景と主要道路沿線の地域である。	730 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
内牧	熊本県阿蘇市 小里の一部	多くの水鳥を始め様々な動植物が生息・生育する内牧遊水地を擁し、阿蘇五岳や阿蘇北外輪山の山々を見渡せる地域である。	7 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
鞍岳	熊本県菊池市 麓の一部	北外輪山西側の丘陵状の地域である。	108 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
中央火口丘の山腹	熊本県阿蘇市 一の宮町宮地、乙姫、永草及び波野大字波野の各一部 熊本県阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 225 林班及び 226 林班の各一部 熊本県阿蘇郡高森町 大字上色見及び大字色見の各一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陽、大字長野、大字中松及び大字吉田の各一部	中央火口丘群の山腹の地形を保護し、特別保護地区及び 1 種特別地域の緩衝地帯として重要であるとともに、利用拠点周辺の風致維持上必要な地域である。	3,366 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
立野火口瀬	熊本県菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰、大字河陽及び大字立野の各一部	火口瀬の渓谷の地形と植生を保護し、北向山特別保護地区の緩衝地帯として重要な地域である。	74 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
清栄山	熊本県阿蘇郡高森町 大字上色見、大字高森及び大字矢津田の各一部	南外輪山内壁東側の特異な山容と高森集団施設地区周辺の地域である。	517 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
高城山	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰の一部	南外輪山内壁中央部の高城山、羅漢岩間の露岩風景地である。	72 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
南外輪山山稜	熊本県阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 123 林班の一部	多津山峠から駒返峠間の山稜部で、外輪山内壁の一部を構成している。	28 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
合計			14, 155 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

※ 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算により、(表6：第2種特別地域総括表)の市町村別面積と一致しない。

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班、11 林班及び 19 林班の各一部 菊池市 原及び麓の各一部	231 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 10 林班及び 12 林班の各一部 阿蘇市 一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小里、乙姫、車帰、黒川下西黒川、黒川北黒川、永草、波野大字新波野、波野大字中江、波野大字波野、西湯浦、的石、三久保折戸及び山田の各一部	10,623 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部 菊池郡大津町 瀬田、古城及び外牧の各一部	226 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡南小国町内 国有林熊本森林管理署 236 林班及び 237 林班の全部 阿蘇郡南小国町 大字赤馬場、大字中原及び大字満願寺の各一部	2,036 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字上田の一部	139 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$
	阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	424 $\left(\begin{array}{c} \text{国} - \\ \text{公} - \\ \text{私} - \end{array} \right)$

都道府県名	区域	面積 (ha)
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 222 林班の全部並びに 223 林班及び 225 林班の各一部 阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見、大字高森、大字中及び大字矢津田の各一部	1,652 (国 —) (公 —) (私 —)
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 119 林班、127 林班及び 128 林班の全部並びに 124 林班から 126 林班までの各一部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白川、大字立野、大字長野、大字久石、大字吉田及び大字両併の各一部	3,032 (国 —) (公 —) (私 —)
	小計	18,363 (国 —) (公 —) (私 —)

都道府県名	区域	面積 (ha)
大分県	竹田市内 国有林大分森林管理署 2061 林班から 2068 林班まで及び 2072 林班の各一部 竹田市 久住町大字有氏、久住町大字久住及び久住町大字白丹の各一部	1,806 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>
	由布市 庄内町阿蘇野及び湯布院町川西の各一部	198 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 235 林班の全部並びに 231 林班、232 林班、239 林班、241 林班及び 242 林班の各一部 玖珠郡九重町 大字菅原、大字田野、大字町田及び大字湯坪の各一部	1,684 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>
	小計	3,688 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>
合計		22,051 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>

(表9：第3種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
野稲岳東部	大分県由布市 湯布院町川西の一部	原野造林が進み、スギ、ヒノキ等の人工林であるが、西方の第2種特別地域と一体となって野稲岳の山麓景観を形成している。	139 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
涌蓋山の山腹	熊本県阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部 熊本県阿蘇郡小国町 大字上田の一部 大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 239 林班、241 林班及び242 林班の各一部 大分県玖珠郡九重町 大字菅原、大字町田及び大字湯坪の各一部	スギ、ヒノキの人工林及び草原であるが、独立峰である涌蓋山は優れた山容を形成している。	666 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
泉水山、黒岩山、合頭山北部及び西部	大分県玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 235 林班の全部並びに 231 林班及び232 林班の各一部 大分県玖珠郡九重町 大字田野及び大字湯坪の各一部	広大な草原景観、スギ、ヒノキ等の人工林及びクスギ等の二次林であり、農林業を主とする他産業との調整を図る。	1,209 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>
黒岳東麓	大分県由布市 庄内町阿蘇野の一部	黒岳東麓で、特異な溶岩台地、良好な草地を有し、黒岳山麓一帯の自然林に隣接する地域である。	56 <div> <div>国</div> <div>公</div> <div>私</div> </div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
九重山群南麓 (硫黄鉱山を含む)	大分県竹田市内 国有林大分森林管理署 2061 林班から 2068 林班まで及び 2072 林班の各一部 大分県竹田市 久住町大字有氏、久住町大字久住及び久住町大字白丹の各一部	上部はスギ、ヒノキ等の人工林、下部は広大な草原となっているが、草地改良等も進んでおり、農業を主とした他産業との調整を図る。	1,755 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
一目山・瀬の本 高原周辺	熊本県阿蘇郡南小国町内 国有林熊本森林管理署 236 林班及び 237 林班の全部 熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部 熊本県阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	利用拠点たる瀬の本を含む草原地である。	1,027 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
小国阿蘇線、尾ノ岳線及び大津北外輪山沿線	熊本県阿蘇市 西湯浦の一部	利用道路（車道）の沿線地域である。	103 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
菊池渓谷周辺	熊本県菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班、11 林班及び 19 林班の各一部 熊本県阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 10 林班及び 12 林班の一部	菊池渓谷の主要道路沿線地域である。	123 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
外輪山内壁	<p>熊本県阿蘇市 一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小里、車帰、波野大字新波野、波野大字中江、波野大字波野、西湯浦、的石、三久保折戸及び山田の各一部</p> <p>熊本県阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見、大字高森、大字中及び大字矢津田の各一部</p> <p>熊本県阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 119 林班、127 林班及び 128 林班の全部並びに 124 林班から 126 林班までの各一部</p> <p>熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰、大字立野、大字久石及び大字両併の各一部</p>	外輪山内壁の特異な地形で草原、森林である。	<p>7,468</p> <p> $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$ </p>
鞍岳周辺	<p>熊本県菊池市 原及び麓の各一部</p>	外輪山周辺の高原に位置する丘陵地である。	<p>116</p> <p> $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$ </p>
北塚、本塚、灰塚	<p>熊本県阿蘇市 黒川下西黒川及び黒川北黒川の各一部</p>	火口原に噴出した噴石丘の地形である。	<p>37</p> <p> $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$ </p>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
中央火口丘の裾野	熊本県阿蘇市 一の宮町宮地、乙姫及び永草の各一部 熊本県阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 222 林班の全部並びに 223 林班及び 225 林班の各一部 熊本県阿蘇郡高森町 大字上色見及び大字色見の各一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陽、大字下野、大字白川、大字長野及び大字吉田の各一部	中央火口丘山麓部の草原及び森林地域である。	2,995 <div><div>国</div><div>公</div><div>私</div></div>
火口瀬	熊本県菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部 熊本県菊池郡大津町 外牧の一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字立野の一部	火口瀬の特異な地形を有する。	80 <div><div>国</div><div>公</div><div>私</div></div>
北外輪山	熊本県南小国町 大字赤馬場及び大字中原の各一部	北外輪山北側の大地にある丘陵状の草原景観地形である。	1,450 <div><div>国</div><div>公</div><div>私</div></div>

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
北外輪山主要道路沿線	熊本県阿蘇市 一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、西湯浦、 的石及び山田の各一部 熊本県菊池郡大津町 瀬田及び古城の各一部 熊本県南阿蘇村 大字立野の一部	北外輪山の主要道路沿線の地域である。	4,765 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
清栄山	熊本県阿蘇郡高森町 大字矢津田の一部	南外輪山内壁東側の特異な山容と、その斜面や山麓に草原が広がる地区である。	62 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>
合計			22,051 <div><div>国</div><div>—</div><div>公</div><div>—</div><div>私</div><div>—</div></div>

イ 関連事項

(ア) 採取等規制植物

採取又は損傷を規制する植物を次のとおりとする。

(表 10：採取等規制植物表)

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
ミズゴケ科	ミズゴケ属
ヒカゲノカズラ科	ヒメスギラン、マンネンスギ、スギラン、ヒモラン
コケシノブ科	コケシノブ
コバノイシカグマ科	フジシダ
イワヤシダ科	イワヤシダ
イワデンドコ科	コガネシダ
メシダ科	キリシマヘビノネゴザ、シイバサトメシダ、サカバサトメシダ、コモチイヌワラビ、ハコネシケチシダ、アソシケシダ
オシダ科	ツクシイワヘゴ、シラネワラビ、ワカナシダ、チャボイノデ
ウラボシ科	ホテイシダ、ヒメサジラン、オシヤグジデンド、イワオモダカ
ヒノキ科	ミヤマビヤクシン
イラクサ科	チョクザキミズ
ツチトリモチ科	ミヤマツチトリモチ
ナデシコ科	タチハコベ、ワチガイソウ、ワダソウ、オグラセンノウ、マツモトセンノウ
モクレン科	オオヤマレンゲ
キンポウゲ科	レイジンソウ、ミチノクフクジュソウ、ニリンソウ、ユキワリイチゲ、アズマイチゲ、ヤマオダマキ、リュウキンカ、トウゴクサバノオ、オキナグサ、マンセンカラマツ、ノカラマツ、ミヤマカラマツ
メギ科	ヤチマタイカリソウ、イカリソウ
スイレン科	ヒツジグサ
ウマノスズクサ科	クロフネサイシン

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
ボタン科	ヤマシヤクヤク、ベニバナヤマシヤクヤク
オトギリソウ科	トモエソウ、コウライトモエソウ、タカネオトギリ
モウセンゴケ科	モウセンゴケ
アブラナ科	シコクハタザオ、ハナハタザオ
ベンケイソウ科	アオベンケイ
ユキノシタ科	ネコノメソウ、ギンバイソウ、シラヒゲソウ、ウメバチソウ、ワタナベソウ、ジンジソウ、ダイモンジソウ、ウチワダイモンジソウ、クロクモソウ
スグリ科	ヤシヤビシヤク
バラ科	ヤマブキシヨウマ、クサボケ、シモツケソウ、イロキンバイ、カスミザクラ、クロイチゴ
マメ科	フジキ、レンリソウ、オオバクサフジ
カタバミ科	オオヤマカタバミ
フウロソウ科	タチフウロ、イヨフウロ、ツクシフウロ
カエデ科	ナンゴクミネカエデ
アワブキ科	フシノハアワブキ
モチノキ科	フウリンウメモドキ、ホソバツルツゲ
シナノキ科	ツクシボダイジュ
グミ科	クマヤマグミ
スミレ科	キスミレ、ホソバシロスミレ、タチスミレ、アソヒカゲスミレ、ヒカゲスミレ
アカバナ科	イワアカバナ
セリ科	ハナビゼリ、ツクシゼリ、ウバタケニンジン、ミシマサイコ、カワラボウフウ、ツクシボウフウ、シムラニンジン、フキヤミツバ、カノツメソウ
イワウメ科	イワカガミ
イチヤクソウ科	ウメガサソウ、シヤクジョウソウ、ギンリョウソウモドキ

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
ツツジ科	ツクシドウドン、シロドウドン、ヒカゲツツジ、ミヤマキリシマ、ヨウラクツツジ、カラムラサキツツジ、ゲンカイツツジ、サイゴクミツバツツジ、バイカツツジ、コメツツジ、コケモモ
サクラソウ科	ノジトラノオ、クサレダマ、サクラソウ
リンドウ科	ハルリンドウ、センブリ、ムラサキセンブリ、シノメソウ、イヌセンブリ
ミツガシワ科	ミツガシワ
キョウチクトウ科	チョウジソウ
ガガイモ科	ロクオンソウ、ツクシガシワ
ムラサキ科	ホタルカズラ、ケルリソウ、チョウセンカメバソウ
シソ科	カイジンドウ、キセウタ、シロネ、ヒメナミキ
ゴマノハグサ科	キュウシュウコゴメグサ、ツクシコゴメグサ、ヤマウツボ、ケヤマウツボ、ツクシオガマ、ホソバヒメトラノオ、ツクシトラノオ、イヌノフグリ、ツクシクガイソウ
イワタバコ科	シシンラン
ハマウツボ科	キヨスミウツボ
タヌキモ科	ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、コタヌキモ、ムラサキミミカキグサ
スイカズラ科	ウスバヒヨウタンボク、ヤマヒヨウタンボク
レンプクソウ科	レンプクソウ
マツムシソウ科	ナバナ、マツムシソウ
キキョウ科	シデシヤジン、ヤツシロソウ、サワギキョウ、キキョウ
キク科	ヒゴシオン、シオン、オケラ、イワギク、モリアザミ、ヤナギアザミ、ヒゴタイ、マンシュウスイラン、ホソバオグルマ、アソタカラコウ、オオモミジガサ、ツクシコウモリソウ、テバコモミジガサ、ミヤコアザミ、ヒメヒゴタイ、キリシマヒゴタイ、キクアザミ、コウリンギク、キクバヤマボクチ、ツクシタンポポ、タカネコウリンギク
ヒルムシロ科	オヒルムシロ

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
ユリ科	ネバリノギラン、シライトソウ、ケイビラン、スズラン、キバナチゴユリ、ホソバナコバイモ、トサコバイモ、キバナノアマナ、ユウスゲ、ノカンゾウ、ノヒメユリ、ヒメユリ、ホソバナノアマナ、ミドリヨウラク、ワニグチソウ、ホトトギス、ミヤマエンレイソウ
ビャクブ科	ヒメナベワリ
アヤメ科	ノハナショウブ、エヒメアヤメ
ヒナノシヤクジョウ科	ヒナノシヤクジョウ
ホシクサ科	ツクシクロイヌノヒゲ、クロホシクサ
イネ科	キリシマノガリヤス、クジュウノガリヤス、コメススキ、ヤマトボシガラ、ヒロハノドジョウツナギ
サトイモ科	マイヅルテンナンショウ
ミクリ科	ヒメミクリ
カヤツリグサ科	クジュウスゲ、ミヤマシラスゲ、オニスゲ、ミタケスゲ、タマツリスゲ、コハリスゲ、クジュウツリスゲ、ヌマクロボスゲ、ビロードスゲ、ヤチカワズスゲ、エゾツリスゲ、オオアゼスゲ、アゼスゲ、オニナルコスゲ、カガシラ、ツクシデンツキ、ハタケテンツキ、ミカヅキグサ、イトイヌノハナヒゲ、オオイヌノハナヒゲ、ハタベカンガレイ、ロツカクイ、シズイ、コマツカサススキ
ラン科	ヒナラン、マメヅタラン、ムギラン、キリシマエビネ、エビネ、タカネ、ナツエビネ、キエビネ、サルメンエビネ、ギンラン、キンラン、マヤラン、クマガイソウ、ツチアケビ、セッコク、カキラン、マツラン、オニノヤガラ、ベニシユスラン、アケボノシユスラン、ツリシユスラン、シユスラン、ダイサギソウ、ミズトンボ、ムカゴソウ、ハクウンラン、ムヨウラン、セイタカスズムシソウ、ジガバチソウ、ササバラン、クモイジガバチ、フウラン、アオフタバラン、ヨウラクラン、コケイラン、サギソウ、ツクシチドリ、ジンバイソウ、ミズチドリ、ツレサギソウ、ヤマサギソウ、マイサギソウ、コバノトンボソウ、トンボソウ、トキソウ、ヤマトキソウ、ウチョウラン、ナゴラン、クモラン、カヤラン、キバナノシヨウキラン、シヨウキラン

(イ) 乗入れ規制区域及び期間

車馬若しくは動力船を使用し、又は航空機を着陸させることを規制する区域及び期間を次のとおりとする。

(表 11：乗入れ規制区域及び期間表)

名称	区域	地種区分	区域の概要	面積 (ha)	期間
小田の池	大分県由布市 湯布院町川西字丸山の一部 (以上の区域のうち、道路、広 場、田、畑、牧場及び宅地の区域 を除く。)	第1種特別地域	小田の池南東部には、湖成湿原が存在し、ヌマクロ ボスゲを含むヌマガヤ群落、ミカヅキグサ、ヤチカワ ズスゲ、コタヌキモ等北方要素の植物を含むイヌハ ナ＝コアナミズゴケ群落等が見られ、西南日本の山 地湿原として極めて特異であり、学術的に貴重なも のである。 また、小田の池、山下池ともマガモ、ヤマセミ等の 水鳥が見られ、大分県鳥獣保護区特別保護地区に指 定されている。 近年、レクリエーションの多様化に伴い、周辺のダ ム湖等では水上バイク、モーターボート等の利用が 増加しており、当該地においても今後そのような利 用が行われる動きがみられる。 本指定区域は、水上バイク、モーターボート等の利 用によっておびやかされる、貴重な植物、鳥類の生 育・生息環境を保全する目的で選定したものである。	31	通年
山下池	大分県由布市 湯布院町(山下池の水面の区域) (以上の区域のうち、道路、広 場、田、畑、牧場及び宅地の区域 を除く。)	第2種特別地域		39	通年

(ウ) 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

(表 12：普通地域表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内及び阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 1 林班、2 林班、7 林班及び 13 林班から 18 林班までの全部並びに 3 林班から 6 林班まで、8 林班から 10 林班まで、12 林班及び 19 林班の各一部 菊池市 原及び麓の各一部	1,147 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇市 赤水、跡ヶ瀬、今町、内牧、内牧成川、小倉、小倉西小倉、小野田、狩尾、蔵原、黒川上西黒川、黒川千丁、黒川東黒川、黒川坊中、黒川南黒川、黒川元黒川、黒流町、小池、竹原、永草枳、西小園、西町、三久保宇土、三久保浜川、南宮原、無田、役犬原上役犬原、役犬原下役犬原、役犬原道尻及び湯浦の全部並びに一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小里、乙姫、車帰、黒川北黒川、黒川下西黒川、永草、波野大字新波野、西湯浦、的石、三久保折戸及び山田の各一部	15,460 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部 菊池郡大津町 瀬田、外牧及び真木の各一部	422 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	1,379 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 238 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字上田、大字北里及び大字西里の各一部	1,384 (国 ー) (公 ー) (私 ー)
	阿蘇郡産山村 大字産山、大字大利、大字田尻及び大字山鹿の各一部	341 (国 ー) (公 ー) (私 ー)

都道府県名	区域	面積 (ha)
	阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見及び大字高森の各一部	2,029 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 120 林班の全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白川、大字立 野、大字長野、大字中松、大字久石、大字吉田及び大字両併の 各一部	7,935 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>
	小計	30,097 <div> <div>国</div> <div>—</div> <div>公</div> <div>—</div> <div>私</div> <div>—</div> </div>

都道府県名	区域	面積 (ha)
大分県	別府市 大字東山の一部	15 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	竹田市内 国有林大分森林管理署 2072 林班の一部 竹田市 久住町大字有氏、久住町大字白丹及び久住町大字久住の各一部	1,886 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	由布市 庄内町阿蘇野の一部	793 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	玖珠郡九重町内 国有林大分西部森林管理署 238 林班の全部及び 226 林班の一部 玖珠郡九重町 大字田野、大字町田及び大字湯坪の各一部	904 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
	小計	3,598 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$
合計		33,695 $\begin{pmatrix} \text{国} & - \\ \text{公} & - \\ \text{私} & - \end{pmatrix}$

ウ 面積内訳

(表 13：地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位：面積 ha、比率%)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)			合計 (陸域)			海城 公園 地区	普通 地域 (海域)	合計 (海域)
地種区分		特別保護地区			第 1 種			第 2 種			第 3 種											
土地所有者別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私			
熊 本 県	土地所有別面積	701	111	0	1,048	1,146	0	210	5,760	204	1,014	12,365	4,984	1,847	8,546	19,704	4,820	27,928	24,892			
	地種区分別面積(比率)	812 (1.1)			2,194 (2.9)			6,174 (8.1)			18,363 (24.0)			30,097 (39.5)			57,640 (75.6)					
	地域地区別面積(比率)				26,731 (35.0)																	
	地域別面積(比率)	27,543 (36.1)																				
大 分 県	土地所有別面積	862	0	263	2,003	7	247	2,634	1,275	4,072	1,269	795	1,624							111	1,714	1,773
	地種区分別面積(比率)	1,125 (1.5)			2,257 (3.0)			7,981 (10.4)			3,688 (4.8)			3,598 (4.7)			18,649 (24.4)					
	地域地区別面積(比率)				13,926 (18.2)																	
	地域別面積(比率)	15,051 (19.7)																				
合 計	土地所有別面積	1,563	111	263	3,051	1,153	247	2,844	7,035	4,276	2,283	13,160	6,608							1,958	10,260	21,477
	地種区分別面積(比率)	1,937 (2.5)			4,451 (5.8)			14,155 (18.5)			22,051 (29.0)			33,695 (44.2)			76,289 (100.0)					
	地域地区別面積(比率)				40,657 (53.3)																	
	地域別面積(比率)	42,594 (55.8)																				

※ 1 面積値は、GIS ソフトを用いた再計算後の数値である。

※ 2 比率の合計は、端数処理の関係で一致しない。

(表 14：地域地区別市町村別面積総括表)

(単位：ha)

地域地区 市町村名			特別地域					普通地域 （陸域）	合計 （陸域）	海域公園 地区	普通地域 （海域）	合計 （海域）
			特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計					
熊本県	菊池市		0	58	181	231	470	1, 147	1, 617			
	阿蘇市		331	905	3, 037	10, 623	14, 896	15, 460	30, 356			
	菊池郡	大津町	70	0	18	226	314	422	736			
	阿蘇郡	南小国町	0	0	317	2, 036	2, 353	1, 379	3, 732			
		小国町	0	37	0	139	176	1, 384	1, 560			
		産山村	0	0	233	424	657	341	998			
		高森町	317	307	630	1, 652	2, 906	2, 029	4, 935			
		南阿蘇村	94	887	1, 758	3, 032	5, 771	7, 935	13, 706			
	小計			812	2, 194	6, 174	18, 363	27, 543	30, 097			
大分県	別府市		0	84	2, 237	0	2, 321	15	2, 336			
	竹田市		1, 034	1, 107	978	1, 806	4, 925	1, 886	6, 811			
	由布市		0	258	1, 806	198	2, 262	793	3, 055			
	玖珠郡	九重町	91	808	2, 958	1, 684	5, 541	904	6, 445			
		玖珠町	0	0	2	0	2	0	2			
小計			1, 125	2, 257	7, 981	3, 688	15, 051	3, 598	18, 649			
合計			1, 937	4, 451	14, 155	22, 051	42, 594	33, 695	76, 289			

※1 面積値は、GIS ソフトを用いた再計算後の数値である。

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

保護施設を次のとおりとする。

(表 15：保護施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	砂防施設	熊本県阿蘇市（火口西）	中岳火口縁の浸食が著しい地点に設ける。	昭 54. 12. 14 告示
2	植生復元施設	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村（古坊中）	火山ガス及び害虫による被害から中岳周辺のミヤマキリシマの群落を保護するために設ける。	昭 54. 12. 14 告示
3	植生復元施設	熊本県阿蘇市（草千里）	人及び乗馬の入り込みによる被害から草千里の野草地を保護するために設ける。	昭 54. 12. 14 告示
4	植生復元施設	熊本県阿蘇市（米塚）	米塚の土塁縁を保護するために設ける。	昭 54. 12. 14 告示
5	植生復元施設	大分県玖珠郡九重町（牧ノ戸峠）	利用者の入り込みによる植生の破壊を防止するため整備する。	昭 56. 12. 14 告示
6	自然再生施設	熊本県阿蘇市、菊池郡大津町、阿蘇郡南小国町、同郡小国町、同郡産山村、同郡高森町及び同郡南阿蘇村（阿蘇草原）	草原（野草地）の野焼きを継続・復活するための整備、採草等の管理を促進するための整備を、様々な関係者との協力により行う。 また、草原内に点在する湿地や希少種の生息・生育地について、当該地及びその周辺環境を整備する。 さらに、草原環境や自然再生事業に関する情報を発信し、草原環境教育を推進するため、草原再生活動の拠点施設や希少植物等の展示草原を整備する。	平 17. 7. 12 告示 令 7. 2. 28 変更
7	植生復元施設	大分県別府市（猪の瀬戸湿原）	希少な湿性植生を保護し、野焼きを継続するとともに、外来植物の侵入拡散の防止及びニホンジカの影響を未然に防止するために整備する。	令 2. 10. 22 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
8	植生復元施設	大分県竹田市（平治岳）	平治岳のミヤマキリシマ群落を保全するため、登山ルートの荒廃を防止し、被圧木本植物を除伐する。	令 2. 10. 22 告示
9	植生復元施設	大分県玖珠郡九重町（タデ原湿原）	希少な湿原植生を保護し、野焼きを継続するとともに、外来植物の進入拡散の防止及びニホンシジカの影響を未然に防止するために整備する。	令 2. 10. 22 告示

イ 利用施設計画

(ア) 集団施設地区

集団施設地区を次のとおりとする。

(表 16：集団施設地区表)

番号	名称	区域	計画目標	整備計画区及び 基盤施設	整備方針	面積（ha）			旧計画との関係	
1	瀬の本	熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	当地区は、本公園の利用幹線である別府阿蘇線道路（車道）の沿線で九重山群の西麓に位置し、広大な原野景観とその彼方の阿蘇五岳を遠望できる景勝の地である。 この恵まれた景観や良好なアクセスを活かし、道路沿線の休憩地・情報発信基地とするとともに、別府と阿蘇の中継地として、快適な宿泊拠点となるよう施設を計画するものとする。	西部整備計画区	幹線道路から少し奥に位置し、主に宿泊者を対象とした計画区である。 既存ホテル及びユースホステル等を適切に維持管理しつつ、快適な宿泊拠点として施設の整備を図る。	38.4			一般計画 昭 54. 12. 14 決定 区域指定及び詳細計画 昭 56. 7. 20 決定 同計画を再検討のため再告示 昭 56. 12. 14 区域の拡張及び整備計画区の決定 平 7. 12. 12	
				東部整備計画区	主に、本公園の幹線道路である別府阿蘇線道路（車道）を利用する日帰り利用者のための計画区である。 休憩所、運動広場、野営場等の既存施設を適切に維持管理しつつ、積極的な自然とのふれあいを促進するため、休憩所等には利用者への情報発信のための施設を付帯整備する。 なお、休憩所等の建物は、阿蘇五岳や九重山群等の展望景観の保護に留意した適正な規模とする。	38.2				
				道路（歩道）	旧街道や別府阿蘇線道路（車道）東側の草地、クヌギ、コナラ林を活かしつつ、各施設を有機的に連絡する展望、自然探勝のための歩道を整備する。					
				面積計			国	公		私
							0	23.5		53.1
							76.6			

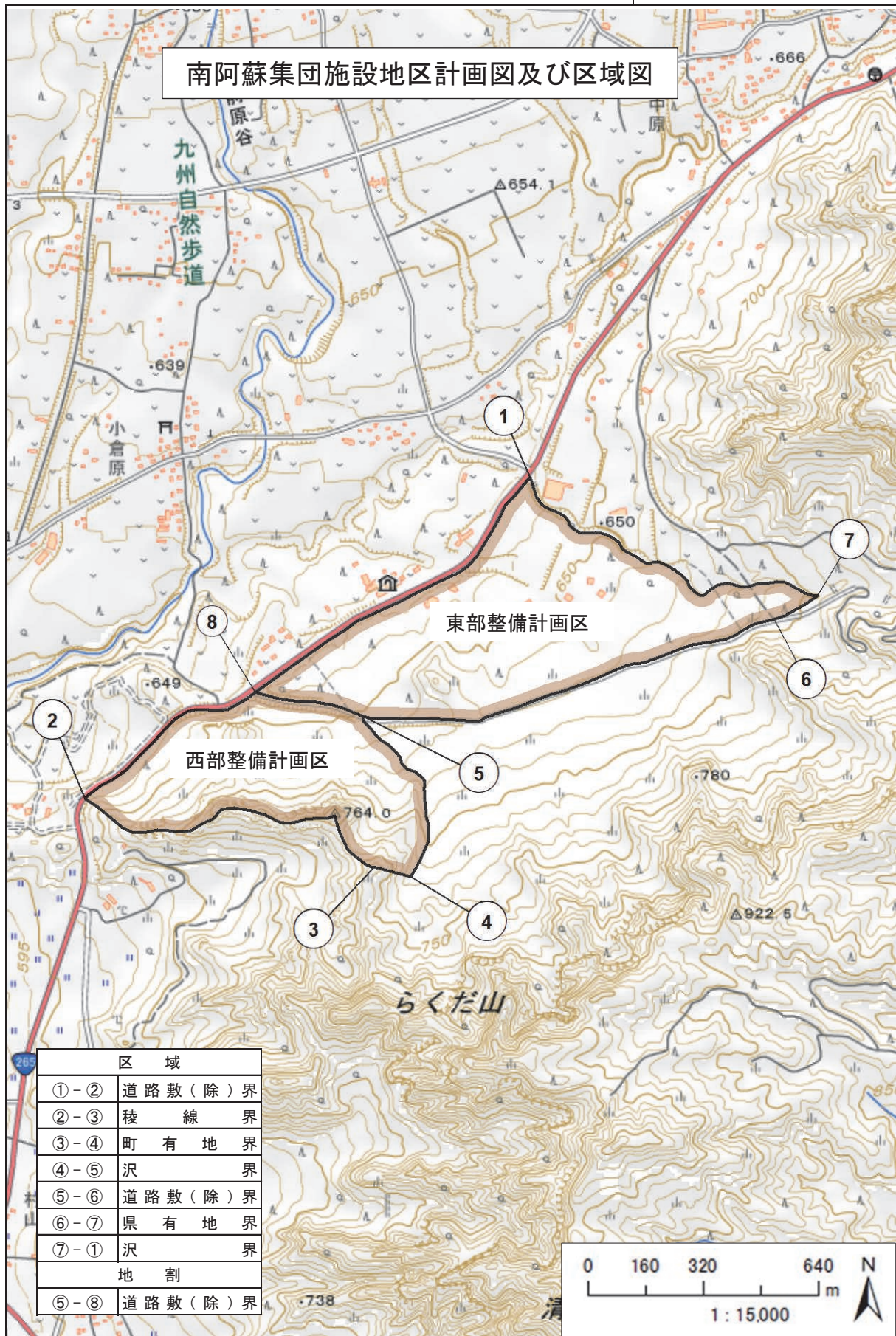
番号	名称	区域	計画目標	整備計画区及び 基盤施設	整備方針	面積（ha）			旧計画との関係		
2	南阿蘇	熊本県阿蘇郡高森町 大字高森の一部	当地区は、南阿蘇地区の東端、カルデラ壁の裾野の標高 650m 内外の傾斜地に位置し、前面に根子岳、高岳の雄大な景観が、背後には南外輪山の特異な山容が望まれ、展望に恵まれている。 また、国道 265 号により熊本・大分方面へ通じ、当地区へのアクセスも優れている。 この恵まれた景観や良好なアクセスを活かし、南阿蘇地区の宿泊、野外レクリエーション、自然探勝等の利用の拠点となるよう施設を計画するものとする。	東部整備計画区	国道 265 号に面し、良好な自然環境の中であって、快適な宿泊、野外スポーツ、野営等を楽しむ計画区である。 本地区の中核施設である宿舎を中心に、公共駐車場、オートキャンプも可能な野営場、野外スポーツ利用を主体とした運動広場及びテニスコート等の既存施設を適切に維持管理しつつ、快適な利用が図れるよう施設の整備を図る。 また、阿蘇の自然とのふれあいを促進するため、ビジターセンター及びその南側の野草園、遊歩道並びに展望休憩を目的とした園地を整備する。 なお、当整備計画区に奥行きを持たせ、阿蘇五岳の良好な自然景観を保持し、快適性の高い地区とするとともに、車道沿線の景観を維持するため、国道から 30 m幅を緩衝緑地とする。	40.3			一般計画及び詳細計画 昭 54. 12. 14 決定 同計画を再検討のため再告示 昭 56. 12. 14 整備計画区 平 7 . 12. 12 決定		
				西部整備計画区	ラクダ山の北山腹に位置する自然探勝のための計画区である。 ラクダ山の特異な地形・景観の保護に留意しつつ、草原に自生する野草、草原性の野鳥や根子岳・高岳の景観等の自然を楽しみ探勝するための利用地として、歩道、展望広場等を整備する。	32.0					
				道路（歩道）	各施設を有機的に連絡する自然探勝及び散策のための歩道を整備する。						
				面積計					国	公	私
									0	72.3	0
									72.3		

番号	名称	区域	計画目標	整備計画区及び 基盤施設	整備方針	面積（ha）			旧計画との関係	
5	長者原	大分県玖珠郡九重町 大字田野の一部	当地区は、本公園の利用幹線である別府阿蘇線道路（車道）の沿線で、九重山群の北西麓の飯田高原地内に位置し、草地やクヌギ・ミズナラ等の二次林、湿原及び温泉等の良好な自然環境を有する。 この恵まれた自然環境や良好なアクセスを活かし、くじゅう地域における自然探勝、登山、避暑、湯治等自然とのふれあいの拠点として、探勝、宿泊及び休養のための施設を計画するものとする。	松の台整備計画区	草原と二次林を活かした宿泊及び自然探勝利用を主とした計画区である。 田野長者原線道路（車道）西側の草原及び二次林においては、オートキャンプも可能な野営場等を整備し、別府阿蘇線道路（車道）東側は、草原を保全しつつ既存ホテルの適切な維持管理を図るとともに、多目的広場や自然探勝路等を整備する。 なお、両道路に挟まれたところは、主に園地として整備する。	89.6			一般計画 昭 41. 8. 26 決定 詳細計画 昭 56. 12. 14 決定 区域変更及び整備計画区 平 7. 12. 12 決定	
				中央整備計画区	くじゅう地域の草原、湿原、火山、森林等の自然とのふれあいのための中心的な計画区である。 自然とのふれあい利用を促進するための中核施設として別府阿蘇線道路（車道）東側にビジターセンターや自然研究路等を一体的に整備するとともに、西側には主に園地、駐車場等を整備する。 また、バス路線等のターミナルとして案内所、休憩所等を整備する。	33.0				
				寒ノ地獄整備計画区	森林に囲まれた保養と湯治のための宿泊利用を主とした計画区である。 森林の保護を図りつつ、ホテル、旅館及び野営場等を整備する。	64.0				
				道路（歩道）	各施設を有機的に連絡する自然探勝及び散策のための歩道を整備する。					
				給水施設及び排水施設	各整備計画区の施設へ給水するための施設及び汚排水処理のための施設を整備する。					
				面積計			国	公		私
							59.5	4.4		122.7
							186.6			

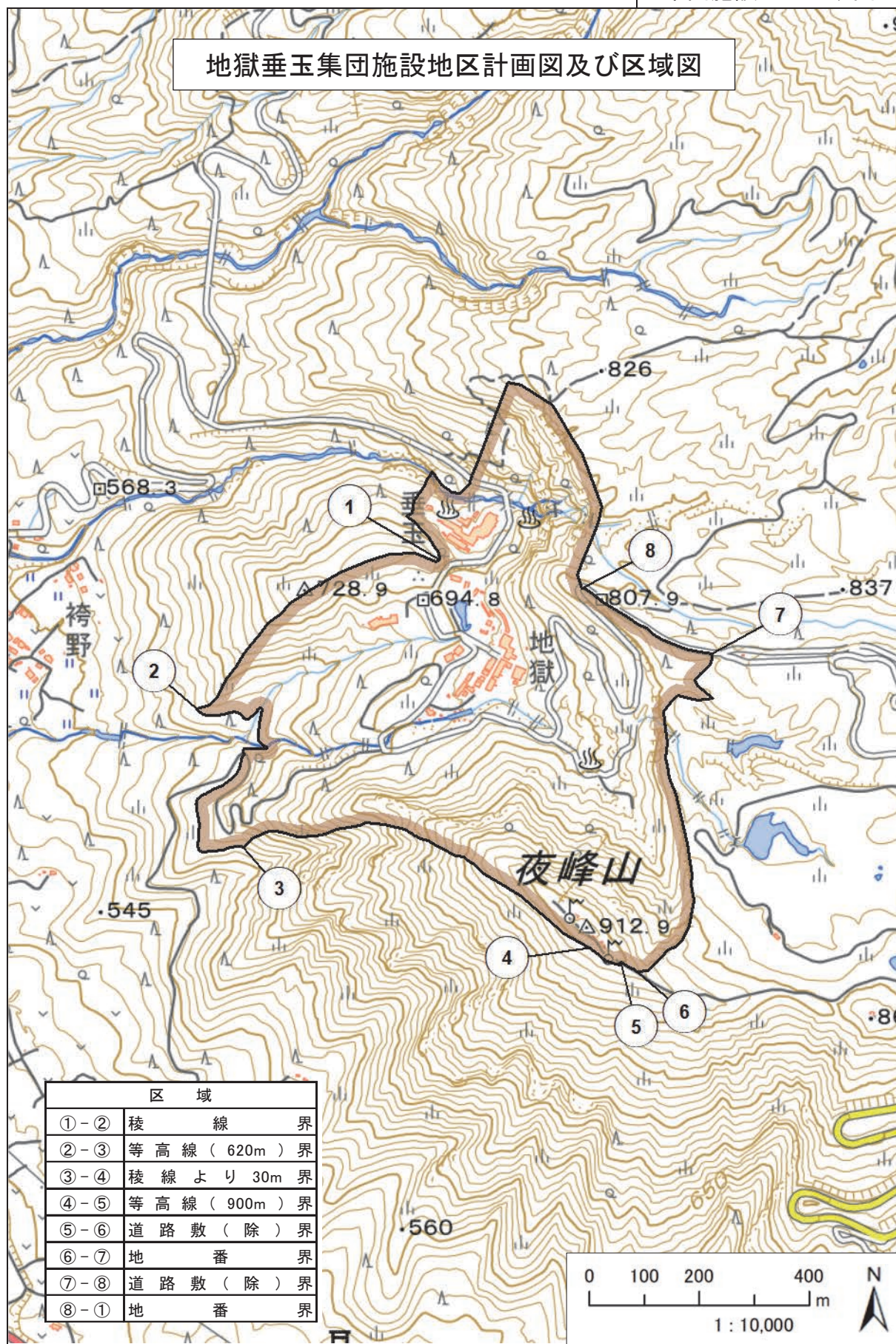
瀬の本集団施設地区計画図及び区域図



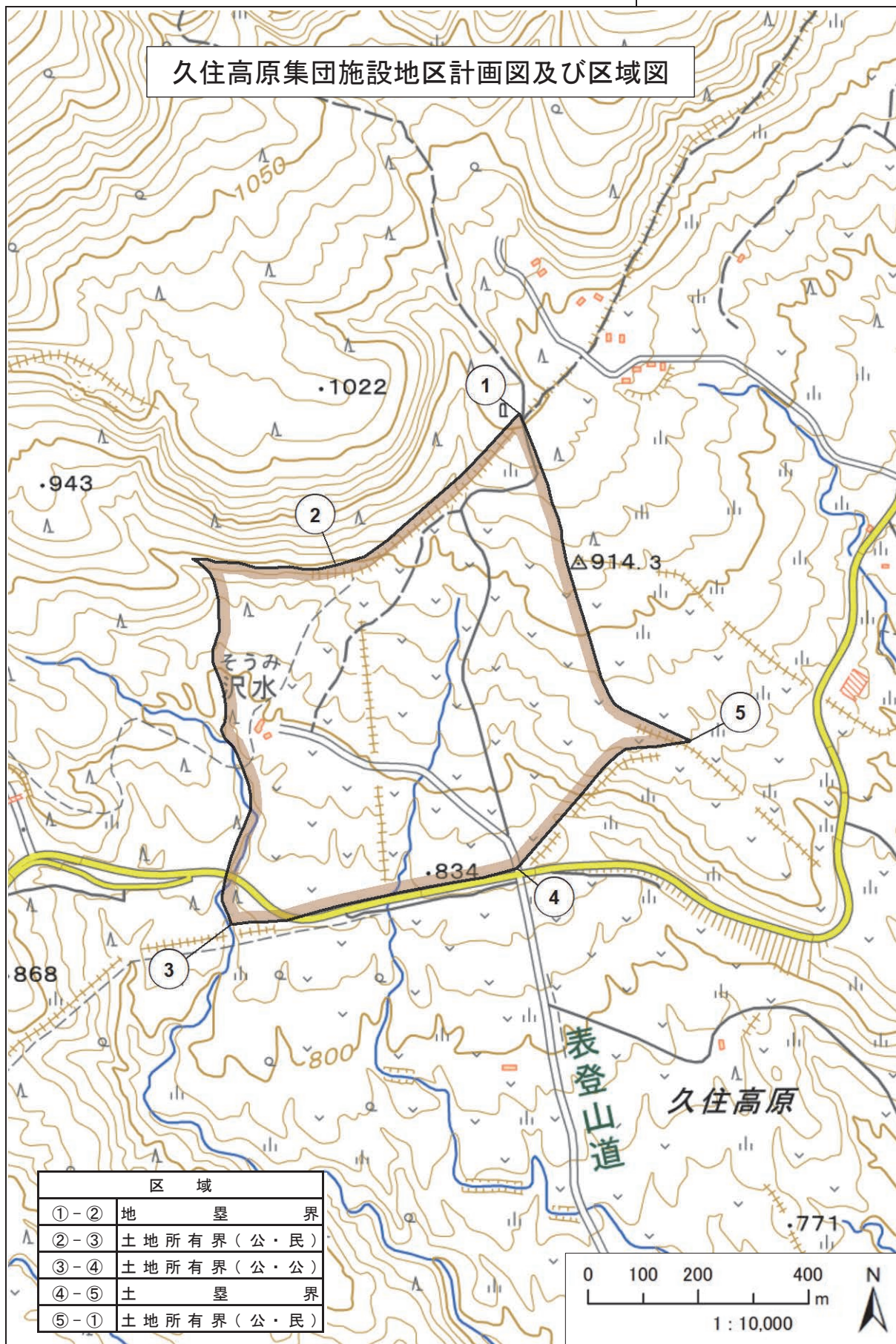
南阿蘇集団施設地区計画図及び区域図



地獄垂玉集团施設地区計画図及び区域図

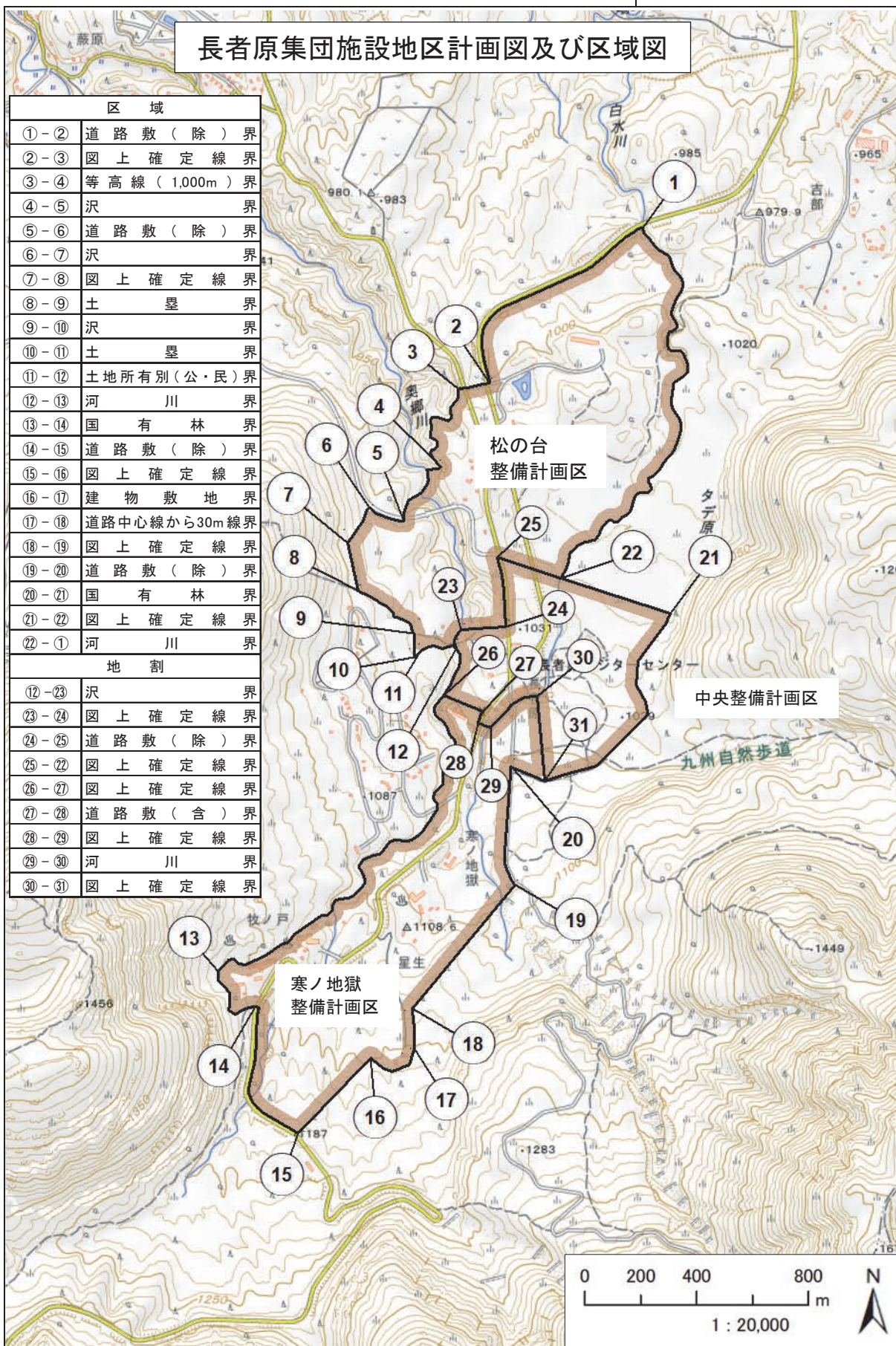


久住高原集团施設地区計画図及び区域図



長者原集団施設地区計画図及び区域図

区 域		
①-②	道 路 敷 (除) 界	
②-③	図 上 確 定 線 界	
③-④	等 高 線 (1,000m) 界	
④-⑤	沢	界
⑤-⑥	道 路 敷 (除) 界	
⑥-⑦	沢	界
⑦-⑧	図 上 確 定 線 界	
⑧-⑨	土 壘	界
⑨-⑩	沢	界
⑩-⑪	土 壘	界
⑪-⑫	土地所有別(公・民)界	
⑫-⑬	河 川	界
⑬-⑭	国 有 林 界	
⑭-⑮	道 路 敷 (除) 界	
⑮-⑯	図 上 確 定 線 界	
⑯-⑰	建 物 敷 地 界	
⑰-⑱	道路中心線から30m線界	
⑱-⑲	図 上 確 定 線 界	
⑲-⑳	道 路 敷 (除) 界	
㉑-㉒	国 有 林 界	
㉒-㉓	図 上 確 定 線 界	
㉓-㉔	河 川	界
地 割		
㉔-㉕	沢	界
㉕-㉖	図 上 確 定 線 界	
㉖-㉗	道 路 敷 (除) 界	
㉗-㉘	図 上 確 定 線 界	
㉘-㉙	図 上 確 定 線 界	
㉙-㉚	道 路 敷 (含) 界	
㉚-㉛	図 上 確 定 線 界	
㉛-㉜	河 川	界
㉜-㉝	図 上 確 定 線 界	



(イ) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 17：単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	園地	熊本県菊池市及び熊本県阿蘇市(菊池溪谷)	溪谷の探勝、休憩散策園地として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
3	駐車場	熊本県菊池市 (菊池溪谷)	溪谷探勝者のための駐車場として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
6	園地	熊本県阿蘇市 (城山)	九州横断道路沿線であり、阿蘇五岳の展望で著名な地であるので休憩、展望園地として充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
8	園地	熊本県阿蘇市 (仙酔峡)	ロープウェイへの乗り替え地点であり、ミヤマキリシマの探勝地として重要な地区であるので必要な施設の充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
11	園地	熊本県阿蘇市 (兜岩)	展望、休憩園地として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
12	園地	熊本県阿蘇市 (大観峰)	主要な利用道路 (車道) に隣接した展望、休憩、散策園地として充実を図る。取付の車道を付帯させるものとする。	昭 54. 12. 14 告示
13	園地	熊本県阿蘇市 (坊中三合目)	休憩園地として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
14	野営場	熊本県阿蘇市 (坊中三合目)	阿蘇五岳を探勝する基地としての野営場の充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
15	園地	熊本県阿蘇市 (杵島岳麓)	展望、休憩園地として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
16	園地	熊本県阿蘇市 (草千里)	展望、休憩園地として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
17	休憩所	熊本県阿蘇市 (草千里)	草千里の利用者のための休憩所として整備する。	昭 56. 2. 3 告示
18	駐車場	熊本県阿蘇市 (草千里)	草千里の利用者のための駐車場として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
19	給水施設	熊本県阿蘇市 (草千里)	草千里地区を対象とする給水施設として整備する。	昭 56. 2. 3 告示
20	博物展示施設	熊本県阿蘇市 (草千里)	阿蘇地区利用者のため、火山活動等についての解説展示を主体とした展示施設を整備する。	昭 56. 3. 25 告示
21	園地	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村 (古坊中)	中岳火口探勝の中心的利用基地であり、広場として整備充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
22	休憩所	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村（古坊中）	中岳火口探勝の中心的利用基地であり、休憩所として整備充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
23	駐車場	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村（古坊中）	中岳火口探勝者のための駐車場として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
24	給水施設	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村（古坊中）	中岳火口探勝の中心的利用基地として施設の充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
25	ゴルフ場	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村（赤水）	現況のゴルフ場を維持する。	昭 54. 12. 14 告示
26	ゴルフ場	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡南阿蘇村（湯の谷）	現況のゴルフ場を維持する。	昭 54. 12. 14 告示
28	園地	熊本県阿蘇郡産山村（上田尻）	休憩園地として充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
31	避難小屋	熊本県阿蘇郡高森町（高岳）	小規模な施設とする。	昭 54. 12. 14 告示
32	野営場	熊本県阿蘇郡高森町（鍋の平）	青少年向けの野営場として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
33	園地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村（池の窪）	休憩園地として整備する。	昭 54. 12. 14 告示
36	宿舎	熊本県阿蘇郡南阿蘇村（湯の谷）	湯の谷温泉を中心とした宿泊施設（ホテル、旅館）の充実を図る。	昭 54. 12. 14 告示
39	園地	大分県別府市（扇山）	展望とピクニックを主体とした園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
40	ゴルフ場	大分県別府市（扇山）	現況を維持する。	昭 56. 12. 14 告示
41	園地	大分県別府市（鶴見岳山頂）	高山植物の観察、鑑賞及び周辺一帯の展望のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
42	園地	大分県別府市及び大分県由布市（猪の瀬戸峠）	由布岳、鶴見岳縦走路の中継及び両岳山麓の自然探勝のための施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
43	避難小屋	大分県別府市及び大分県由布市（由布岳）	登山者の安全を図る施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
44	園地	大分県別府市（猪の瀬戸）	湿原の生成と湿原に生息する動植物等の観察の場として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
45	園地	大分県別府市（志高湖）	志高湖を中心に諸施設を整備し、水辺利用の場とする。	昭 56. 12. 14 告示
46	宿舎	大分県別府市（志高湖）		昭 56. 12. 14 告示
47	野営場	大分県別府市（志高湖）		昭 56. 12. 14 告示
48	園地	大分県別府市（城島高原）	宿舎及び園地を整備する。	昭 56. 12. 14 告示
49	宿舎	大分県別府市（城島高原）		昭 56. 12. 14 告示
51	園地	大分県別府市（由布岳南登山口）	由布岳の登山基地及び自然探勝のための休憩、ピクニックの場として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
52	野営場	大分県由布市（西の大原）	平治岳、黒岳に囲まれた良好な自然環境を活かした休養的利用の場として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
53	園地	大分県由布市（黒岳男池）	優れた自然林と湧水など自然現象の探勝の場として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
54	園地	大分県由布市（白水）	優れた自然林と鉱泉を活用し、自然探勝と保養の場として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
55	宿舎	大分県由布市（白水）		昭 56. 12. 14 告示
56	野営場	大分県由布市（白水）		昭 56. 12. 14 告示
57	園地	大分県由布市（狭霧台）	別府阿蘇線道路（車道）の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
58	園地	大分県由布市、大分県玖珠郡九重町及び大分県玖珠郡玖珠町（水分峠）	別府阿蘇線道路（車道）の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
59	園地	大分県由布市（小田の池）	別府阿蘇線道路（車道）の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
60	園地	大分県由布市（山下池）	山下池を中心とした閑静な水辺利用の場として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
61	宿舎	大分県由布市（山下池）		昭 56. 12. 14 告示
62	野営場	大分県由布市（山下池）		昭 56. 12. 14 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
63	避難小屋	大分県竹田市 (黒岳)	登山者の安全を図る施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
64	避難小屋	大分県竹田市 (大船山)	登山者の安全を図る施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
65	宿舎	大分県竹田市 (法華院)	久住山、大船山等への登山基地とするとともに、温泉を活用した保養的利用を考慮する。	昭 56. 12. 14 告示
66	野営場	大分県竹田市 (法華院)		昭 56. 12. 14 告示
67	避難小屋	大分県竹田市 (久住山)	登山者の安全を図る施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
68	避難小屋	大分県竹田市 (久住御池)	登山者の安全を図る施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
70	園地	大分県竹田市 (字見台)	久住小国線道路 (車道) の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
71	園地	大分県竹田市 (赤川)	九重山群南麓の利用基地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
72	宿舎	大分県竹田市 (赤川)		昭 56. 12. 14 告示
73	野営場	大分県竹田市 (赤川)		昭 56. 12. 14 告示
74	園地	大分県玖珠郡九重町 (朝日台)	別府阿蘇線道路 (車道) の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
75	園地	大分県玖珠郡九重町 (泉水山麓)	広大な草原を利用して野営場及び園地を整備する。	昭 56. 12. 14 告示
76	野営場	大分県玖珠郡九重町 (泉水山麓)		昭 56. 12. 14 告示
78	園地	大分県玖珠郡九重町 (筋湯)	温泉を中心とした保養地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
79	宿舎	大分県玖珠郡九重町 (筋湯)		昭 56. 12. 14 告示
80	駐車場	大分県玖珠郡九重町 (筋湯)		昭 56. 12. 14 告示
81	公衆浴場	大分県玖珠郡九重町 (筋湯)	登山者の安全を図る施設として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
82	避難小屋	大分県玖珠郡九重町 (諏峨守越)		昭 56. 12. 14 告示
83	園地	大分県玖珠郡九重町 (牧ノ戸峠)	九重山群の登山口として、また別府阿蘇線道路 (車道) の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
84	駐車場	大分県玖珠郡九重町 (牧ノ戸峠)		昭 56. 12. 14 告示
85	園地	大分県玖珠郡九重町 (瀬の本北)	別府阿蘇線道路 (車道) の展望休憩のための園地として整備する。	昭 56. 12. 14 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
87	園地	熊本県阿蘇市 (西湯浦)	展望、休憩地として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
88	宿舎	熊本県阿蘇市 (赤水)	中央火口丘北麓の利用拠点として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
90	園地	熊本県阿蘇市 (米塚下)	自然草地とのふれあいの場として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
91	園地	熊本県阿蘇郡高森町 (御成山 高森峠)	展望、休憩地として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
92	園地	熊本県阿蘇郡高森町 (千本桜)	休憩、散策地として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
93	園地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 (俵山峠)	展望、休憩地として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
95	園地	大分県竹田市 (宇見台上)	展望、休憩地として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
96	園地	大分県竹田市 (久住山南登山口)	久住山の南登山基地として、また自然草地とのふれあいの場として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
97	野営場	大分県竹田市 (久住山南登山口)		昭 61. 9. 10 告示
98	園地	大分県玖珠郡九重町 (地藏原)	湿原の自然観察と散策の場として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
99	園地	大分県玖珠郡九重町 (小松地獄)	地熱現象の観察の場として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
100	園地	熊本県阿蘇市及び熊本県阿蘇郡産山村 (荻の草)	阿蘇五岳と九重山群の雄大な景観を活かした展望休憩の場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
102	園地	熊本県阿蘇市 (山田)	九重山群の雄大な景観を活かした展望休憩及び草原とのふれあいの場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
103	園地	熊本県阿蘇市 (狩尾)	阿蘇五岳の雄大な景観とカルデラ壁の地形を活かした自然に親しむ場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
104	園地	熊本県阿蘇市 (二重峠)	阿蘇五岳と北外輪山の雄大な景観を活かした展望休憩の場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
106	園地	熊本県阿蘇郡南小国町 (雀の地獄)	森林及び噴湯現象等を探勝する場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
107	野営場	熊本県阿蘇郡産山村 (田尻)	草原とふれあうための野外宿泊の拠点として整備する。	平 7. 12. 12 告示
109	園地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 (両併)	阿蘇五岳と南阿蘇の雄大な景観を活かした展望休憩の場として整備する。	平 7. 12. 12 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
110	野営場	大分県別府市（城島高原）	鶴見岳山麓の野外宿泊の拠点として整備する。	平 7. 12. 12 告示
111	運動場	大分県別府市（志高湖）	志高湖周辺における多目的な運動の場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
112	園地	大分県由布市（蛇越峠）	別府阿蘇線道路（車道）沿線において由布岳の景観を活かした展望休憩の場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
113	園地	大分県玖珠郡九重町（八丁原）	緩やかに広がる草地とその周辺に自生するミヤマキリシマ、シヤクナゲ等の自然環境を活かした多様なレクリエーションの場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
114	運動場	大分県玖珠郡九重町（八丁原）	筋湯温泉の利用客を中心とした運動の場として整備する。	平 7. 12. 12 告示
115	宿舎	大分県玖珠郡九重町（瀬の本北）	阿蘇五岳の雄大な景観と九重山群の西麓の森林に囲まれた自然環境を活かした滞在拠点として整備する。	平 7. 12. 12 告示
116	野営場	大分県玖珠郡九重町（瀬の本北）	阿蘇五岳の雄大な景観と九重山群の西麓の森林に囲まれた自然環境を活かした野外宿泊の拠点として整備する。	平 7. 12. 12 告示
117	乗馬施設	熊本県阿蘇市（城山北）	阿蘇北外輪山で自然や動物とのふれあいの場として乗馬施設を整備する。	平 21. 10. 28 告示
118	園地	熊本県阿蘇市（三久保）	内牧温泉近傍の田子山周辺での散策・展望園地として整備する。	平 21. 10. 28 告示
119	乗馬施設	熊本県阿蘇市（草千里）	草千里で自然や動物とのふれあいの場として乗馬施設を整備する。	平 21. 10. 28 告示
120	園地	熊本県阿蘇市（中岳中央火口）	中岳火口探勝の展望・散策園地として整備する。	平 21. 10. 28 告示
121	園地	熊本県阿蘇市（小里）	多くの水鳥を始め様々な動植物が生息・生育する黒川水系の内牧遊水池を中心に、阿蘇五岳や阿蘇北外輪山の山々を見渡せる親水・散策・展望園地として整備する。	平 24. 3. 27 告示
122	園地	熊本県阿蘇市（宮坂）	草原を活用した自然に親しむ場として整備する。	令和元. 8. 30 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
123	園地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村（数鹿流ヶ滝）	数鹿流ヶ滝周辺の探勝及び熊本地震で出現した断層等を保存し探勝するための園地として整備する。	令元. 8. 30 告示
124	園地	大分県由布市（道の駅ゆふいん）	湯布院 IC の出口付近にある道の駅ゆふいんに、国立公園利用者の立ち寄る園地を整備する。	令 2. 10. 16 告示
125	燃料等供給施設	大分県由布市（道の駅ゆふいん）	湯布院 IC を降りて以降、道の駅ゆふいんから飯田高原までの、やまなみハイウェイ沿いの燃料等供給施設として整備する。	令 2. 10. 16 告示
126	燃料等供給施設	大分県玖珠郡九重町（飯田高原）	飯田高原から瀬の本集団施設地区までの、やまなみハイウェイ沿いの燃料等供給施設として整備する。	令 2. 10. 16 告示
127	園地	熊本県阿蘇郡南小国町（押戸石）	阿蘇外輪山の草原の丘にある巨石群と雄大な景観を活かした展望休憩の場として整備する。	令 7. 2. 28 告示
128	園地	熊本県阿蘇郡南小国町（マゼノ溪谷）	大きな岩肌を洗うように流れる清流と生い茂る広葉樹のコントラストを楽しむ探勝の場として整備する。	令 7. 2. 28 告示
129	野営場	熊本県阿蘇郡南小国町（甲の瀬）	阿蘇外輪山の草原とそこに流れる川を活かし野外宿泊の拠点として整備する。	令 7. 2. 28 告示
130	宿舎	大分県竹田市（久住山南登山口）	阿蘇五岳の雄大な景観と九重山群南麓の自然草地に囲まれた自然環境を活かした滞在拠点として整備する。	令 7. 2. 28 告示

(ウ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 18：道路（車道）表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	阿蘇北外輪山線	起点－熊本県菊池市（念仏橋・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（湯浦・車道合流点） 終点－熊本県阿蘇市（中通・車道合流点） 起点－熊本県阿蘇市（手野・車道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡産山村（山鹿・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（坂の上・国立公園境界）	菊池溪谷 兜岩 大観峰 木落	菊池市方面から菊池溪谷を通り、阿蘇北外輪を通 過し、阿蘇五岳を眺望する道路である。 道路沿線には、休憩のための小規模な園地を整備 する。	昭 54. 12. 14 告示 令 7 . 2 . 28 変更
4	宮地高森線	起点－熊本県阿蘇市（坂梨） 終点－熊本県阿蘇郡高森町（高森峠・国立公園境界）	箱石峠 大戸の口 高森	阿蘇谷から南阿蘇を経て宮崎・高千穂方面に至る 車道として、また、東外輪山、根子岳裾野及び高森 峠のドライブや展望を楽しむ道路として整備する。	平 7 . 12. 12 告示
5	仙酔峡線	起点－熊本県阿蘇市（宮地・車道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（仙酔峡）	小堀牧	宮地と仙酔峡を結ぶ登山車道である。	昭 54. 12. 14 告示
6	小国阿蘇線	起点－熊本県阿蘇郡南小国町（赤馬場・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（坊中・車道合流点）	大観峰 内牧	日田、小国方面から大観峰を通り、阿蘇と結ぶ車 道であり、ドライブや展望を楽しむ道路である。	昭 54. 12. 14 告示 令 7 . 2 . 28 変更
7	尾ノ岳線	起点－熊本県阿蘇市（尾ノ岳・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（兜岩・車道合流点）	尾ノ岳 斧岳	杖立、大分県日田市と北外輪山を結ぶ車道である とともに、尾ノ岳、斧岳への到達道路である。	昭 54. 12. 14 告示
8	大津北外輪山線	起点－熊本県阿蘇市（二重峠・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（西湯浦・国立公園境界）	兜岩	熊本・大津方面と北外輪山を結ぶ車道であり、ド ライブや展望を楽しむ道路である。産小屋上及び二 重峠に展望、休憩のための小規模な園地を設ける。	昭 54. 12. 14 告示
9	坊中山上線	起点－熊本県阿蘇市（阿蘇駅前） 終点－熊本県阿蘇市（山上広場）	三合目 草千里 古坊中	J R阿蘇駅と阿蘇山上を結ぶ登山車道であり、展 望を楽しむ道路である。	昭 54. 12. 14 告示
10	阿蘇山上線	起点－熊本県阿蘇市（山上広場） 終点－熊本県阿蘇市（中岳火口縁）		阿蘇山上広場と火口縁を結ぶ登山車道である。	昭 54. 12. 14 告示
12	南阿蘇登山線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（吉田） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（古坊中・車道合流点）	御竈門山 池の窪	南阿蘇と阿蘇山上を結ぶ車道として、またカルデ ラ地形の展望を楽しむ道路として整備する。	平 7 . 12. 12 告示
13	長陽池の窪線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（下田） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（池の窪・車道合流点）	池の窪 地獄・垂玉	地獄垂玉集団施設地区へのアプローチ道路とし て、また阿蘇山上方面への連絡道路として整備す る。	平 7 . 12. 12 告示
15	矢部吉田線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（駒返峠・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（吉田）	駒返峠	矢部方面と南阿蘇を結ぶ連絡道路として整備す る。	平 7 . 12. 12 告示
16	赤水山上線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（下野・車道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（杵島岳西麓・車道合流点）	米塚	熊本市方面と阿蘇山上を結ぶ登山車道であり展望 を楽しむ道路とする。上米塚に展望のための小規模 な園地を設ける。	昭 54. 12. 14 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
17	湯の谷線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（湯の谷・車道合流点） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（湯の谷温泉）		湯の谷温泉への到達道路である。	昭 54. 12. 14 告示
18	別府阿蘇線	起点－大分県別府市（堀田・国立公園境界） 終点－大分県由布市（岳本・国立公園境界） 起点－大分県由布市（荒木・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（宮地・車道合流点）	城島高原 湯布院 長者原 牧ノ戸峠	由布鶴見、九重、阿蘇の各地域を結ぶ基幹車道として展望に配慮し整備する。	昭 56. 12. 14 告示
19	志高湖線	起点－大分県別府市（鳥居・車道分岐点） 終点－大分県別府市（岳の脇・国立公園境界）	志高湖 神楽女湖	別府阿蘇線道路（車道）から分岐し、志高湖、神楽女湖へのアプローチ道路として整備する。	平 7. 12. 12 告示
20	西の大原線	起点－大分県由布市（花牟礼・国立公園境界） 終点－大分県由布市（所小野・国立公園境界）	男池 西の大原	九重団地北東部の基幹車道として整備する。一般自動車道久住山南麓線とともに九重団地を周回するルートとして、また、黒岳、男池及び西の大原の利用ルートとして機能させる。	昭 61. 9. 10 告示
22	赤川線	起点－大分県竹田市（赤川・車道分岐点） 終点－大分県竹田市（赤川）		久住小国線道路（車道）と一般自動車道久住山南麓線とを連絡する車道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
23	久住高原線	起点－大分県竹田市（平木・国立公園境界） 終点－大分県竹田市（久住南登山口北西・車道合流点）	久住高原 集団施設地区	久住高原集団施設地区への導入車道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
24	久住小国線	起点－大分県竹田市（牧ノ元・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇郡南小国町（瀬の本・国立公園境界）	赤川	九重団地南西山麓の基幹車道として展望に配慮し整備する。赤川、牧ノ元間には、旧小国街道の松並木を利用して歩道を併設する。	昭 56. 12. 14 告示
25	田野長者原線	起点－大分県玖珠郡九重町（田野・国立公園境界） 終点－大分県玖珠郡九重町（長者原集団施設地区・車道合流点）		九重町側からの長者原集団施設地区への到達車道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
26	長者原筋湯線	起点－大分県玖珠郡九重町（長者原集団施設地区・車道分岐点） 終点－大分県玖珠郡九重町（筋湯・車道合流点）	泉水山麓	長者原集団施設地区と筋湯瀬の本線道路（車道）とを結ぶ車道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
27	筋湯牧ノ戸峠線	起点－大分県玖珠郡九重町（筋湯・車道分岐点） 終点－大分県玖珠郡九重町（牧ノ戸峠・車道合流点）		筋湯瀬の本線道路（車道）と別府阿蘇線道路（車道）を結ぶ車道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
28	筋湯瀬の本線	起点－大分県玖珠郡九重町（湯坪・国立公園境界） 終点－大分県玖珠郡九重町（瀬の本・車道合流点）	筋湯	九重町側から別府阿蘇線道路（車道）への到達道路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
29	地藏原線	起点－大分県玖珠郡九重町（地藏原・国立公園境界） 終点－大分県玖珠郡九重町（地藏原・国立公園境界）		九重団地北部からの到達車道として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
30	雀の地獄線	起点－熊本県阿蘇郡南小国町（火焼輪知・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇郡南小国町（雀の地獄）		雀の地獄園地へのアプローチ道路として整備する。	平 7. 12. 12 告示
32	熊本南阿蘇線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（俵山峠北・国立公園境界） 起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（俵山峠・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（喜多）	俵山峠	熊本方面から南阿蘇への主要なアプローチ道路として整備する。	平 7. 12. 12 告示

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 19：道路（歩道）表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	九州自然歩道線	起点－熊本県菊池市（念仏橋・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（駒返峠・国立公園境界） 起点－熊本県阿蘇市（宮地・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（坂梨・歩道合流点） 起点－熊本県阿蘇郡高森町（南阿蘇集団施設地区・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡高森町（黒岩峠・歩道合流点） 起点－熊本県阿蘇郡高森町（村山・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡高森町（中坂峠・歩道合流点） 起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（清水峠・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（白川） 起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（駒返峠・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（久石・歩道合流点） 起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（駒返峠・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（中松・歩道合流点） 起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（長谷峠・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（見晴台駅） 起点－大分県玖珠郡九重町（地藏原・国立公園境界） 終点－大分県玖珠郡九重町（石原・国立公園境界） 起点－大分県玖珠郡九重町（湯坪・国立公園境界） 終点－大分県竹田市（青柳・国立公園境界） 起点－大分県竹田市（朽網分かれ・歩道分岐点） 終点－大分県竹田市（久住南登山口） 終点－大分県竹田市（立中山） 起点－大分県竹田市（久住高原集団施設地区）	菊池溪谷 内牧温泉 日ノ尾峠 鍋の平 国民休暇村 高森峠 長谷峠 天神峠 駒返峠 牧ノ戸峠 長者原 坊ガツル グリーンピア 鉾立峠 地藏原 久住高原 展望台	九州自然歩道として整備する。	平 7. 12. 12 告示 令 2. 10. 22 変更
2	仙酔峡日ノ尾峠線	起点－熊本県阿蘇市（仙酔峡） 終点－熊本県阿蘇郡高森町（日ノ尾峠・歩道合流点）	中岳山頂 高岳山頂 高岳避難小屋	仙酔峡及び日ノ尾峠から高岳への登山路として整備する。 檜尾岳と中岳を結ぶ区間を追加し、火口周辺立入規制時にも利用できるよう整備する。	昭 56. 2. 3 告示 令 2. 10. 22 変更
3	根子岳登山線	起点－熊本県阿蘇市（箱石峠） 終点－熊本県阿蘇郡高森町（草河原） 終点－熊本県阿蘇郡高森町（前原）	根子岳山頂	根子岳山頂を望む一般登山路として整備する。	平 7. 12. 12 告示
4	内牧大観峰線	起点－熊本県阿蘇市（内牧・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（大観峰）		内牧と大観峰を結ぶ探勝路とする。	昭 54. 12. 14 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
5	坊中阿蘇山上線	起点－熊本県阿蘇市（坊中） 終点－熊本県阿蘇市（古坊中・歩道合流点）	古坊中三合目	坊中と阿蘇山上を結ぶ登山路とする。	昭 54. 12. 14 告示
6	草千里中岳火口線	起点－熊本県阿蘇市（草千里） 終点－熊本県阿蘇市（中岳旧火口縁）	古坊中 山上広場 砂千里	草千里と中岳旧火口縁を結ぶ探勝路として整備する。古坊中と旧火口縁の区間は、火山防災に配慮したものとする。	昭 56. 2. 3 告示
7	杵島岳登山線	起点－熊本県阿蘇市（草千里北・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（杵島岳麓・歩道合流点） 終点－熊本県阿蘇市（杵島岳中腹・歩道合流点） 終点－熊本県阿蘇市（杵島岳東麓・歩道合流点）	杵島岳山頂 （周回）	杵島岳への登山路として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
8	烏帽子岳登山線	起点－熊本県阿蘇市（草千里北） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（草千里南・歩道合流点）	烏帽子岳山頂	草千里から烏帽子岳を周回する登山路として整備する。	昭 56. 2. 3 告示
9	古坊中中岳山頂線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（山上広場） 起点－熊本県阿蘇市（砂千里・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（中岳山頂・歩道合流点）	南中岳 皿山	阿蘇山上地区より中岳への登山路として整備する。皿山を経由する区間を追加し、火口周辺立入規制時の迂回路としても整備する。	昭 56. 2. 3 告示
10	涌蓋山登山線	起点－熊本県阿蘇郡小国町及び大分県玖珠郡九重町（峠ノ湯・国立公園境界） 終点－大分県玖珠郡九重町（ヒゼン湯）	涌蓋山	峠ノ湯と涌蓋山を結ぶ登山路とする。涌蓋山には小規模な展望休憩のための園地を付帯させる。	昭 56. 12. 14 告示
11	高森南阿蘇山上線	起点－熊本県阿蘇郡高森町（南阿蘇集団施設地区） 起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（倶利伽羅ルート第一駐車場） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（砂千里・歩道合流点）	丸山 砂千里 倶利伽羅大滝	南阿蘇集団施設地区及び南阿蘇から阿蘇中岳への登山路として整備する。	昭 54. 12. 14 告示 令元. 8. 30 変更
14	中松地藏峠線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（久石・歩道分岐点） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（重水・歩道合流点）		中松と南外輪山を結ぶハイキングコースとする。	平 4. 8. 26 告示
15	栃ノ木草千里線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（栃ノ木） 終点－熊本県阿蘇市（草千里）	湯の谷	栃ノ木温泉と草千里ヶ浜を結ぶハイキングコースとする。	昭 54. 12. 14 告示
16	下田草千里線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（下田） 終点－熊本県阿蘇市（草千里）	地獄・垂玉	私鉄下田駅と草千里ヶ浜を結ぶハイキングコースとする。	昭 54. 12. 14 告示
17	立野駒返峠線	起点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（立野） 終点－熊本県阿蘇郡南阿蘇村（地藏峠・歩道合流点）		立野と南外輪山を結ぶハイキングコースとする。	平 4. 8. 26 告示
19	内山鶴見岳線	起点－大分県別府市（内山・国立公園境界） 終点－大分県別府市（鶴見岳北西・歩道合流点）		鶴見岳北側から由布鶴見縦走線道路（歩道）への到達路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
20	猪ノ瀬戸峠線	起点－大分県別府市（猪ノ瀬戸） 終点－大分県別府市（猪ノ瀬戸峠・歩道合流点）		猪ノ瀬戸から由布鶴見縦走線道路（歩道）への到達路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
21	由布鶴見縦走線	起点－大分県別府市（鳥居） 終点－大分県別府市（由布岳南登山口） 終点－大分県別府市（由布岳南中腹・歩道合流点） 終点－大分県別府市（鶴見岳北西・歩道合流点）	鶴見岳 猪ノ瀬戸峠 由布岳 （迂回路 2 路線）	由布、鶴見両岳を縦走する登山路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
22	志高湖周回線	起点－大分県別府市（志高湖） 終点－大分県別府市（志高湖）	神楽女湖	志高湖周辺の自然探勝路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
23	黒岳白水坊ガツル線	起点－大分県由布市（男池・歩道分岐点） 終点－大分県竹田市（段原・歩道合流点）	黒岳山麓 白水 黒岳 風穴 米窪	大船山山頂一帯のミヤマキリシマ群落、米窪、黒岳の天然林等の自然探勝及び大船山、黒岳を縦走する登山路として整備する。	平 7. 12. 12 告示 令 2. 10. 22 変更
24	由布岳西登山線	起点－大分県由布市（岳本・国立公園境界） 終点－大分県由布市（合野越・歩道合流点）	居守山	湯布院町側から由布鶴見縦走線道路（歩道）への到達路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
25	大戸越線	起点－大分県竹田市（ソババツケ・歩道分岐点） 終点－大分県竹田市（坊ガツル東方・歩道合流点）	大戸越	岳麓寺男池線道路（歩道）から大戸越を経て坊ガツルを結ぶ歩道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示 令 2. 10. 22 変更
26	大船山平治岳線	起点－大分県竹田市（登山バス終点） 起点－大分県竹田市（岳麓寺・国立公園境界） 起点－大分県竹田市（伽藍台） 起点－大分県竹田市（坊ガツル・歩道合流点） 終点－大分県竹田市（大船山山頂） 終点－大分県竹田市（平治岳山頂）	大船山 大戸越 柳ヶ水 岡藩主中川家墓所 段原・歩道合流点	大船山山頂へ至る路線として整備する。 また、大船山から平治岳へ至るミヤマキリシマ、高山性植物の観察路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示 令 2. 10. 22 変更
29	岳麓寺男池線	起点－大分県竹田市（柳ヶ水・歩道分岐点） 終点－大分県由布市（男池）	風穴 隠し水	岳麓寺方面から風穴を経由し、男池に至る自然探勝のための歩道として整備する。	昭 56. 12. 14 告示 令 2. 10. 22 変更
32	赤川扇ヶ鼻線	起点－大分県竹田市（赤川・歩道分岐点） 終点－大分県竹田市（字見台上・一般自動車道合流点） 終点－大分県竹田市（扇ヶ鼻・歩道合流点）		赤川から牧ノ戸峠法華院線道路（歩道）への到達路として、また扇ヶ鼻周辺の高山植物の観察路として整備する。	昭 61. 9. 10 告示
33	赤川久住山線	起点－大分県竹田市（赤川） 終点－大分県竹田市（久住山山頂・歩道合流点）		赤川から久住山への登山路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
34	久住山南登山線	起点－大分県竹田市（久住南登山口） 終点－大分県竹田市（東千里ヶ浜・歩道合流点）		久住山南登山口（畜産試験場側）から久住山への登山路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示
35	長者原法華院線	起点－大分県玖珠郡九重町（長者原集団施設地区） 起点－大分県玖珠郡九重町（大曲） 終点－大分県竹田市（北千里ヶ浜・歩道合流点） 終点－大分県竹田市及び玖珠郡九重町（三俣山山頂）	諏蛾守越	長者原集団施設地区から諏蛾守越経由で法華院へ至る歩道として整備する。 また、諏蛾守越から分岐して、三俣山山頂に至る路線として整備する。	昭 56. 12. 14 告示 令 2. 10. 22 変更 令 7. 2. 28 変更
36	吉部坊ガツル線	起点－大分県玖珠郡九重町（吉部・国立公園境界） 終点－大分県竹田市（坊ガツル北方・歩道合流点）	暮雨溪谷	九重山群北側から鳴子川沿いに坊ガツルへ至る優れた自然林の探勝路として整備する。	昭 56. 12. 14 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
37	牧ノ戸峠法華院線	起点－大分県玖珠郡九重町（牧ノ戸峠・歩道分岐点） 終点－大分県竹田市（久住山山頂） 終点－大分県竹田市（中岳山頂） 終点－大分県竹田市（稲星山山頂） 終点－大分県竹田市（法華院・歩道合流点）	西千里ヶ浜 久住分かれ 久住山 東千里ヶ浜 中岳 北千里ヶ浜	牧ノ戸峠から久住山・中岳に登頂し、北千里ヶ浜を経由して法華院へ至る歩道として整備する。 山頂付近は、道迷いを防止するための整備をする。	昭 56. 12. 14 告示 令 2 . 10. 22 変更
39	黒岩山泉水山線	起点－大分県玖珠郡九重町（長者原集団施設地区） 終点－大分県玖珠郡九重町（牧ノ戸峠・歩道合流点）	黒岩山 泉水山	長者原集団施設地区から泉水山、黒岩山を経て牧ノ戸峠へ至る登山路として整備する。	平 7 . 12. 12 告示
40	獵師山一目山線	起点－大分県玖珠郡九重町（牧ノ戸峠・歩道分岐点） 終点－大分県玖珠郡九重町（涌蓋山南麓・歩道合流点）	獵師山 一目山	牧ノ戸峠から獵師山、一目山を経て涌蓋山南麓へ至る縦走路として整備する。	平 7 . 12. 12 告示
41	長者原指山線	起点－大分県玖珠郡九重町（長者原法華院線道路・歩道合流点） 起点－大分県玖珠郡九重町（九州自然歩道・歩道分岐点） 終点－大分県玖珠郡九重町（指山山頂）		長者原集団施設地区から指山山頂までの歩道として整備する。	令 2 . 10. 22 告示
42	鞍岳登山線	起点－熊本県菊池市（鞍岳山頂第一駐車場） 終点－熊本県菊池市（ツームシ山山頂）	鞍岳	鞍岳山頂第一駐車場から鞍岳を経てツームシ山山頂までの歩道として整備する。	令 7 . 2 . 28 告示
43	瀬の本扇ヶ鼻線	起点－大分県玖珠郡九重町（瀬の本） 終点－大分県玖珠郡九重町（扇ヶ鼻・歩道分岐点）	岩井川岳	瀬の本から岩井川岳を経由し、扇ヶ鼻へ至る登山道等として整備する。	令 7 . 2 . 28 告示

(エ) 運輸施設

運輸施設を次のとおりとする。

(表 20：運輸施設表)

番号	路線名	種類	位置又は区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
3	鶴見岳線	索道運送施設	起点－大分県別府市 (鶴見岳南麓) 終点－大分県別府市 (鶴見岳山頂)		高山植物の観察及び周辺一帯の展望のための施設として機能させる。	昭 56. 12. 14 告示
4	久住山南麓線	一般自動車道	起点－大分県竹田市 (久住高原集団施設地区) 終点－大分県竹田市 (瀬の本北)	赤川	九重山群南麓の利用拠点である久住高原と瀬の本北を結ぶ有料自動車道として整備する。	平 7. 12. 12 告示
5	獵師山線	索道運送施設	起点－大分県玖珠郡九重町 (八丁原) 終点－大分県玖珠郡九重町 (獵師山北麓)		獵師山山頂一帯に自生するミヤマキリシマやシヤクナゲ群落の鑑賞及び九重山群と阿蘇方面の展望のための施設等として整備する。	平 7. 12. 12 告示

(2) 生態系維持回復計画

生態系維持回復計画を次のとおりとする。

(表 21：生態系維持回復計画表)

番号	名称	位置	事業の実施方針	告示年月日
1	くじゅう生態系維持回復計画	阿蘇くじゅう国立公園 くじゅう地域全域	くじゅう地域においては、野焼きの継続が困難となったこと、在来林の遷移が進んで希少植物群落の被圧が進行していること、外来植物の侵入・拡散が確認されていること、及びニホンジカの分布域拡大に伴って希少植物の直接的な食害が確認されていることから、くじゅう地域の火山性植生や湿地性植生が脅かされており、本事業では、くじゅう地域の生態系の維持又は回復を図るため、くじゅう地域の景観や生態系の劣化要因の低減を図り、ニホンジカの管理（防鹿柵や捕獲手法の検討）を進め、各地区で保全活動を進める団体の取組を支援するとともに、効果検証のためのモニタリングを実施する。	令 2. 10. 22 告示

(3) 自然体験活動計画

自然体験活動計画を次のとおりとする。

ア 本計画の対象地域

阿蘇くじゅう国立公園全域

イ 自然体験活動で対象とする当該公園の自然、人文文化の特徴

阿蘇くじゅう国立公園の阿蘇地域は、世界最大級のカルデラ地形と、活発な活動を続ける火口を間近に望める中岳に代表される火山が生み出す雄大な自然景観を有している。加えて、野焼き、採草といった人々の営みにより長い間維持されてきた広大な草原及び褐毛和種（あか牛）の放牧風景等も大きな魅力となっている。

くじゅう地域は、九州本土最高峰の中岳（1,791m）をはじめとしたくじゅう連山、由布岳・鶴見岳が連なる火山景観が特徴である。また、その火山の裾野には久住高原や飯田高原、塚原高原などの雄大な草原が広がっているとともに、その周囲には豊富な湧水や雨水により形成される多数の湿原が発達している。

また、多くの温泉地や湧水・水源、農耕祭事や神社仏閣などの文化、ブランド牛や高原野菜などの食も当該公園の特徴として挙げられる。

ウ 質の高い自然体験活動の促進に係る方針

当該公園では、次の方針により質の高い自然体験活動を促進する。

(ア) 当該公園の特徴や価値を踏まえた望ましい利用の提供

火山や草原、温泉地、湧水・水源等において、優れた自然景観や人文景観を活用し、その場所でしか体験できない自然体験活動を開発・提供する。自然体験活動を実施するにあたっては、優れた自然景観を損なうことがないように、風致景観保全に十分配慮して実施するものとする。

また、国内外への積極的な情報発信に努める。

(イ) 利用環境の向上

草原・湿原景観や登山道の維持等につながる自然体験活動を促進するとともに、これらの維持等のための地域活動が継続できるよう支援する。また、キャッシュレス化、多言語化、通信環境の向上、ユニバーサルデザイン化、ビジターセンターにおけるツアーデスク設置等を推進し、利用環境の向上を図る。

(ウ) 利用に関するルールやマナー

阿蘇地域では、中岳火口周辺の立入規制、中岳火口周辺の撮影制限、牧野への立入制限、米塚への立入制限、草千里ヶ浜での火気の制限等について、利用者への周知を図る

くじゅう地域では、野営場以外での野営禁止、植生保護等のための立入り規制、車道・駐車場以外の場所への車両の乗入れ防止、駐車場の長期占有等の排除、火災防止対策、登山届提出の励行等について、利用者への周知を図る。

(エ) 人材の確保及び育成

自然体験活動を担う事業者等を対象とした定期的な研修を実施する等により、公園利

用者へ提供する自然体験活動について高い質を維持する。

(オ) 利用者の人数の管理、利用者の費用負担の仕組みの導入

平日・夜間での自然体験活動の促進等により、利用分散を図る。また、地域の環境保全活動に還元される協力金や負担金の導入を推進する。

エ 地域ごとに促進する自然体験活動

地域ごとに促進する自然体験活動は次のとおり。

(ア) 阿蘇地域

登山・トレッキング、サイクリング、乗馬、パラグライダー、農業体験、伝統文化体験その他カルデラ地形、火山、草原の魅力を活かした自然体験活動

(イ) くじゅう地域

登山・トレッキング、サイクリング、乗馬、パラグライダー、農業体験、伝統文化体験その他火山、草原、湿原の魅力を活かした自然体験活動

4 参考事項

(1) 過去の経緯

昭和 9 年 12 月 4 日	阿蘇及び九重地域が阿蘇国立公園に指定
昭和 13 年 5 月 13 日	特別地域の指定
昭和 28 年 9 月 1 日	公園区域の拡張（鶴見岳周辺道路沿線）及び特別地域の変更
昭和 31 年 5 月 1 日	公園区域の削除（高崎山地区を瀬戸内海国立公園へ編入）
昭和 40 年 3 月 25 日	公園区域の拡張及び削除（横断道路沿線）及び特別地域（含む特別保護地区）の変更
昭和 54 年 12 月 14 日	公園区域及び公園計画の変更（阿蘇地域の再検討）
昭和 56 年 2 月 3 日	利用計画の一部変更（阿蘇山頂地区）
昭和 56 年 3 月 25 日	利用計画の一部変更（阿蘇山頂地区）
昭和 56 年 12 月 14 日	公園区域及び公園計画の変更（九重・由布鶴見地域の再検討）
昭和 61 年 9 月 10 日	公園区域及び公園計画の一部変更（第 1 次点検）及び公園の名称変更（阿蘇くじゅう）
平成 2 年 12 月 1 日	公園計画の一部変更（小田の池、山下池を乗入れ規制地域に指定）
平成 4 年 8 月 26 日	公園計画の一部変更（九州自然歩道の路線変更）
平成 7 年 12 月 12 日	公園区域及び公園計画の一部変更（第 2 次点検）
平成 16 年 4 月 21 日	公園区域及び公園計画の一部変更（くじゅう地域第 3 次点検、変更なし）
平成 17 年 7 月 12 日	公園計画の一部変更（自然再生施設の追加）
平成 21 年 10 月 28 日	公園計画の一部変更（阿蘇地域第 3 次点検）
平成 24 年 3 月 27 日	公園計画の一部変更（園地の追加）
令和 元年 8 月 30 日	公園計画の一部変更（園地の追加、歩道の区間変更）
令和 2 年 10 月 22 日	公園計画の一部変更（第 5 次点検）
令和 5 年 3 月 15 日	公園計画の一部変更（自然体験活動計画の追加）
令和 7 年 2 月 28 日	公園区域及び公園計画の一部変更（第 6 次点検）

阿蘇くじゅう国立公園

公園区域及び公園計画変更書

[第6次点検]

令和7年2月28日

環 境 省

目 次

第1	公園区域の変更	1
1	変更理由	1
2	指定理由の変更内容	2
3	地域の概要の変更内容	3
4	変更する公園区域	8
第2	公園計画の変更	23
1	変更理由	23
2	基本方針の変更内容	24
3	規制計画の変更内容	28
(1)	保護規制計画等	28
ア	特別地域	28
(ア)	第1種特別地域	32
(イ)	第2種特別地域	34
(ウ)	第3種特別地域	36
イ	関連事項	40
(ア)	普通地域	40
ウ	面積内訳	44
4	事業計画の変更内容	67
(1)	施設計画	67
ア	保護施設計画	67
イ	利用施設計画	68
(ア)	単独施設	68
(イ)	道路	69
a	車道	69
b	歩道	69
(ウ)	運輸施設	71
5	参考事項	81

第1 公園区域の変更

1 変更理由

阿蘇くじゅう国立公園は、九州のほぼ中央部に位置し、熊本県の阿蘇地域と大分県のくじゅう地域に大別される。阿蘇地域は、阿蘇五岳を中心に構成される中央火口丘、それを取り囲む外輪山によって構成されており、世界最大級の複式火山景観と草原美に恵まれている。くじゅう地域は、由布鶴見地域、くじゅう山群及びその山麓に広がる広大な草原並びに草原を横断する別府阿蘇線道路（やまなみハイウェイ）沿線地域から構成されている。

本公園は、昭和9年に阿蘇国立公園として指定され、昭和28年に由布鶴見地域が、昭和40年にはやまなみハイウェイ沿線が拡張されている。その後、昭和54年に阿蘇地域、昭和56年にくじゅう地域の全般的な見直し（再検討）を行い、昭和61年の全域を対象にした第1次点検において、名称を阿蘇くじゅう国立公園に改めた。その後、平成7年（全域を対象）、平成16年（くじゅう地域を対象）、平成21年（阿蘇地域を対象）、令和2年（全域を対象）にそれぞれ点検を行っている。また、令和5年に自然体験活動計画を追加する一部変更を行った。

今回は、令和4年に採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」、令和4年に公表された「国立・国定公園総点検事業フォローアップ結果」、令和3年に策定された「阿蘇草原再生全体構想〈第3期〉」及び平成28年から推進されている「国立公園満喫プロジェクト」等の社会状況等の変化を踏まえて、国立公園全域を対象として点検を行うものである。

特に、阿蘇地域については、現在の国立公園区域と同等の資質を有しており、かつ一体的に広がっている草原及び森林の一部を、新たに国立公園区域に指定することとする。

2 指定理由の変更内容

指定理由を、次のとおり変更する。

(表 1：指定理由変更表)

変更後		変更前
1 指定理由	1 指定理由	
(2) 規模	(2) 規模	
<p>本国立公園の区域面積は <u>76,289ha</u> である。そのうち阿蘇地域は <u>57,640ha</u>、くじゅう地域は 18,649ha である。</p>		<p>本国立公園の区域面積は <u>73,017ha</u> である。そのうち阿蘇地域は <u>54,368ha</u>、くじゅう地域は 18,649ha である。</p>

3 地域の概要の変更内容

地域の概要を、次のとおり変更する。

(表2：地域概要変更表)

変更後		変更前																		
2 地域の概要 (1) 阿蘇地域		2 地域の概要 (1) 阿蘇地域																		
ウ 社会経済的背景 (ア) 土地所有別	中央火口丘の中腹以上は国有地、山麓は公有地が多い。外輪山内壁の稜線に近い部分は一部国有地、大部分は公有地であり、中腹部分は公有地が多いが、一部には私有地が優占している地区もある。山麓は大部分が私有地である。北外輪山の外側は一部国有地で、大部分が公有地と私有地である。国有地、公有地、私有地の割合はほぼ1：4：5となっているが、公有地の大半は地元部落の入会権を伴っており、その権利関係は複雑である。 国有地 <u>4,820ha</u> 、公有地 <u>27,928ha</u> 、私有地 <u>24,892ha</u>	ウ 社会経済的背景 (ア) 土地所有別 中央火口丘の中腹以上は国有地、山麓は公有地が多い。外輪山内壁の稜線に近い部分は一部国有地、大部分は公有地であり、中腹部分は公有地が多いが、一部には私有地が優占している地区もある。山麓は大部分が私有地である。北外輪山の外側は一部国有地で、大部分が公有地と私有地である。国有地、公有地、私有地の割合はほぼ1：4：5となっているが、公有地の大半は地元部落の入会権を伴っており、その権利関係は複雑である。 国有地 <u>4,939ha</u> 、公有地 <u>23,402ha</u> 、私有地 <u>26,027ha</u>																		
(イ) 人口及び産業	阿蘇地域に関する各市町村の世帯数、人口は次のとおりである。 <table><tr><td>市町村</td><td>世帯数 (世帯)</td><td>人口 (人)</td></tr><tr><td>菊池市</td><td><u>18,176</u></td><td><u>45,184</u></td></tr><tr><td>阿蘇市</td><td><u>11,706</u></td><td><u>24,633</u></td></tr></table> (令和5年10月1日現在)	市町村	世帯数 (世帯)	人口 (人)	菊池市	<u>18,176</u>	<u>45,184</u>	阿蘇市	<u>11,706</u>	<u>24,633</u>	(イ) 人口及び産業 阿蘇地域に関する各市町村の世帯数、人口は次のとおりである。 <table><tr><td>市町村</td><td>世帯数 (世帯)</td><td>人口 (人)</td></tr><tr><td>菊池市</td><td><u>19,415</u></td><td><u>48,624</u></td></tr><tr><td>阿蘇市</td><td><u>10,288</u></td><td><u>25,417</u></td></tr></table> (令和元年10月1日現在)	市町村	世帯数 (世帯)	人口 (人)	菊池市	<u>19,415</u>	<u>48,624</u>	阿蘇市	<u>10,288</u>	<u>25,417</u>
市町村	世帯数 (世帯)	人口 (人)																		
菊池市	<u>18,176</u>	<u>45,184</u>																		
阿蘇市	<u>11,706</u>	<u>24,633</u>																		
市町村	世帯数 (世帯)	人口 (人)																		
菊池市	<u>19,415</u>	<u>48,624</u>																		
阿蘇市	<u>10,288</u>	<u>25,417</u>																		

変更後					変更前				
(ウ) 権利制限関係 a 保安林	種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日	(ウ) 権利制限関係 a 保安林	種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
	水源かん養	菊池郡大津町	<u>15, 890</u>	<u>35, 967</u>		水源かん養	大津町	<u>13, 849</u>	<u>34, 571</u>
		阿蘇郡南小国町	<u>1, 670</u>	<u>3, 659</u>			南小国町	<u>1, 674</u>	<u>3, 781</u>
		阿蘇郡小国町	<u>2, 924</u>	<u>6, 158</u>			小国町	<u>3, 176</u>	<u>6, 726</u>
		阿蘇郡産山村	<u>537</u>	<u>1, 328</u>			産山村	<u>544</u>	<u>1, 424</u>
		阿蘇郡高森町	<u>2, 480</u>	<u>5, 518</u>			高森町	<u>2, 494</u>	<u>5, 895</u>
		阿蘇郡南阿蘇村	<u>4, 209</u>	<u>9, 592</u>			南阿蘇村	<u>4, 473</u>	<u>10, 320</u>
(ウ) 権利制限関係 a 保安林	種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日	(ウ) 権利制限関係 a 保安林	種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
	水源かん養	熊本県菊池市地内				水源かん養	熊本県菊池市地内		
		熊本県阿蘇市地内					熊本県阿蘇市地内		
		熊本県菊池郡大津町地区内					熊本県菊池郡大津町地区内		
		熊本県阿蘇郡南小国町地内					熊本県阿蘇郡南小国町地内		
		熊本県阿蘇郡小国町地内					熊本県阿蘇郡小国町地内		
		熊本県阿蘇郡産山村地内					熊本県阿蘇郡産山村地内		
		熊本県阿蘇郡高森町地内					熊本県阿蘇郡高森町地内		
		熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内					熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内		
土砂流出 防備	土砂流出防備	熊本県阿蘇市地内			土砂流出防備	土砂流出防備	熊本県阿蘇市地内		
		熊本県阿蘇郡南小国町地内					熊本県阿蘇郡小国町地内		
		熊本県阿蘇郡小国町地内					熊本県阿蘇郡産山村地内		
		熊本県阿蘇郡産山村地内					熊本県阿蘇郡高森町地内		
		熊本県阿蘇郡高森町地内					熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内		
		熊本県阿蘇市地内					熊本県阿蘇市地内		

変更後				変更前			
		熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内				熊本県阿蘇市地内	
土砂崩壊		熊本県阿蘇市地内				熊本県阿蘇郡小国町地内	
防備		熊本県阿蘇郡小国町地内				熊本県阿蘇市地内	
落石防止		熊本県阿蘇市地内				熊本県阿蘇市地内	
保健		熊本県阿蘇市地内				熊本県阿蘇郡産山村地内	
		熊本県阿蘇郡高森町地内				熊本県阿蘇郡高森町地内	
注) 阿蘇地域の保安林の重複面積について、正確な値は不明である。				注) 阿蘇地域の保安林の重複面積について、正確な値は不明である。			
b 鳥獣保護区				b 鳥獣保護区			
名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日	名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
菊池水源	熊本県菊池市地内	1,240	令和元年11月1日	菊池水源	熊本県菊池市地内	1,292	令和元年11月1日
鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内			鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内		
鞍岳	熊本県菊池市地内	223	平成25年11月1日	鞍岳	熊本県菊池市地内	222	平成25年11月1日
鳥獣保護区				鳥獣保護区		(うち特保 90)	
南宮原	熊本県阿蘇市地内	438	平成24年11月1日	南宮原	熊本県阿蘇市地内	410	平成24年11月1日
鳥獣保護区				鳥獣保護区			
的石端辺	熊本県阿蘇市地内	1,371	平成25年11月1日	高塚	熊本県阿蘇市地内	450	平成26年11月1日
鳥獣保護区				鳥獣保護区			
高塚	熊本県阿蘇市地内	445	平成26年11月1日	高岳	熊本県阿蘇市地内	400	令和元年11月1日
鳥獣保護区				鳥獣保護区			
高岳	熊本県阿蘇市地内	556	令和元年11月1日	乙姫	熊本県阿蘇市地内	597	平成30年11月1日
鳥獣保護区							

変更後				変更前			
乙姫 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	361	平成 30 年 11 月 1 日	鳥獣保護区			
斧岳 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	446	平成 30 年 11 月 1 日	斧岳 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	197	平成 30 年 11 月 1 日
小柏 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	606	令和元年 11 月 1 日	小柏 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内	620	令和元年 11 月 1 日
長陽 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内 熊本県阿蘇郡南阿 蘇村地内	1,432	平成 30 年 11 月 1 日	長陽 鳥獣保護区	熊本県阿蘇市地内 熊本県阿蘇郡南阿 蘇村地内	1,423	平成 30 年 11 月 1 日
北向山 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津 町地内 熊本県阿蘇郡南阿 蘇村地内	309 (うち特保 99)	平成 29 年 11 月 1 日	北向山 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津 町地内 熊本県阿蘇郡南阿 蘇村地内	337 (うち特保 102)	平成 29 年 11 月 1 日
瀬田裏 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津 町地内	213	平成 27 年 11 月 1 日	矢護山 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津 町地内	186	平成 24 年 11 月 1 日
矢護山 鳥獣保護区	熊本県菊池郡大津 町地内	174	平成 24 年 11 月 1 日	満願寺 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南小 国町地内	593	平成 30 年 11 月 1 日
満願寺 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南小 国町地内	608	平成 30 年 11 月 1 日	休暇村 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡高森 町地内	480	平成 30 年 11 月 1 日
湯風呂 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南小 国町地内	69	平成 21 年 11 月 1 日	色見 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡高森 町地内	370	平成 30 年 11 月 1 日
休暇村 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡高森 町地内	488	平成 30 年 11 月 1 日	中松 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南阿 蘇村地内	898	平成 29 年 11 月 1 日
				小牧羅漢 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡南阿 蘇村地内	217	平成 30 年 11 月 1 日

変更後				変更前	
色見 鳥獣保護区	熊本県阿蘇郡高森町地内	384	平成 30 年 11 月 1 日	(2) くじゅう地域 ウ 社会経済的背景 (イ) 人口及び産業 くじゅう地域に関する各市町の世帯数、人口は次の通りである。	
	熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	872	平成 29 年 11 月 1 日		
	熊本県阿蘇郡南阿蘇村地内	213	平成 30 年 11 月 1 日		
(2) くじゅう地域 ウ 社会経済的背景 (イ) 人口及び産業 くじゅう地域に関する各市町の世帯数、人口は次の通りである。					
(令和 5 年 10 月 1 日現在)					
市町	世帯数 (世帯)	人口 (人)	市町	世帯数 (世帯)	人口 (人)
別府市	55,461	113,373	別府市	55,647	118,499
竹田市	8,438	18,845	竹田市	8,729	20,434
由布市	13,409	32,287	由布市	13,517	33,050
玖珠郡九重町	3,318	7,952	九重町	3,440	8,895
玖珠郡玖珠町	5,722	13,481	玖珠町	5,767	14,673

4 変更する公園区域

阿蘇くじゅう国立公園の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表3：公園区域(陸域)変更表) 注：【図●】は、「公園区域変更図」の図郭番号を示す。

番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
1 【変更図5 ⑦】	拡張	熊本県菊池市 原の一部	既存の国立公園と連続的に広がる森林であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	847 — 国 — 公 — 私
2 【変更図8 ⑩】	拡張	熊本県阿蘇市 一の宮町坂梨及び波野大字新波野の各一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	58 — 国 — 公 — 私
3 【変更図6 ⑧】	拡張	熊本県菊池郡大津町 瀬田及び古城の各一部 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字立野の一部	阿蘇地域に分布する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域を拡張するもの。	144 — 国 — 公 — 私
4 【変更図2 ③】	拡張	熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	44 — 国 — 公 — 私
5 【変更図2 ④】	拡張	熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	51 — 国 — 公 — 私

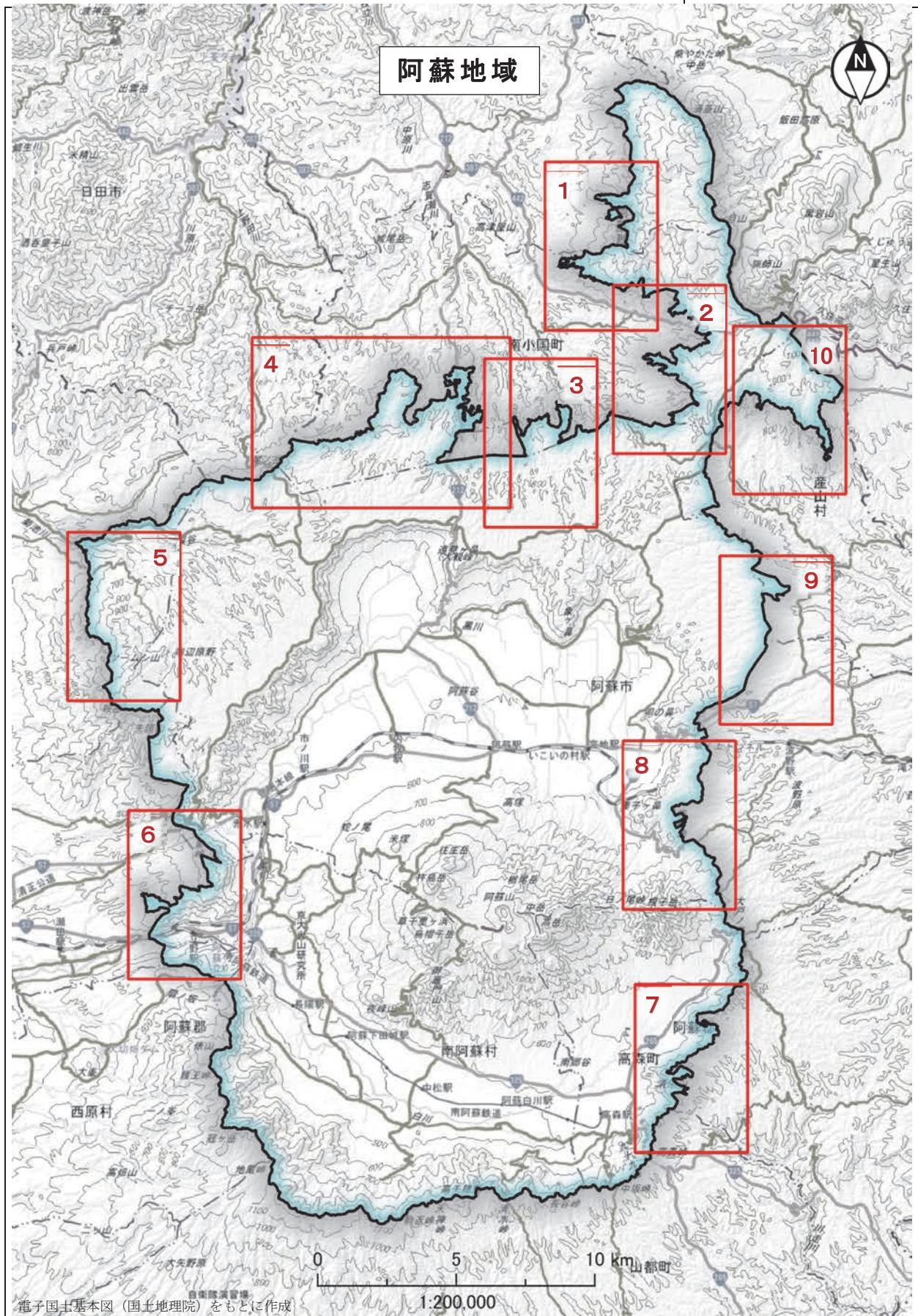
6 【変更図 3 ⑤】	拡張	熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	国 公 私	176 — — —
7 【変更図 4 ⑥】	拡張	熊本県阿蘇郡南小国町 大字赤馬場及び大字中原の各一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するた め、公園区域を拡張するもの。	国 公 私	1,450 — — —
8 【変更図 1 ②】	拡張	熊本県阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部 熊本県阿蘇郡小国町 大字上田の一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	国 公 私	310 — — —
9 【変更図 1 ①】	拡張	熊本県阿蘇郡小国町 大字上田の一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	国 公 私	71 — — —
10 【変更図 9 ⑫】	拡張	熊本県阿蘇郡産山村 大字大利及び大字山鹿の各一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	国 公 私	63 — — —
11 【変更図 10 ⑬】	拡張	熊本県阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するた め、公園区域を拡張するもの。	国 公 私	20 — — —

12 【変更図 10 ⑩】	拡張	熊本県阿蘇郡産山村 大字産山及び大字田尻の各一部	既存の国立公園と連続的に広がる草原であり、風景の保護を図るため、公園区域を拡張するもの。	35 — — — 国 公 私
13 【変更図 7 ⑨】	拡張	熊本県阿蘇郡高森町 大字矢津田の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域を拡張するもの。	38 — — — 国 公 私
14 【変更図 7 ⑩】	拡張	熊本県阿蘇郡高森町 大字矢津田の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域を拡張するもの。	24 — — — 国 公 私

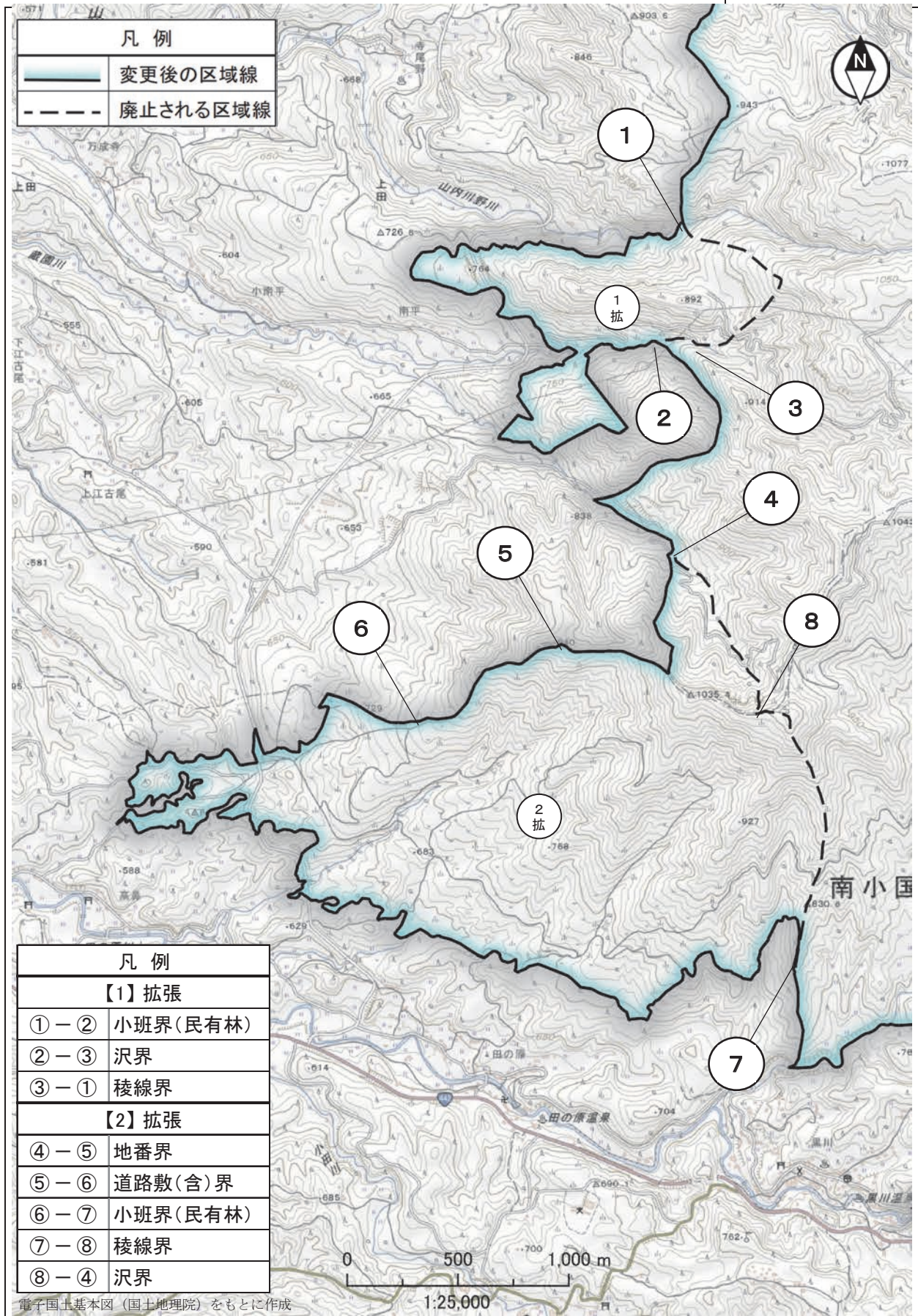
変更部分面積計	3,331 国 公 私
変更前面積	72,958 (73,017) 国 公 私
変更後面積	76,289 国 公 私

注) 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算後の数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数値である。

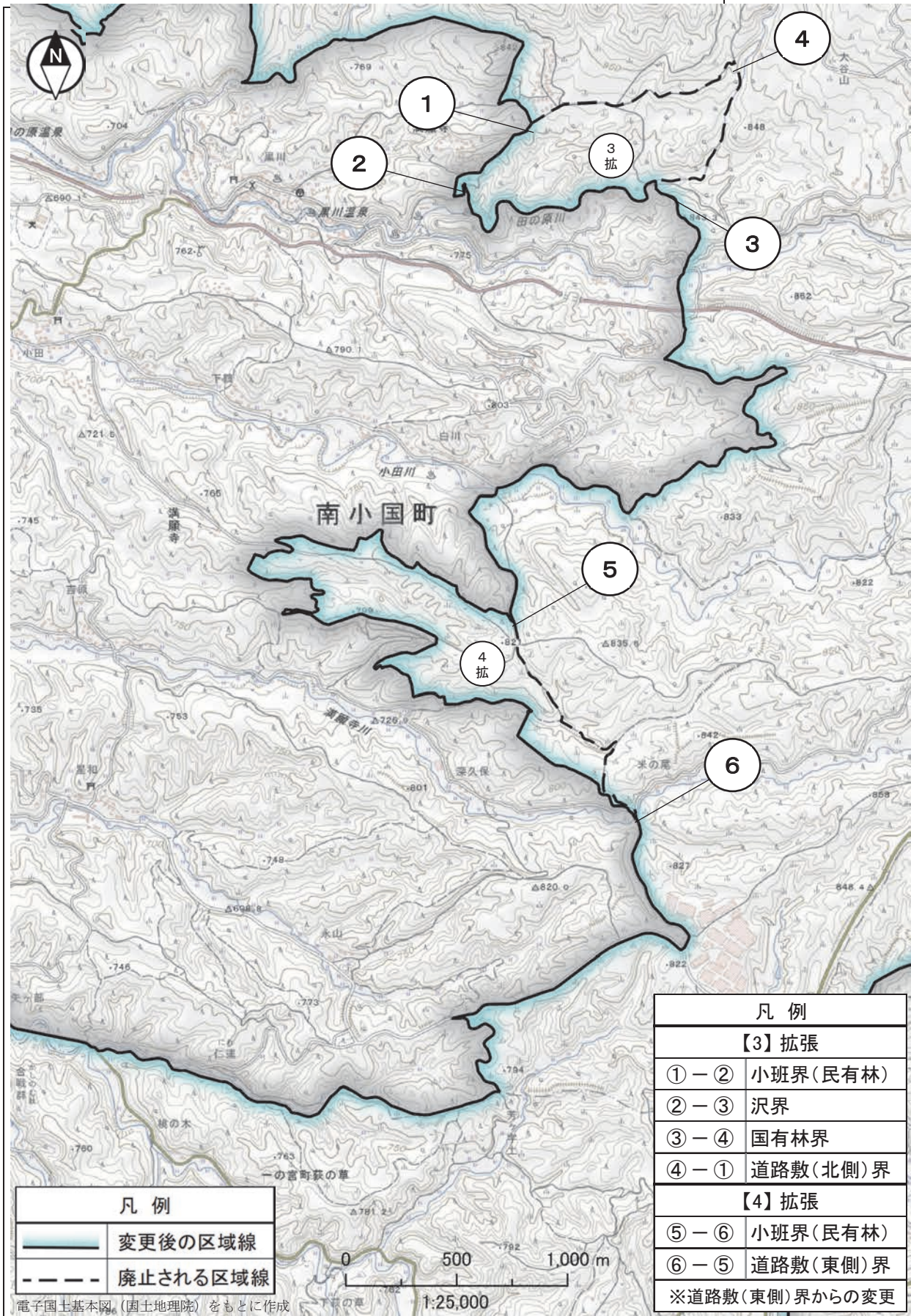
公園区域変更位置図



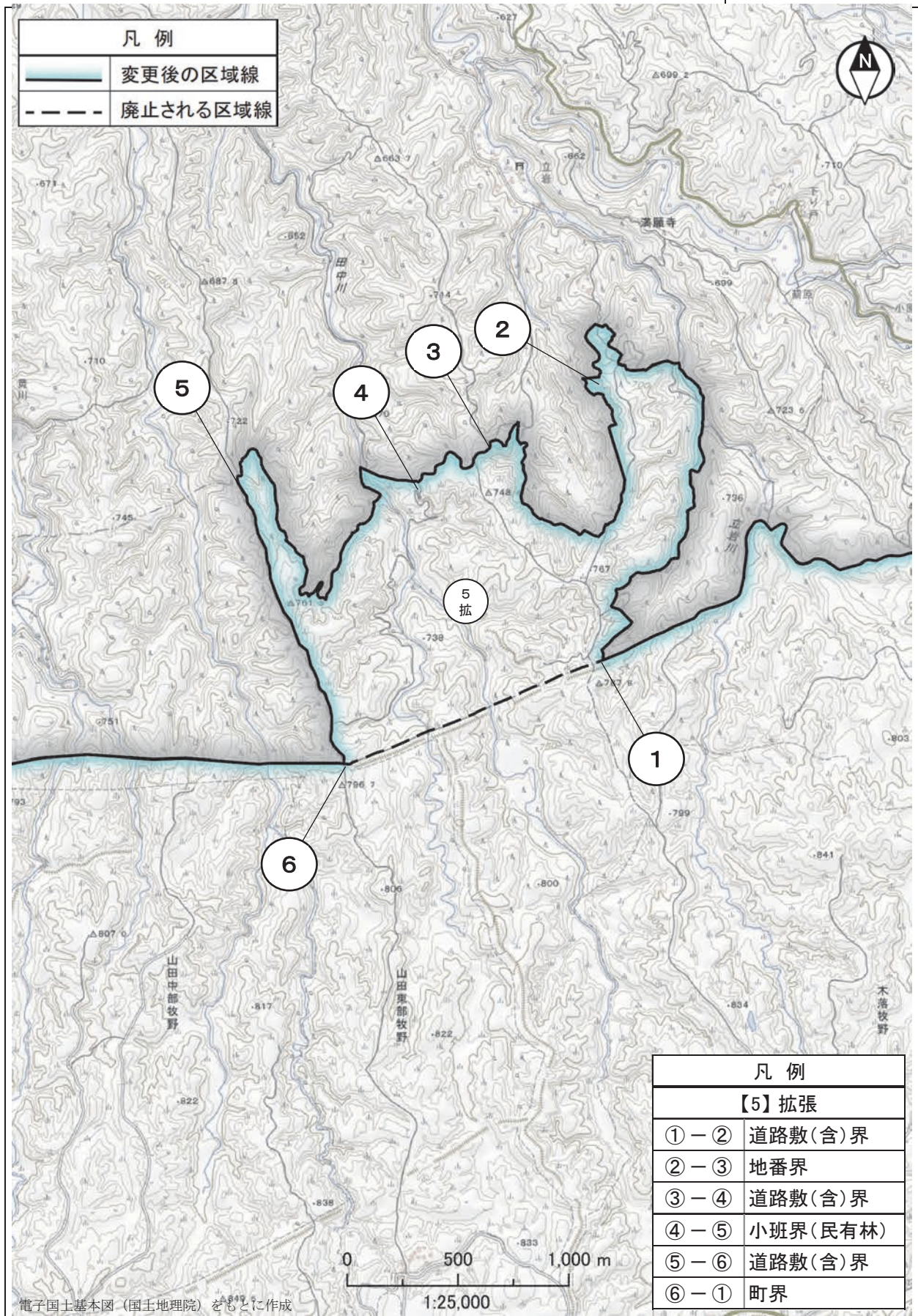
公園区域変更図1

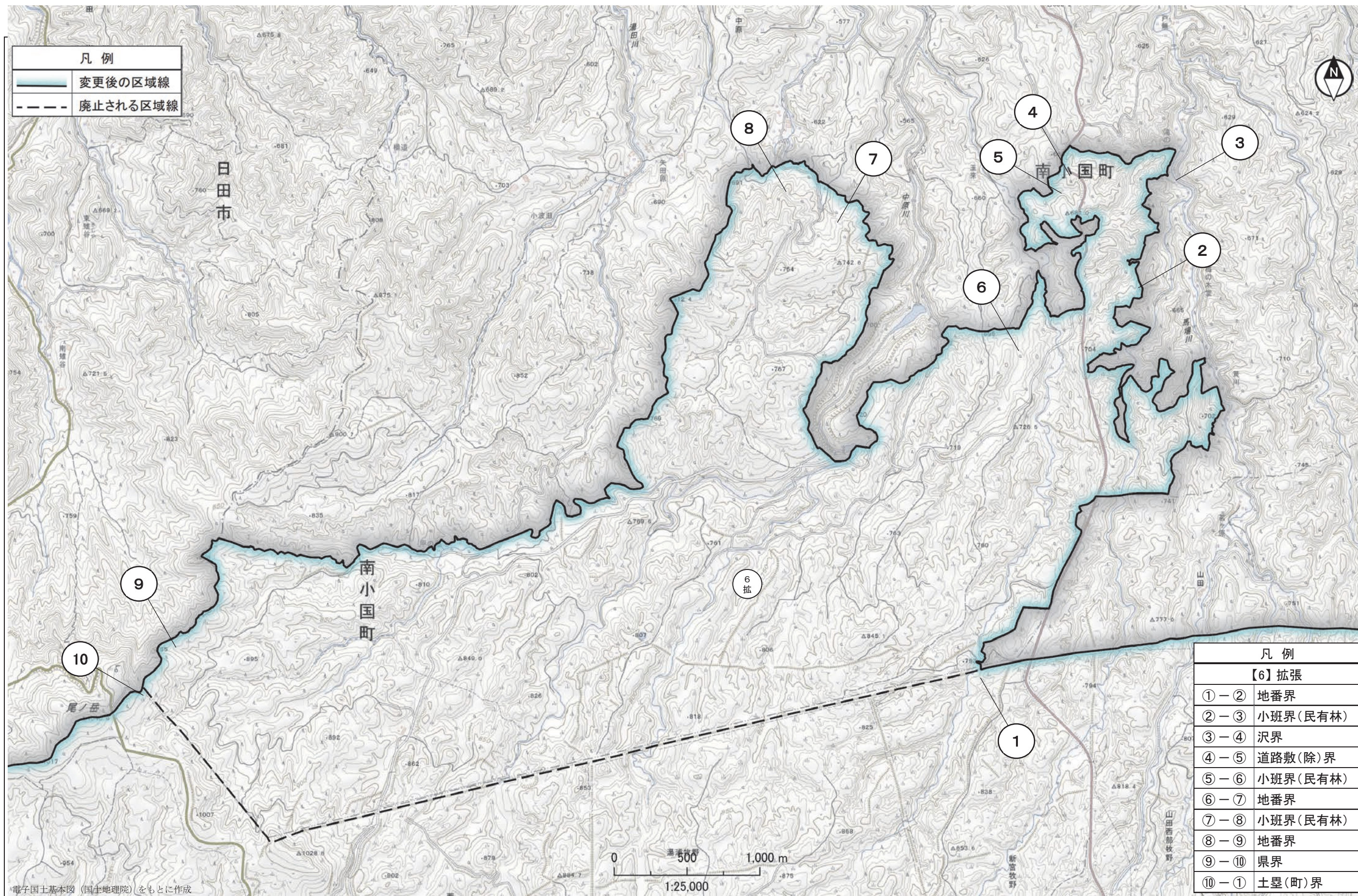


公園区域変更図2

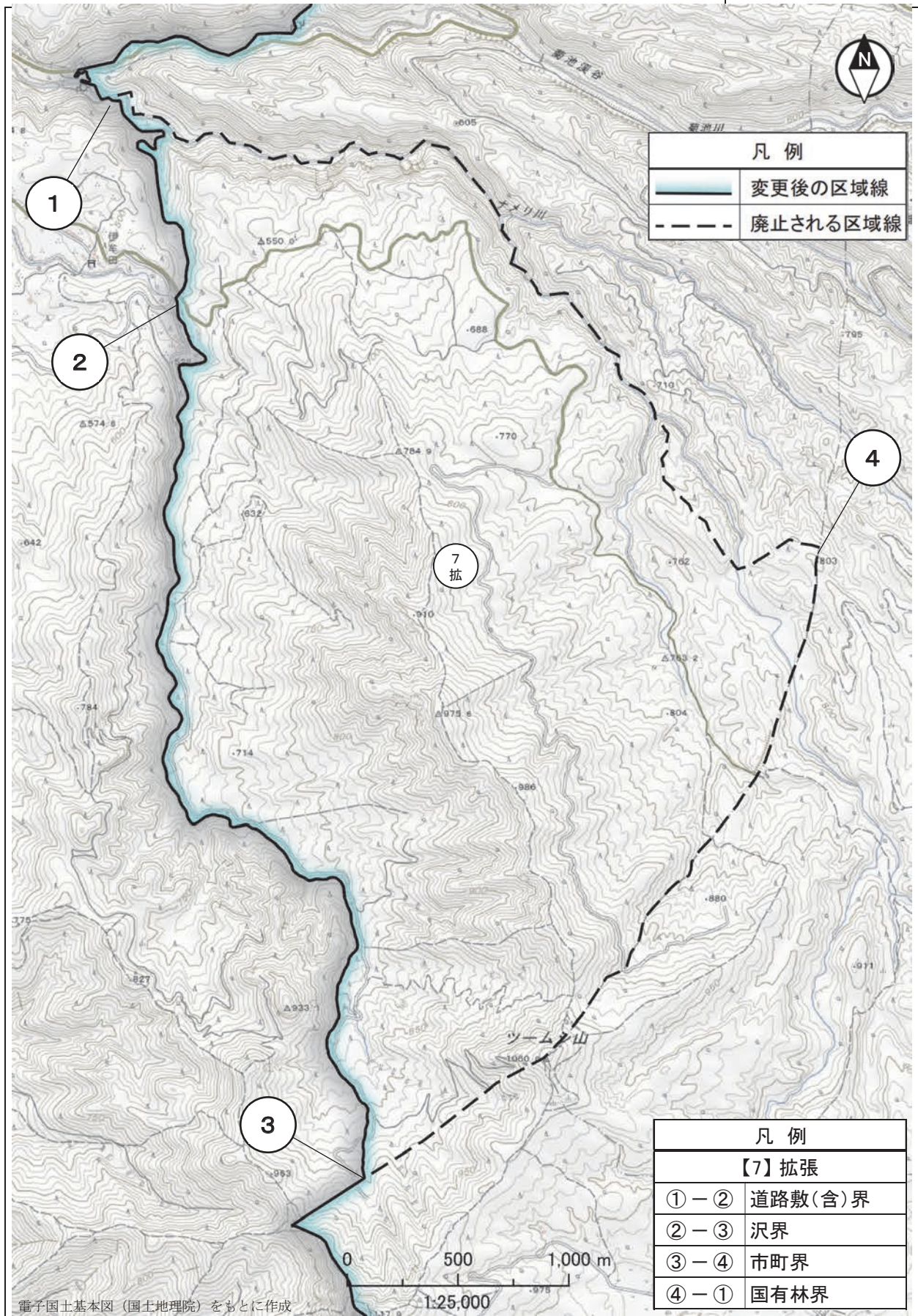


公園区域変更図3

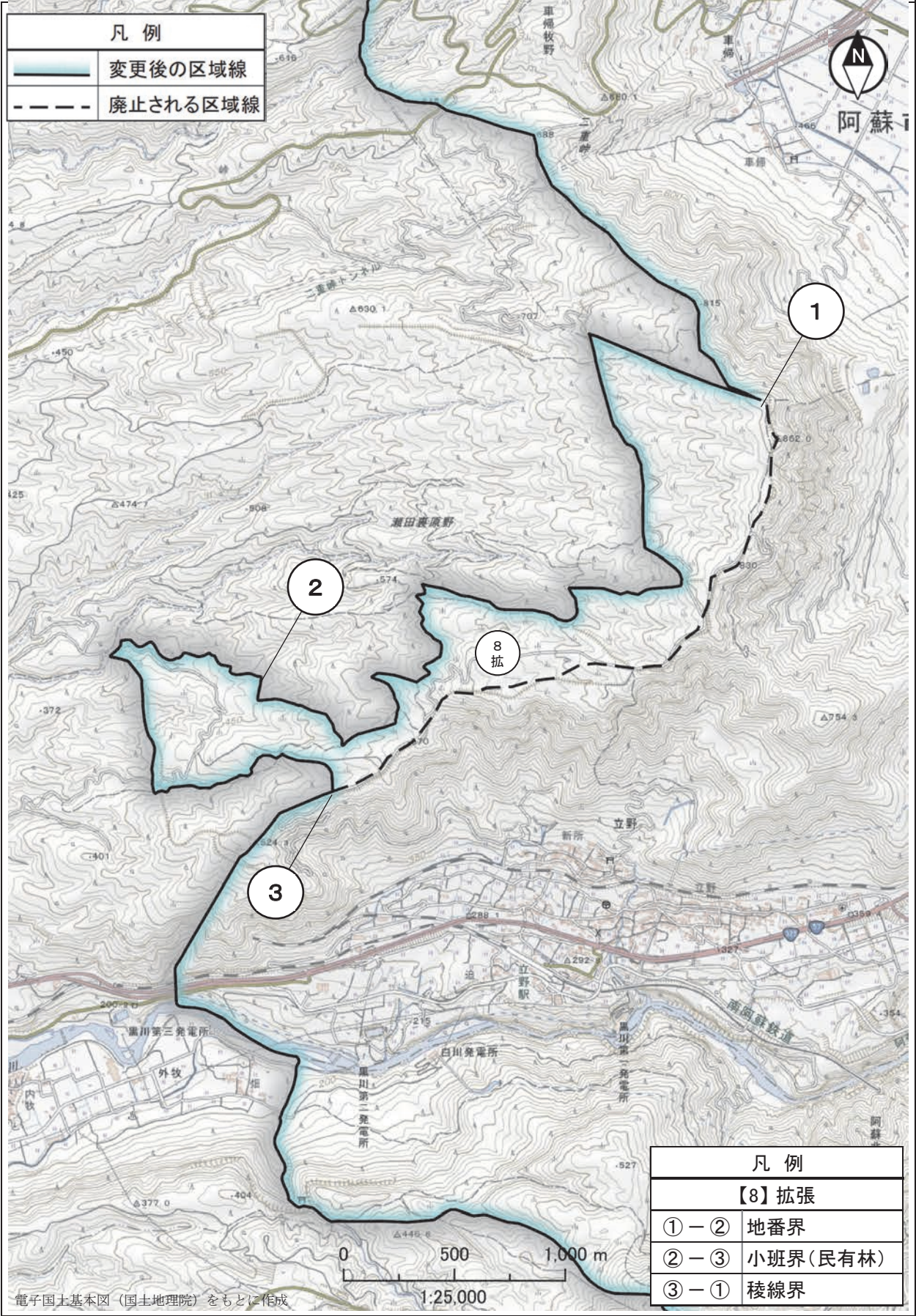




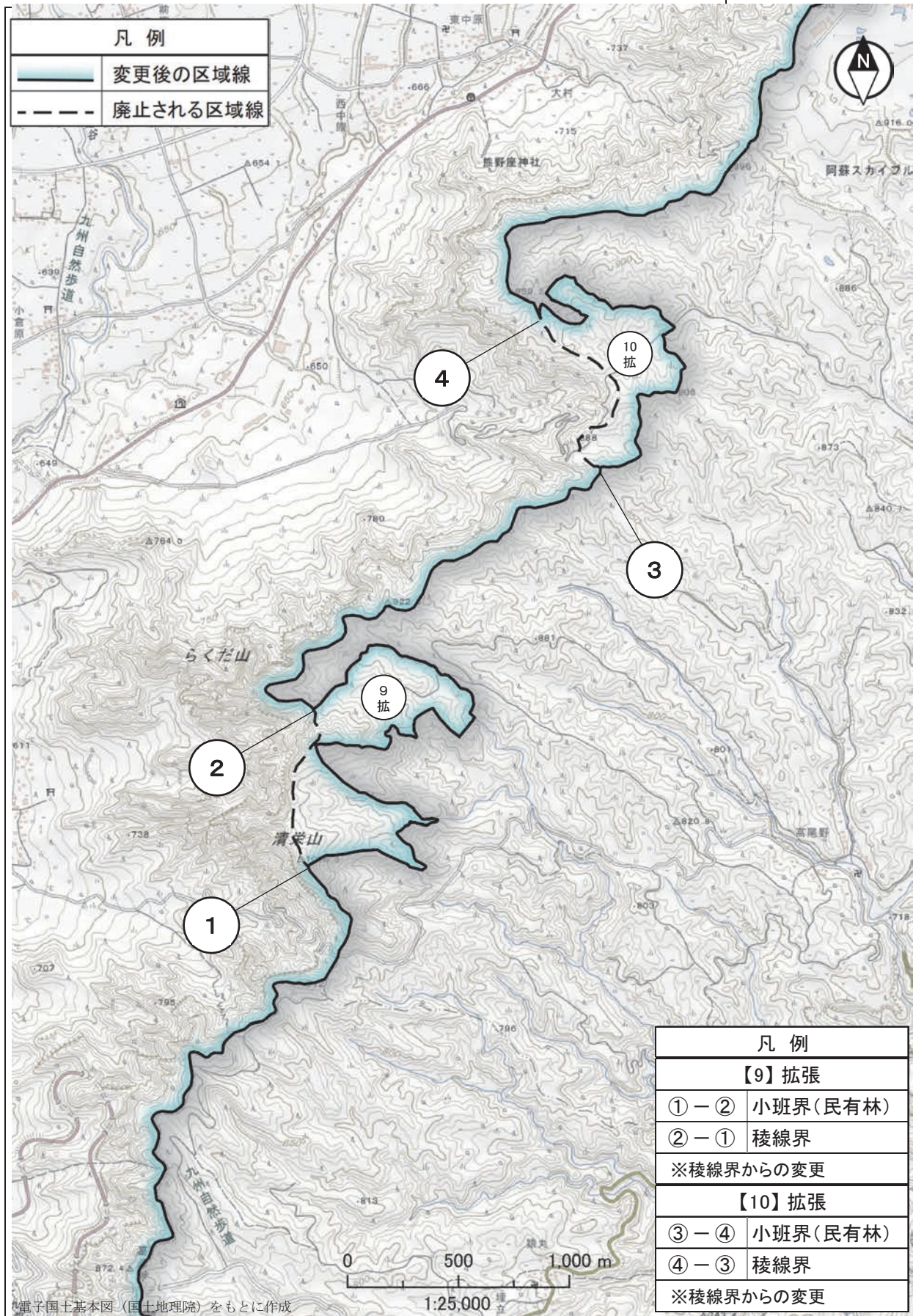
公園区域変更図5



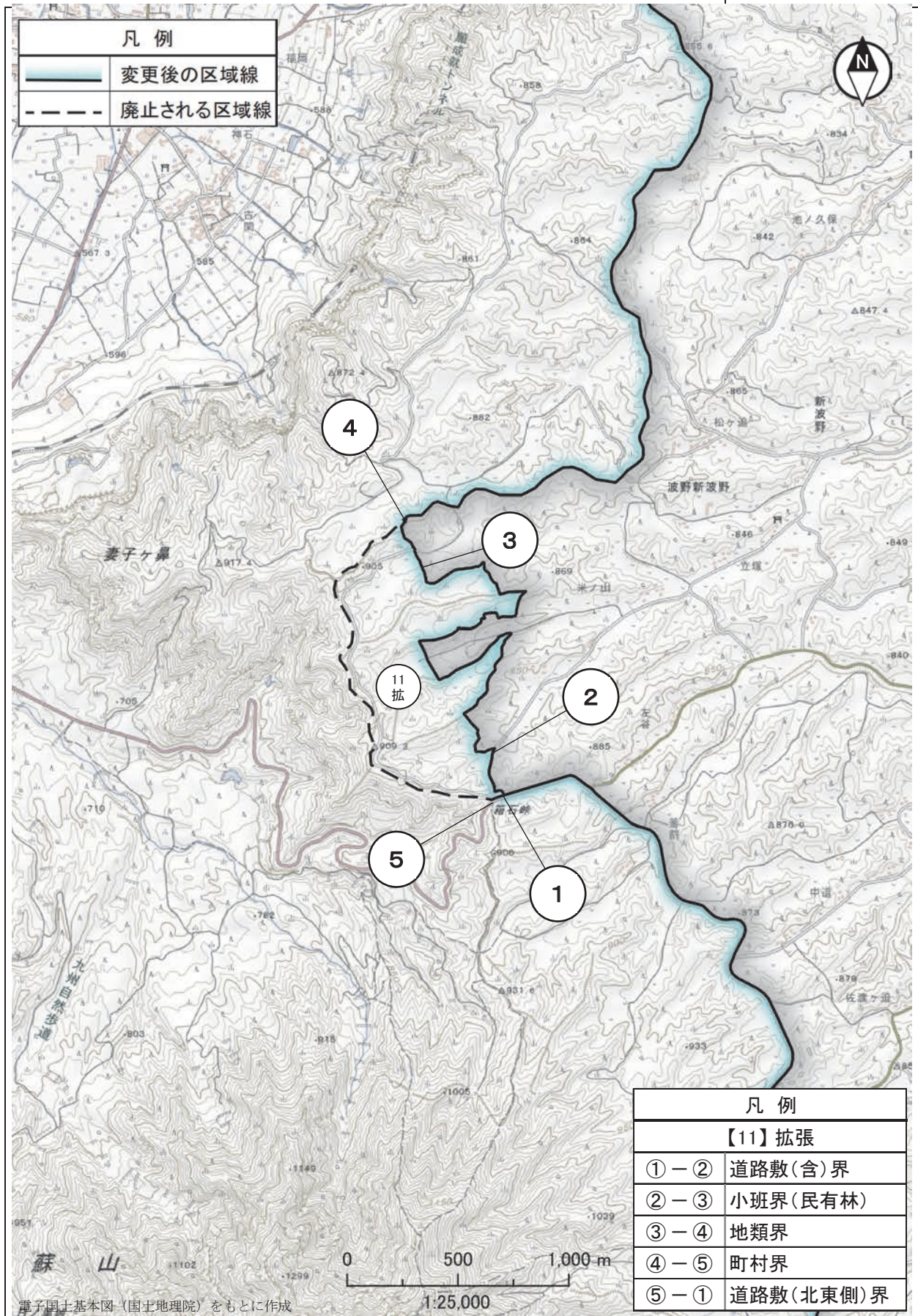
公園区域変更図6



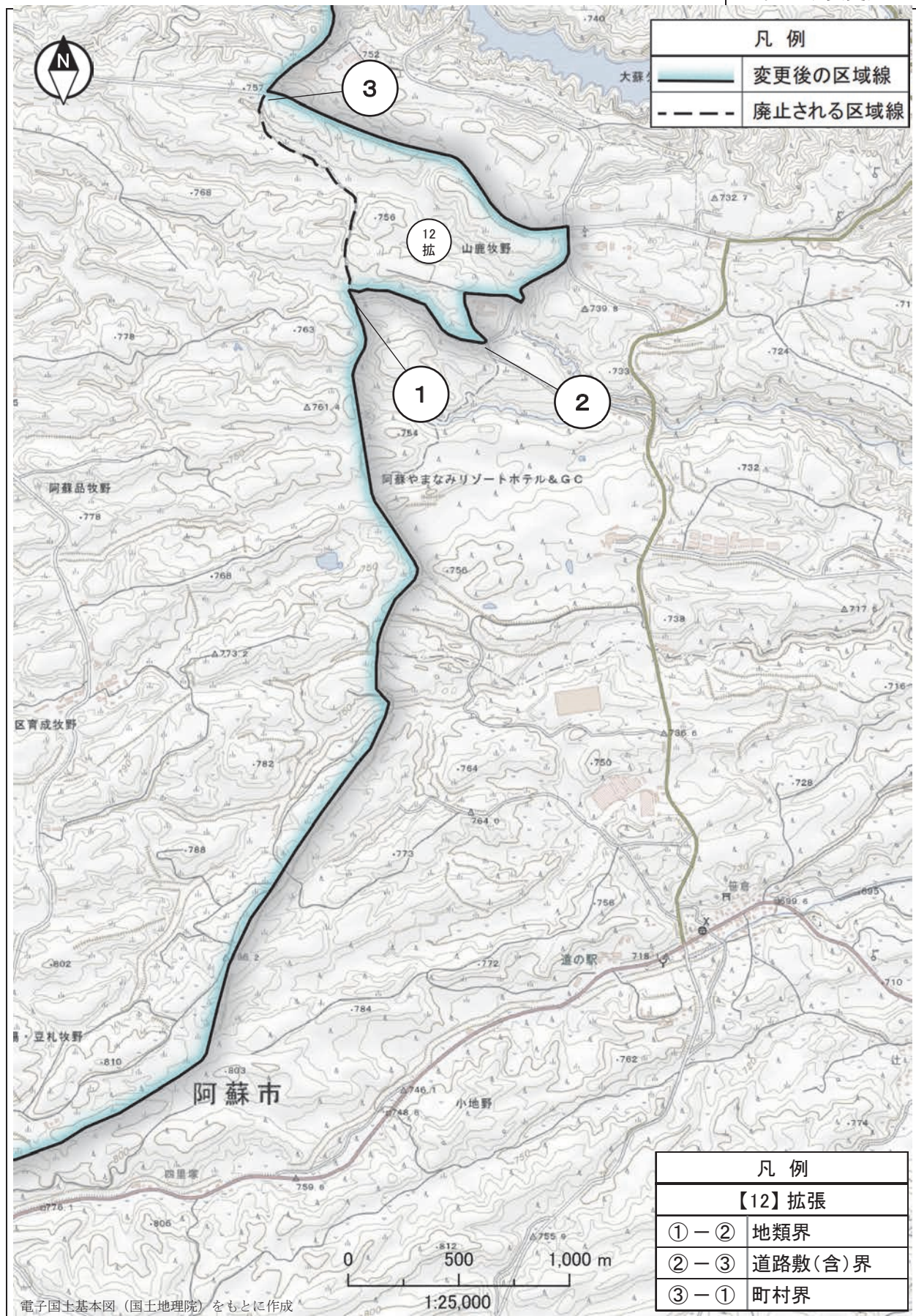
公園区域変更図7

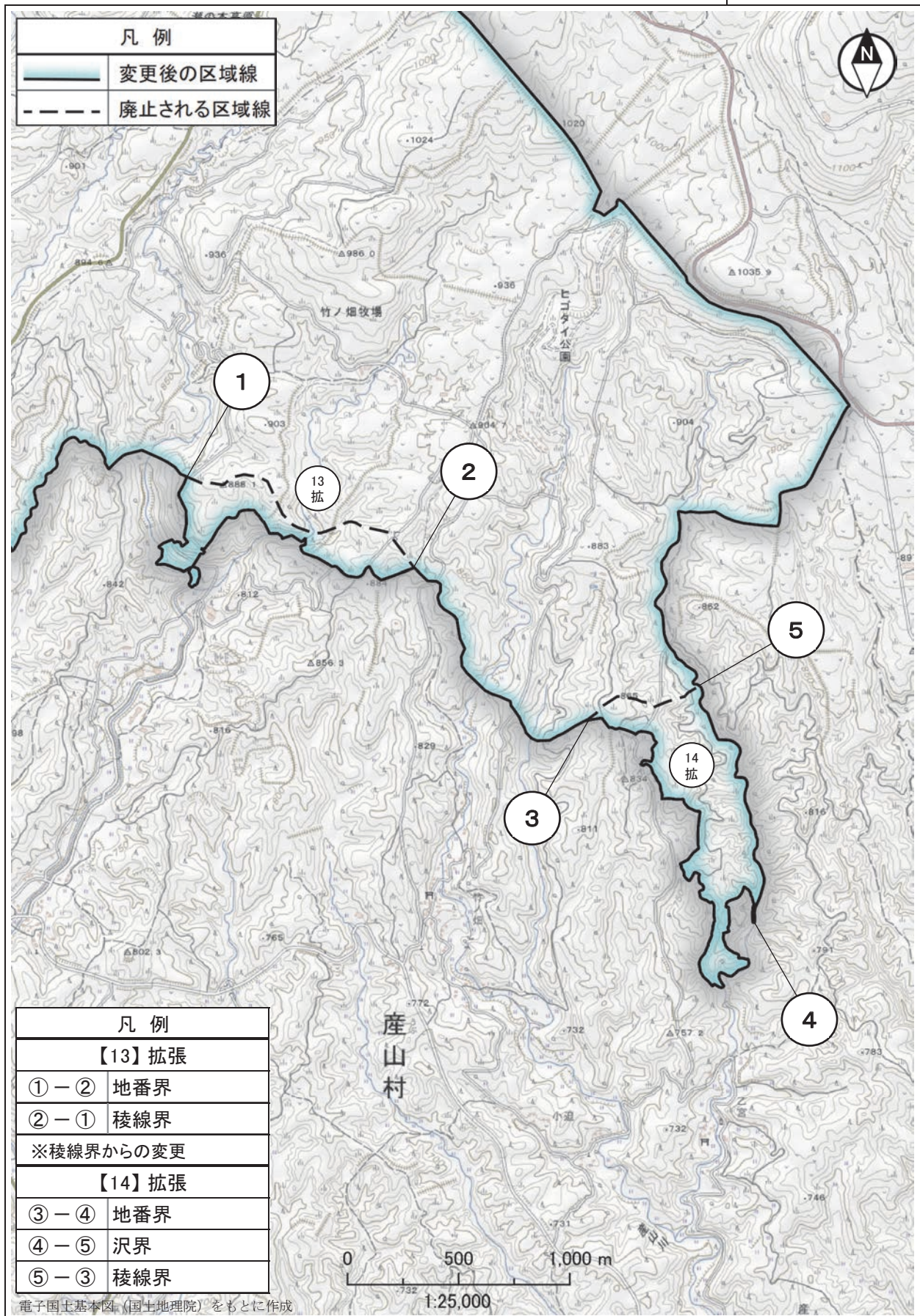


公園区域変更図8



公園区域変更図9





第2 公園計画の変更

1 変更理由

令和4年4月に改訂された国立公園の公園計画等の見直し要領を踏まえ、ビジョン及び管理運営方針の記述の追記を行う。

保護規制計画について、阿蘇地域では、国立公園区域として新たに指定する範囲において、風致景観の重要性和農林業への必要な配慮の程度に応じて、第3種特別地域又は普通地域として計画する。また、阿蘇の草原が優れた二次的自然環境であると評価されたことを受け、阿蘇北外輪山線道路（車道）等の沿線に位置する草原の一部について、自然環境の保全及び風致景観の維持のため、第3種特別地域として計画する。

くじゅう地域では、現状、遊具等が多数整備されている城島高原の第2種特別地域の一部について、地種区分の適正化を図る。

保護施設計画について、阿蘇草原自然再生施設の範囲を、国立公園区域として新たに指定する範囲に含まれる草原が包含されるよう拡張する。

利用施設計画について、新たに国立公園区域に指定する地域の利用の増進、登山道の安全かつ適正な利用の推進及び阿蘇くじゅう国立公園ステップアッププログラム2025の推進を図るため必要な施設計画の追加等を行う。

阿蘇地域では、現に施設等が整備され利用拠点として活用されている、中原地域の園地、湯田地域の野営場及び鞍岳の登山道（歩道）について新たに利用施設として計画するとともに、現に利用がある阿蘇北外輪山線道路（車道）及び小国阿蘇線道路（車道）を路線延長する。また、熊本地震によって被災し、事業が廃止された仙酔峡索道運送施設及び中岳火口索道運送施設を計画から削除する。

くじゅう地域では、現に歩行者の利用があつて標識等が設置されている岩井川岳及び大曲周辺の登山道について、登山道の整備のため道路事業（歩道）を新たに計画する。また、利用の高付加価値化を推進するため、久住高原に宿舎事業を新たに計画する。

2 基本方針の変更内容

基本方針を次のとおり変更する。

(表 4：基本方針変更表)

変更後	変更前
<p>1 基本方針</p> <p>阿蘇くじゅう国立公園は、阿蘇カルデラとその中央にそびえる中央火口丘、くじゅう連山及び由布鶴見火山群からなる原生的景観を風景形式とするとともに、我が国最大の半自然草原を含む草原景観が広がり、また、火山がもたらす恵みである温泉や湧水・水源が各地に点在する等、我が国を代表する傑出した自然の風景地である。</p> <p>阿蘇地域は、世界最大級のカルデラ地形と活発な活動続ける火口を間近に望める中岳に代表される火山が生み出す雄大な自然景観が特徴である。加えて、野焼き、採草といった人々の営みにより長い間維持されてきた広大な草原は、<u>褐毛和種（あか牛）の放牧風景等が広がっており、火山と草原と人々の営みが当地域ならではの美しい景観を生み出している。草原には、大陸系遺存種のハナシノブやヒゴタイ、草原性の昆虫であるオオトルリシジミ等、希少な野生動植物も生息・生育しており、また、近年の研究によって、水源涵養、炭素固定、災害防止・抑制等多面的な機能を有していることが明らかとなっている。これらの自然景観を背景として、農耕祭事、神社仏閣等の文化が根付いている。</u></p> <p><u>くじゅう地域は、九州本島最高峰の中岳や久住山を中心とするくじゅう連山、別府湾や湯布院盆地を一望できる由布岳・鶴見岳が連なる火山景観が特徴である。今なお火山活動が活発であるため、各地に「地獄」と呼ばれる硫気現象がみられ、地球のもたらす恵みとエネルギーを体感できる。また、火山山頂帯にはミヤマキリシマ群落が見られ、火山の裾野には久住高原や飯田高原、塚原高原等の雄大な草原が広がっているとともに、その</u></p>	<p>1 基本方針</p> <p>阿蘇くじゅう国立公園は、<u>世界最大級の阿蘇カルデラとその中央にそびえる中央火口丘、九州本島最高峰の中岳や久住山を中心とするくじゅう連山及び由布鶴見火山群からなる原生的景観を風景形式とするともに、我が国最大の半自然草原を含む草原景観が広がり、我が国を代表する傑出した自然の風景地である。</u></p>

変更後	変更前
<p>周囲には豊富な湧水や雨水により形成される多数の湿原が発達している。<u>タデ原湿原、坊ガツル湿原、猪の瀬戸湿原、小田の池、地藏原湿原等学術的にも貴重な湿地も多く、希少な湿性植物の宝庫となっている。その中でもタデ原湿原と坊ガツル湿原は、山間部の中間湿原としては国内最大級の面積となっている。</u></p> <p>本国立公園の利用は、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々、くじゅう連山、由布岳や鶴見岳への登山やハイキング、カルデラや草原景観の風景観賞や乗馬、サイクリング等の自然体験、中岳の火口探勝、南阿蘇湧水群や勇池湧水群等の湧水巡り、別府・阿蘇を結ぶ「九州横断道路（通称やまなみハイウェイ）」等のドライブ、火山活動を背景にした内牧温泉、地獄垂玉温泉、筋湯温泉等における温泉保養、キャンプ利用及び阿蘇神社等の参拝等が主な利用である。</p> <p>世界に誇る風致景観を保護し、その利用を推進するため、以下の方針により公園計画を定める。</p> <p>(1) ビジョン及び管理運営方針</p> <p>ア ビジョン</p> <p>火山、草原及びそれらの恵みである風土や文化、温泉や湧水・水源等が本国立公園を代表する資源であることを踏まえ、本国立公園のコンセプトを「草原のかほり、火山の呼吸。風と水の恵みを人が継ぎ人が繋ぐ、感動の大地」と定める。阿蘇地域においては、農畜産業の維持や地域外の受益者も巻き込んだ草原維持・再生の仕組みづくりや、適切な登山道管理に留意しつつ、資源の保護を図る。くじゅう地域においては、登山道の管理や草原維持、湿地や植生群落保全等に関する地域活動の支援に留意しつつ、資源の保護を図る。また、これらの資</p>	<p>本国立公園の利用は、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々、くじゅう連山、由布岳や鶴見岳への登山やハイキング、カルデラや草原景観の風景観賞や乗馬、サイクリング等の自然体験、中岳の火口探勝、南阿蘇湧水群や勇池湧水群等の湧水巡り、別府・阿蘇を結ぶ「九州横断道路（通称やまなみハイウェイ）」等のドライブ、火山活動を背景にした内牧温泉、地獄垂玉温泉、筋湯温泉等における温泉保養、キャンプ利用及び阿蘇神社等の参拝等が主な利用である。</p> <p>世界に誇る風致景観を保護し、その利用を推進するため、以下の方針により公園計画を定める。</p>

変更後	変更前
<p>源を満喫できる質の高いツーリズムの実現とブランド化を図ること で、訪日外国人も含めた本国立公園の利用者数の増加、消費単価や満 足度の向上を目指す。その際、環境や地域の経済社会に配慮したサス テナビリティの要素を積極的に取り入れていく。</p> <p><u>イ 管理運営方針</u></p> <p>上記の実現に向け、市町村の景観条例や景観計画、まちづくり条例、 天然記念物、重要文化的景観、ラムサール条約湿地等と整合を図り、 優れた景観形成を推進するとともに、関係機関と連携し、公共工事に おいて、民間の模範となる景観配慮を推進する。また、多様な主体と 連携し、自然再生推進法に基づく阿蘇草原再生及びくじゅう地域生態 系維持回復事業に継続的に取り組む。</p> <p>利用の推進については、国立公園の保護と利用の好循環により優れ た自然を守り地域活性化を図る「国立公園満喫プロジェクト」に継続 的に取り組む。</p> <p><u>(2) 保護に関する事項</u></p> <p>ア 阿蘇地域は、阿蘇カルデラや中央火口丘等が織りなす火山景観、その 山麓や外輪山上に広がる草原景観、菊池渓谷周辺の森林景観等の保護に 重点をおいた計画とする。また、草原景観の維持・再生を目的として、 野焼きを継続・復活するために、自然再生施設を計画的に整備する。</p> <p>イ くじゅう地域は、由布岳、鶴見岳及びくじゅう連山の火山が織りなす 山岳景観、その山麓に広がる草原景観、加えて、山麓に点在する山地湿 地の希少植物群落を有し、これらの保護に重点をおいた計画とする。</p>	<p><u>(1) 保護に関する方針</u></p> <p>ア 阿蘇地域は、阿蘇カルデラや中央火口丘等が織りなす火山景観、その 山麓や外輪山上に広がる草原景観、菊池渓谷周辺の森林景観等の保護に 重点をおいた計画とする。また、草原景観の維持・再生を目的として、 野焼きを継続・復活するために、自然再生施設を計画的に整備する。</p> <p>イ くじゅう地域は、由布岳、鶴見岳、くじゅう連山の火山が織りなす山 岳景観、その山麓に広がる草原景観、加えて、山麓に点在する山地湿地 の希少植物群落を有し、これらの保護に重点をおいた計画とする。</p>

変更後	変更前
<p>(3) <u>利用に関する事項</u></p> <p>ア 阿蘇地域については、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々の登山やハイキング、火口探勝のために、草千里や古坊中等に園地や駐車場等を計画的に整備するとともに、山麓部の利用拠点として、南阿蘇集団施設地区や地獄垂玉集団施設地区を計画的に整備する。また、菊池溪谷の探勝を目的として、園地や駐車場の整備を図る。</p> <p>イ くじゅう地域については、由布岳、鶴見岳、くじゅう連山の登山やトレッキングの利用を主体とし、その登山の拠点となる長者原集団施設地区及び久住高原集団施設地区並びに山麓の利用拠点に位置する園地・宿舍・駐車場等の単独施設の計画的な整備を図る。また、広大な草原景観を望みできる久住高原地区の園地や宿舍も重点的に整備を図る。</p> <p>ウ 両地域に共通して、やまなみハイウェイ等のドライブ利用による景観探勝を想定し、周辺の風致景観の保全と適切な施設の整備を行う。また、阿蘇地域とくじゅう地域の中間のやまなみハイウェイ沿いに位置する瀬の本を集団施設地区に指定し、適切な利用のための施設を集团的に整備する。さらに、本国立公園の地域ごとの地形地質・景観・文化等を活かした質の高い自然体験活動を促進する。</p>	<p>(2) <u>利用に関する方針</u></p> <p>ア 阿蘇地域については、阿蘇外輪山や中央火口丘を構成する山々の登山やハイキング、火口探勝のために、草千里や古坊中等に園地や駐車場等を計画的に整備するとともに、山麓部の利用拠点として、南阿蘇集団施設地区や地獄垂玉集団施設地区を計画的に整備する。また、菊池溪谷の探勝を目的として、園地や駐車場の整備を図る。</p> <p>イ くじゅう地域については、由布岳、鶴見岳、くじゅう連山の登山やトレッキングの利用を主体とし、その登山の拠点となる長者原集団施設地区及び久住高原集団施設地区、並びに山麓の利用拠点に位置する園地・宿舍・駐車場等の単独施設の計画的な整備を図る。また、広大な草原景観を望みできる久住高原地区の園地や宿舍も重点的に整備を図る。</p> <p>ウ 両地域に共通して、やまなみハイウェイ等のドライブ利用による景観探勝を想定し、周辺の風致景観の保全と適切な施設の整備を行う。また、阿蘇地域とくじゅう地域の中間のやまなみハイウェイ沿いに位置する瀬の本を集団施設地区に指定し、適切な利用のための施設を集团的に整備する。さらに、本公園の地域ごとの地形地質・景観・文化等を活かした質の高い自然体験活動を促進する。</p>

3 規制計画の変更内容

(1) 保護規制計画等

保護規制計画等の一部を、次のとおり変更する。

ア 特別地域

特別地域の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表5：特別地域変更表)

都道府県名	変更後		変更前	
	区域	面積 (ha)	区域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班から 5 林班まで、 11 林班及び 19 林班の各一部 菊池市	470 〔国 公 私〕 〔 〃 〃 〃 〕	菊池市内 国有林熊本森林管理署 3 林班から 5 林班まで、 11 林班、18 林班及び 19 林班の各一部 菊池市	470 (470) 〔国 公 私〕 〔 〃 〃 〃 〕
	原及び麓の各一部 阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 5 林班、6 林班及び 8 林 班から 12 林班までの各一部 阿蘇市	14,896 〔国 公 私〕 〔 〃 〃 〃 〕	旭志麓の一部 阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 5 林班、6 林班及び 8 林 班から 12 林班までの各一部 阿蘇市	10,275 (10,393) 〔国 公 私〕 〔 〃 〃 〃 〕
	一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、 一の宮町宮地、小里、乙姫、車帰、黒川下西黒 川、黒川北黒川、永草、波野大字新波野、波野 大字中江、波野大字波野、西湯浦、的石、三久 保折戸及び山田の各一部		赤水、跡ヶ瀬、一の宮町荻の草、一の宮町北坂 梨、一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町手 野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小倉、小里、 乙姫、狩尾、蔵原、車帰、黒川、小池、竹原、 永草、波野大字新波野、波野大字中江、波野大 字波野、西小園、西町、西湯浦、的石、三久保、 南宮原、山田及び湯浦の各一部	

都道府県名	変更後		変更前	
	区域	面積 (ha)	区域	面積 (ha)
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 116 林班の全部及び 117 林班の一部 菊池郡大津町 瀬田、古城及び外牧の各一部	314 〔国 公 私〕	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 116 林班の全部及び 117 林班の一部 菊池郡大津町 大字外牧の一部	170 (187) 〔国 公 私〕
	阿蘇郡南小国町内 国有林熊本森林管理署 236 林班及び 237 林班の全部 阿蘇郡南小国町 大字赤馬場、大字中原及び大字満願寺の各一部	2,353 〔国 公 私〕	阿蘇郡南小国町内 国有林熊本森林管理署 236 林班及び 237 林班の全部 阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	903 (921) 〔国 公 私〕
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字上田の一部	176 〔国 公 私〕	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 240 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字北里の一部	176 (177) 〔国 公 私〕
	阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	657 〔国 公 私〕	阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	487 (477) 〔国 公 私〕

都道府県名	変更後		変更前	
	区域	面積 (ha)	区域	面積 (ha)
	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 222 林班から 226 林班までの全部 阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見、大字高森、 <u>大字中及び大字矢津田の各一部</u>	2,906 〔国 公 私〕 〔 - - -〕	阿蘇郡高森町内 国有林熊本森林管理署 222 林班から 226 林班までの全部 阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見及び大字高森の各一部	2833 (2,825) 〔国 公 私〕 〔 - - -〕
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 119 林班及び 122 林班から 128 林班までの全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白川、大字立野、大字長野、大字中松、大字久石、大字吉田及び大字両併の各一部	5,771 〔国 公 私〕 〔 - - -〕	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 119 林班及び 122 林班から 128 林班までの全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白川、大字立野、大字中松、大字長野、大字久石、大字吉田及び大字両併の各一部	5770 (5,595) 〔国 公 私〕 〔 - - -〕
大分県	別府市内 国有林大分西部森林管理署 1007 林班から 1010 林班まで及び 1013 林班の全部並びに 1006 林班及び 1012 林班の各一部 別府市 大字扇山、大字東山及び大字別府の各一部	2,321 〔国 公 私〕 〔 - - -〕	別府市内 国有林大分西部森林管理署 1007 林班から 1010 林班まで及び 1013 林班の全部並びに 1006 林班及び 1012 林班の各一部 別府市 大字扇山、大字東山及び大字別府の各一部	2,336 〔国 公 私〕 〔 - - -〕

変更部分面積合計	6,444 〔国 公 私〕 〔 - - - 〕
変更前特別地域面積	36,150 (36,111) 〔国 公 私〕 〔 - - - 〕
変更後特別地域面積	42,594 〔国 公 私〕 〔 - - - 〕

注) 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算後の数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数値である。

(ア) 第1種特別地域

第1種特別地域の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表6：第1種特別地域変更表) 注：【図●】は、「保護規制計画変更図」の図郭番号を示す。

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
1 変更図 1】	拡張	第2種特別地域からの振替	杵島岳・ 往生岳	熊本県阿蘇市乙姫の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う拡張。	1 〔国 公 私〕
2 変更図 1】	拡張	第2種特別地域からの振替	檜尾岳・ 丸山	熊本県阿蘇市乙姫の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う拡張。	3 〔国 公 私〕
3 変更図 2】	拡張	第2種特別地域からの振替	檜尾岳・ 丸山	熊本県阿蘇市一の宮町 宮地の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う拡張。	2 〔国 公 私〕
4 変更図 1】	削除	第2種特別地域への振替	檜尾岳・ 丸山	熊本県阿蘇市乙姫の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う削除。	△10 〔国 公 私〕

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
					変更部分面積計	△4 〔 国 - 〕 〔 公 - 〕 〔 私 - 〕
					変更前第 1 種特別地域面積	4, 455 (4, 425) 〔 国 - 〕 〔 公 - 〕 〔 私 - 〕
					変更後第 1 種特別地域面積	4, 451 〔 国 - 〕 〔 公 - 〕 〔 私 - 〕

注) 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算後の数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数値である。

(イ) 第2種特別地域

第2種特別地域の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表7：第2種特別地域変更表) 注：【図●】は、「保護規制計画変更図」の図郭番号を示す。

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
4 【変更図 1】	拡張	第1種特別地域からの振替	中央火口丘 の山腹	熊本県阿蘇市乙姫の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う拡張。	10 〔国 公 私〕
5 【変更図 3】	— (※)	凡例の修正	立野火口瀬	熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野の一部	境界の明確化を図るため、区域線の凡例を変更する。	0 〔国 公 私〕
1 【変更図 1】	削除	第1種特別地域への振替	中央火口丘 の山腹	熊本県阿蘇市乙姫の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う削除。	△1 〔国 公 私〕
2 【変更図 1】	削除	第1種特別地域への振替	中央火口丘 の山腹	熊本県阿蘇市乙姫の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う削除。	△3 〔国 公 私〕

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
3 【変更図 2】	削除	第1種特別地域への振替	中央火口丘 の山腹	熊本県阿蘇市一の宮町宮 地の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更 することに伴う削除。	△2 〔国 公 私〕
6 【変更図 19】	削除	普通地域への 振替	由布岳・鶴見 岳	大分県別府市大字東山の 一部	土地利用の実態等を踏まえ、規制の適正化を図る ため。	△15 〔国 公 私〕
変更部分面積計						
変更前第2種特別地域面積						
変更後第2種特別地域面積						
14, 166 (14, 093) 〔国 公 私〕						
14, 155 〔国 公 私〕						

注) 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算後の数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数値である。

(※) 区域線種のみを変更するものであり、区域線の位置に変更がないことから、面積の増減は発生しない。

(ウ) 第3種特別地域

第3種特別地域の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表8：第3種特別地域変更表) 注：【図●】は、「保護規制計画変更図」の図郭番号を示す。

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
7 【変更図 4】	拡張	普通地域からの 振替	北外輪山主要 道路沿線	熊本県阿蘇市一の宮町 三野の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有する ため、地種区分を変更することに伴う拡張。 【地区の概要】 北外輪山の主要道路沿線の地域である。	128 <div>〔国 公 私〕</div>
8 【変更図 4】	拡張	普通地域からの 振替	北外輪山主要 道路沿線	熊本県阿蘇市一の宮町 坂梨及び一の宮町三野 の各一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有する ため、地種区分を変更することに伴う拡張。	1,396 <div>〔国 公 私〕</div>
9 【変更図 5】	拡張	普通地域からの 振替	北外輪山主要 道路沿線	熊本県阿蘇市一の宮町 三野及び一の宮町中通 の各一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有する ため、地種区分を変更することに伴う拡張。	963 <div>〔国 公 私〕</div>
10 【変更図 5】	拡張	普通地域からの 振替	北外輪山主要 道路沿線	熊本県阿蘇市山田の一 部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有する ため、地種区分を変更することに伴う拡張。	485 <div>〔国 公 私〕</div>
11 【変更図 6】	拡張	普通地域からの 振替	北外輪山主要 道路沿線	熊本県阿蘇市西湯浦の一 部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有する ため、地種区分を変更することに伴う拡張。	844 <div>〔国 公 私〕</div>

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
12 【変更図 7】	拡張	普通地域からの振替	北外輪山主要道路沿線	熊本県阿蘇市西湯浦及びひの石の各一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、地種区分を変更することに伴う拡張。	190 〔国 公 私〕
13 【変更図 7】	拡張	普通地域からの振替	北外輪山主要道路沿線	熊本県阿蘇市の石の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、地種区分を変更することに伴う拡張。	82 〔国 公 私〕
14 【変更図 7】	拡張	普通地域からの振替	北外輪山主要道路沿線	熊本県阿蘇市の石の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、地種区分を変更することに伴う拡張。	533 〔国 公 私〕
15 【変更図 10】	拡張	特別地域の拡張	北外輪山主要道路沿線	熊本県菊池郡大津町瀬田、古城及び阿蘇郡南阿蘇村大字立野の各一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、地種区分を変更することに伴う拡張。	144 〔国 公 私〕
16 【変更図 8】	拡張	特別地域の拡張	北外輪山	熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場及び大字中原の各一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域変更に伴う拡張。 【地区の概要】 北外輪山北側の大地にある丘陵状の草原景観地 形である。	1,450 〔国 公 私〕
17 【変更図 9】	拡張	特別地域の拡張	一目山・瀬の本高原	熊本県阿蘇郡産山村大字田尻の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域変更に伴う拡張。	20 〔国 公 私〕

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
18 【変更図 9】	拡張	普通地域からの 振替	一目山・瀬の 本高原	熊本県阿蘇郡産山村大字 字田尻の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、地種区分を変更することに伴う拡張。	150 〔国 公 私〕
19 【変更図 12】	拡張	特別地域の拡張	清栄山	熊本県阿蘇郡高森町大字 字矢津田の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域変更に伴う拡張。 【地区の概要】 南外輪山内壁東側の特異な山容と、その斜面や山麓に草原が広がる地区である。	38 〔国 公 私〕
20 【変更図 12】	拡張	特別地域の拡張	清栄山	熊本県阿蘇郡高森町大字 字矢津田の一部	隣接する特別地域の草原と同等の景観資質を有するため、公園区域変更に伴う拡張。	24 〔国 公 私〕
21 【変更図 2】	拡張	普通地域からの 振替	中央火口丘の 裾野	熊本県阿蘇郡高森町大字 字色見の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う拡張。	11 〔国 公 私〕
22 【変更図 11】	拡張	普通地域からの 振替	外輪山内壁	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰の一部	不明確な境界の明確化を図るため、区域線を変更することに伴う拡張。	1 〔国 公 私〕
23 【変更図 3】	－ (※)	凡例の修正	外輪山内壁	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰の一部	境界の明確化を図るため、区域線の凡例を変更する。	0 〔国 公 私〕

番号	区分	内容	名称	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)	
24 【変更図 11】	－ (※)	凡例の修正	外輪山内壁	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 大字河陰の一部	境界の明確化を図るため、区域線の凡例を変更する。	0 〔国 公 私〕	
					変更部分面積計	6, 459 〔国 公 私〕	
					変更前第3種特別地域面積	15, 592 (15, 659) 〔国 公 私〕	
					変更後第3種特別地域面積	22, 051 〔国 公 私〕	

注) 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算後の数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数値である。

(※) 区域線種のみを変更するものであり、区域線の位置に変更がないことから、面積の増減は発生しない。

イ 関連事項

(ア) 普通地域

普通地域の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表 9 : 普通地域 (陸域) 変更表)

都道府 県名	変更後		変更前	
	区 域	面積 (ha)	区 域	面積 (ha)
熊本県	菊池市内及び阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 1 林班、2 林班、7 林班及び 13 林班から 18 林班までの全部並びに 3 林班から 6 林班まで、8 林班から 10 林班まで、12 林班及び 19 林班の各一部 菊池市 原及び麓の各一部	1, 147 〔 国 公 私 〕 〔 - - -〕	菊池市内及び阿蘇市内 国有林熊本森林管理署 1 林班、2 林班、7 林班及び 13 林班から 18 林班までの全部並びに 3 林班から 6 林班まで、8 林班から 10 林班まで、12 林班及び 19 林班の各一部 菊池市 大字原の一部	300 (292) 〔 国 公 私 〕 〔 - - -〕
	阿蘇市 赤水、跡ヶ瀬、今町、内牧、内牧成川、小倉、小倉西小倉、小野田、狩尾、蔵原、黒川上西黒川、黒川千丁、黒川東黒川、黒川坊中、黒川南黒川、黒川元黒川、黒流町、小池、竹原、永草根、西小園、西町、三久保宇土、三久保折戸、三久保浜川、南宮原、無田、役犬原上役犬原、役犬原下役犬原、役犬原道尻及び湯浦の全部並びに一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小里、乙姫、車帰、黒川北黒川、黒川下西黒川、永草、波野大字新波野、西湯浦、的石及び山田の各一部	15, 460 〔 国 公 私 〕 〔 - - -〕	阿蘇市 今町、一の宮町中坂梨、内牧、小野田、黒流町、無田及び役犬原の全部並びに赤水、跡ヶ瀬、一の宮町荻の草、一の宮町北坂梨、一の宮町坂梨、一の宮町三野、一の宮町手野、一の宮町中通、一の宮町宮地、小倉、小里、乙姫、狩尾、蔵原、車帰、黒川、小池、竹原、永草、西小園、西町、西湯浦、的石、三久保、南宮原、山田及び湯浦の各一部	20, 023 (20, 050) 〔 国 公 私 〕 〔 - - -〕

都道府 県名	変更後		変更前	
	区 域	面積 (ha)	区 域	面積 (ha)
	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部 菊池郡大津町 瀬田、外牧及び真木の各一部	422 〔 国 公 私 〕	菊池郡大津町内 国有林熊本森林管理署 117 林班の一部 菊池郡大津町 大字古城、大字外牧及び大字真木の各一部	422 (408) 〔 国 公 私 〕
	阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	1, 379 〔 国 公 私 〕	阿蘇郡南小国町 大字満願寺の一部	816 (809) 〔 国 公 私 〕
	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 238 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字上田、大字北里及び大字西里の各一部	1, 384 〔 国 公 私 〕	阿蘇郡小国町内 国有林熊本森林管理署 238 林班の一部 阿蘇郡小国町 大字上田、大字北里及び大字西里の各一部	1, 295 (1, 302) 〔 国 公 私 〕
	阿蘇郡産山村 大字産山、大字大利、大字田尻及び大字山鹿の各一部	341 〔 国 公 私 〕	阿蘇郡産山村 大字田尻の一部	393 (382) 〔 国 公 私 〕
	阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見及び大字高森の各一部	2, 029 〔 国 公 私 〕	阿蘇郡高森町 大字上色見、大字色見及び大字高森の各一部	2, 040 (2, 054) 〔 国 公 私 〕

都道府 県名	変更後		変更前	
	区 域	面積 (ha)	区 域	面積 (ha)
	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 120 林班の全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字白 川、大字立野、大字長野、大字中松、大字久石、大 字吉田及び大字両併の各一部	7, 935 〔 国 公 私 〕	阿蘇郡南阿蘇村内 国有林熊本森林管理署 120 林班の全部 阿蘇郡南阿蘇村 大字一関、大字河陰、大字河陽、大字下野、大字 白川、大字立野、大字中松、大字長野、大字久石、 大字吉田及び大字両併の各一部	7, 936 (8, 026) 〔 国 公 私 〕
大分県	別府市 <u>大字東山の一部</u>	15 〔 国 公 私 〕		0 〔 国 公 私 〕

都道府 県名	変更後		変更前	
	区 域	面積 (ha)	区 域	面積 (ha)
		陸域	変更部分面積 合計	△3,113 〔 国 - 〕 〔 公 - 〕 〔 私 - 〕
			変更前 普通地域面積	36,808 (36,906) 〔 国 - 〕 〔 公 - 〕 〔 私 - 〕
			変更後 普通地域面積	33,695 〔 国 - 〕 〔 公 - 〕 〔 私 - 〕

注) 区域の精査及びGISソフトを用いた面積の再計算後の数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数値である。

ウ 面積内訳

地域地区別土地所有別及び市町村別面積は、次のとおりとなる。

(表 10：地域地区別土地所有別面積総括表) (単位：面積ha、比率%)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)			合計 (陸域)		
地種区分		特別保護地区			第 1 種			第 2 種			第 3 種								
土地所有者別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私
熊本県	土地所有別面積	701	111	0	1,048	1,146	0	210	5,760	204	1,014	12,365	4,984	1,847	8,546	19,704	4,820	27,928	24,892
	地種区分別面積(比率)	812 (1.1)			2,194 (2.9)			6,174 (8.1)			18,363 (24.0)			30,097 (39.5)			57,640 (75.6)		
	地域地区別面積(比率)				26,731 (35.0)														
	地域別面積(比率)				27,543 (36.1)														
大分県	土地所有別面積	862	0	263	2,003	7	247	2,634	1,275	4,072	1,269	795	1,624						
	地種区分別面積(比率)	1,125 (1.5)			2,257 (3.0)			7,981 (10.4)			3,688 (4.8)			3,598 (4.7)			18,649 (24.4)		
	地域地区別面積(比率)				13,926 (18.2)														
	地域別面積(比率)				15,051 (19.7)														
合計	土地所有別面積	1,563	111	263	3,051	1,153	247	2,844	7,035	4,276	2,283	13,160	6,608						
	地種区分別面積(比率)	1,937 (2.5)			4,451 (5.8)			14,155 (18.5)			22,051 (29.0)			33,695 (44.2)			76,289 (100.0)		
	地域地区別面積(比率)				40,657 (53.3)														
	地域別面積(比率)				42,594 (55.8)														

注) 既存の公園区域の面積は、GISソフトを用いて再計算した数値による。

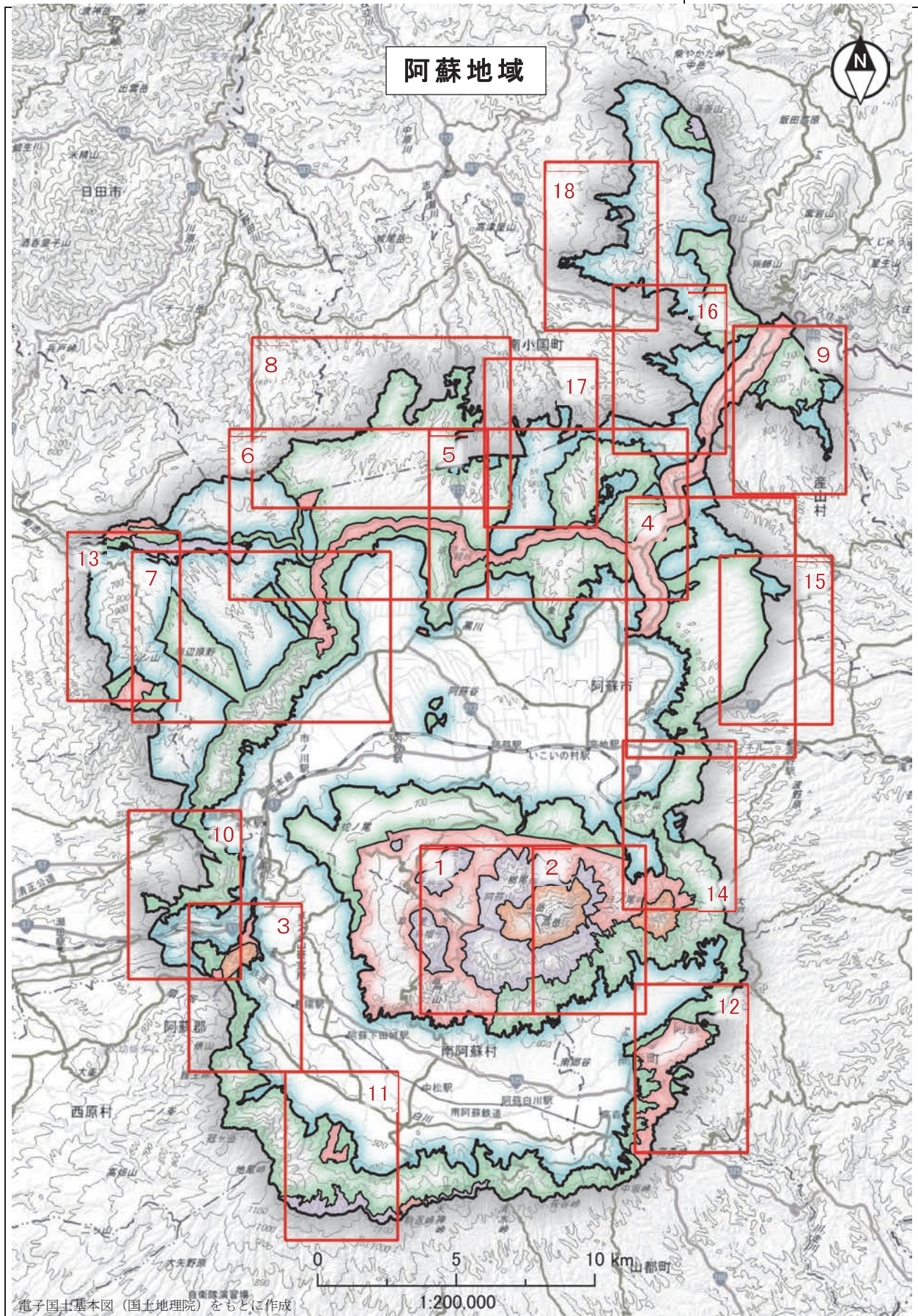
(表 11：地域地区別市町村別面積総括表)

(単位：ha)

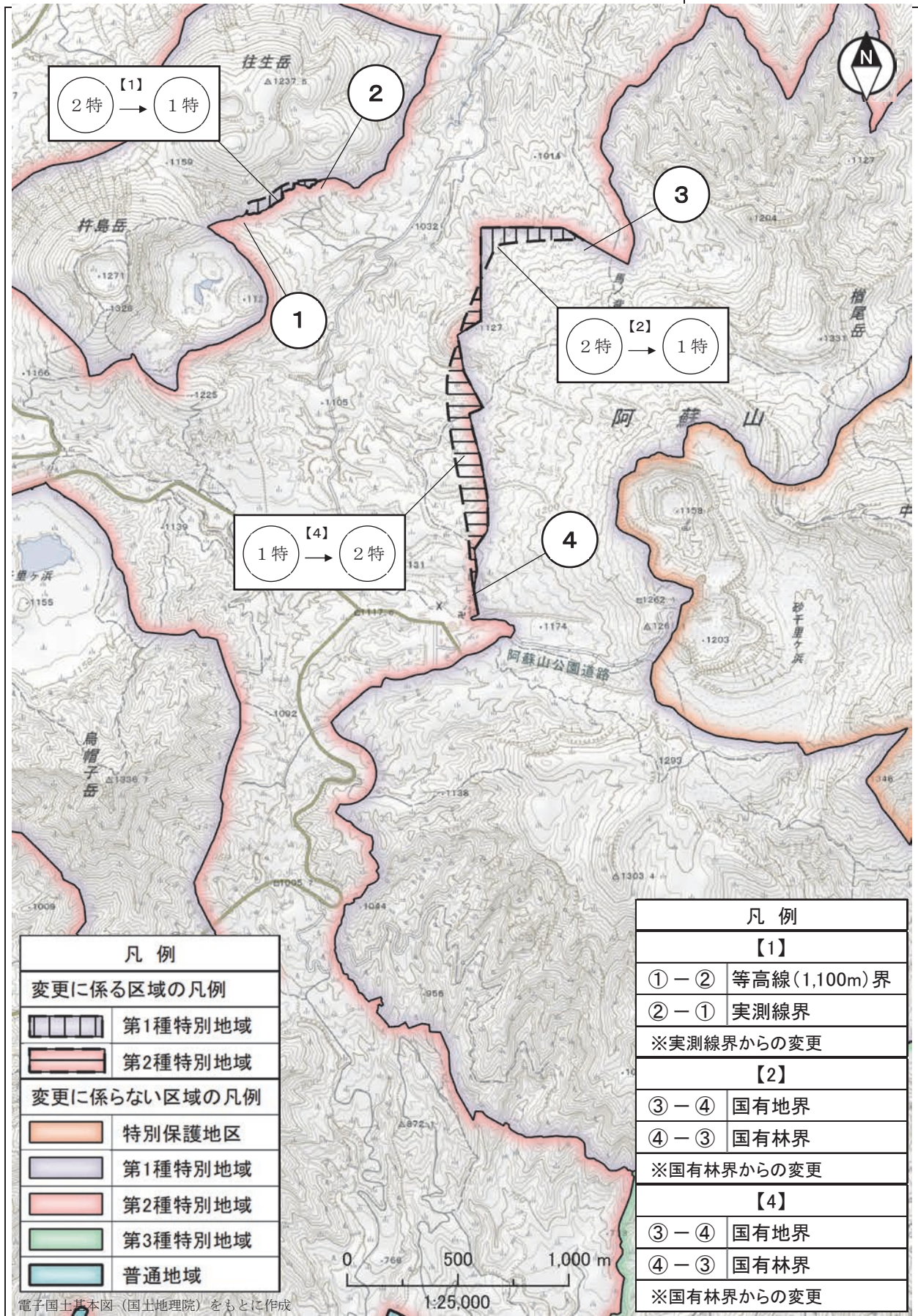
			現 行						変 更 後						増 減 (陸域) (B-A)		
地域地区 市町村名			特 別 地 域					普通 地域 (陸域)	合計 (陸域) (A)	特 別 地 域						普通 地域 (陸域)	合計 (陸域) (B)
			特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計			特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計			
熊本県	菊池市		0 (0)	58 (50)	181 (183)	231 (237)	470 (470)	300 (292)	770 (762)	0	58	181	231	470	1, 147	1, 617	847
	阿蘇市		331 (391)	909 (900)	3, 033 (2, 996)	6, 002 (6, 106)	10, 275 (10, 393)	20, 023 (20, 050)	30, 298 (30, 443)	331	905	3, 037	10, 623	14, 896	15, 460	30, 356	58
	菊池郡	大津町	70 (84)	0 (0)	18 (12)	82 (91)	170 (187)	422 (408)	592 (595)	70	0	18	226	314	422	736	144
	阿蘇郡	南小国町	0 (0)	0 (0)	317 (319)	586 (602)	903 (921)	816 (809)	1, 719 (1, 730)	0	0	317	2, 036	2, 353	1, 379	3, 732	2, 013
		小国町	0 (0)	37 (40)	0 (0)	139 (137)	176 (177)	1, 295 (1, 302)	1, 471 (1, 479)	0	37	0	139	176	1, 384	1, 560	89
		産山村	0 (0)	0 (0)	233 (217)	254 (260)	487 (477)	393 (382)	880 (859)	0	0	233	424	657	341	998	118
		高森町	317 (317)	307 (300)	630 (622)	1, 579 (1, 586)	2, 833 (2, 825)	2, 040 (2, 054)	4, 873 (4, 879)	317	307	630	1, 652	2, 906	2, 029	4, 935	62
		南阿蘇村	94 (17)	887 (878)	1, 758 (1, 748)	3, 031 (2, 952)	5, 770 (5, 595)	7, 936 (8, 026)	13, 706 (13, 621)	94	887	1, 758	3, 032	5, 771	7, 935	13, 706	0
小 計			812 (809)	2, 198 (2, 168)	6, 170 (6, 097)	11, 904 (11, 971)	21, 084 (21, 045)	33, 225 (33, 323)	54, 309 (54, 368)	812	2, 194	6, 174	18, 363	27, 543	30, 097	57, 640	3, 331
大分県	別府市		0	84	2, 252	0	2, 336	0	2, 336	0	84	2, 237	0	2, 321	15	2, 336	0
	竹田市		1, 034	1, 107	978	1, 806	4, 925	1, 886	6, 811	1, 034	1, 107	978	1, 806	4, 925	1, 886	6, 811	0
	由布市		0	258	1, 806	198	2, 262	793	3, 055	0	258	1, 806	198	2, 262	793	3, 055	0
	玖珠郡	九重町	91	808	2, 958	1, 684	5, 541	904	6, 445	91	808	2, 958	1, 684	5, 541	904	6, 445	0
		玖珠町	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0
小 計			1, 125	2, 257	7, 996	3, 688	15, 066	3, 583	18, 649	1, 125	2, 257	7, 981	3, 688	15, 051	3, 598	18, 649	0
合 計			1, 937	4, 455	14, 166	15, 592	36, 150	36, 808	72, 958	1, 937	4, 451	14, 155	22, 051	42, 594	33, 695	76, 289	3, 331

注) 阿蘇地域（熊本県）の現行の公園区域の面積は、GISソフトを用いて再計算した変更後の面積から変更部分を差し引いた数値であり、括弧内は変更前の公園計画書に記載された数字である。

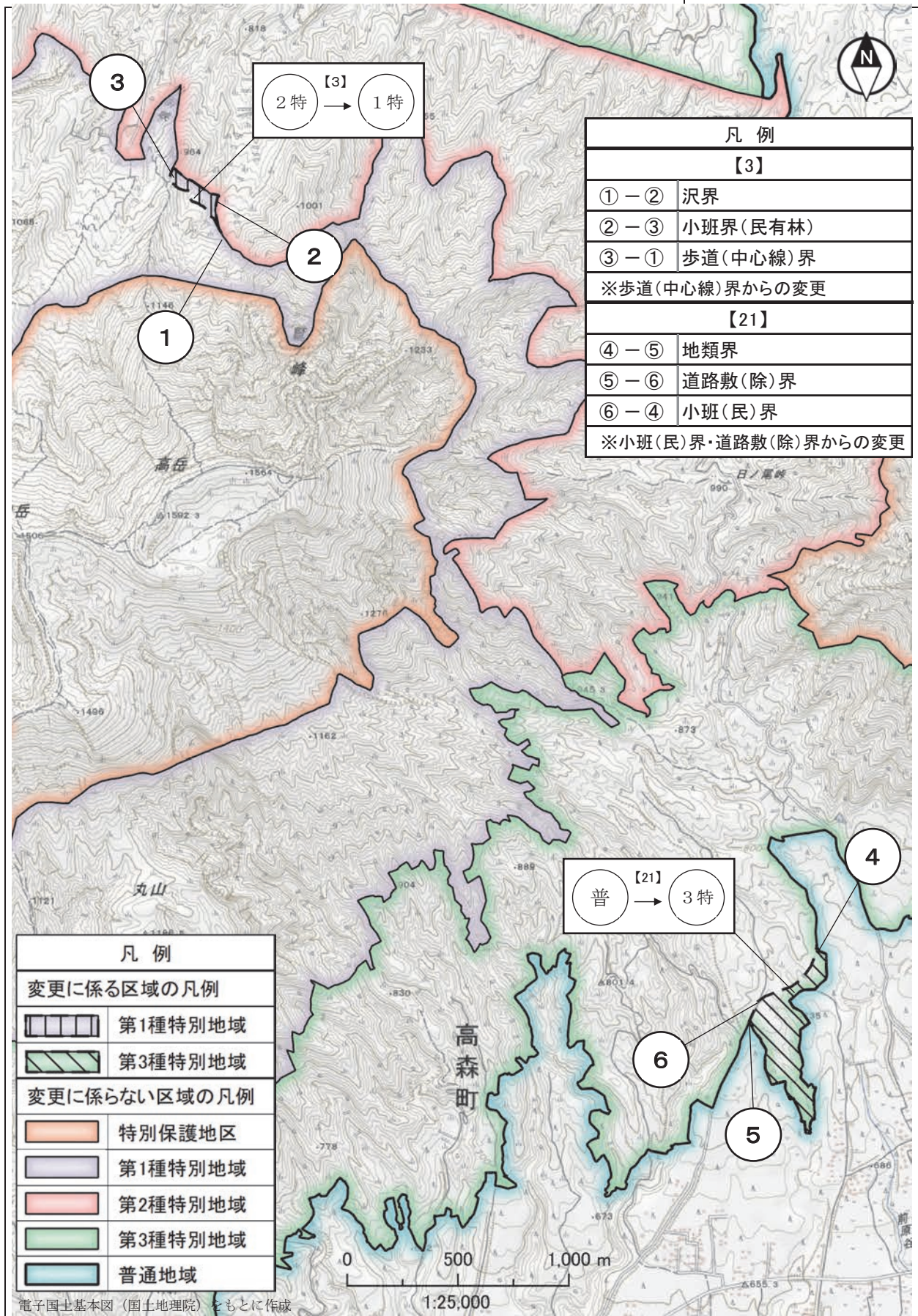
規制計画変更位置図1



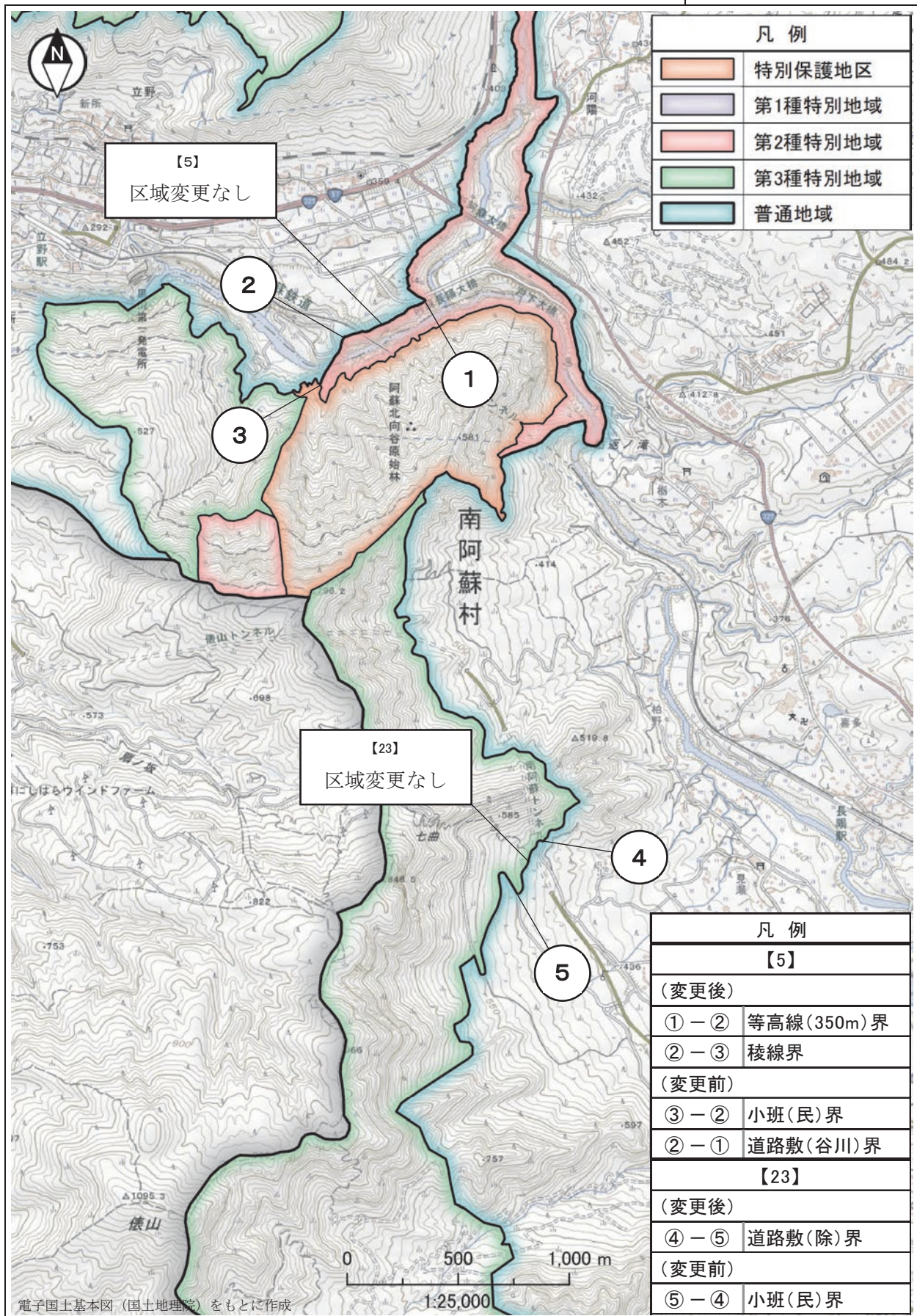
保護規制計画変更図1

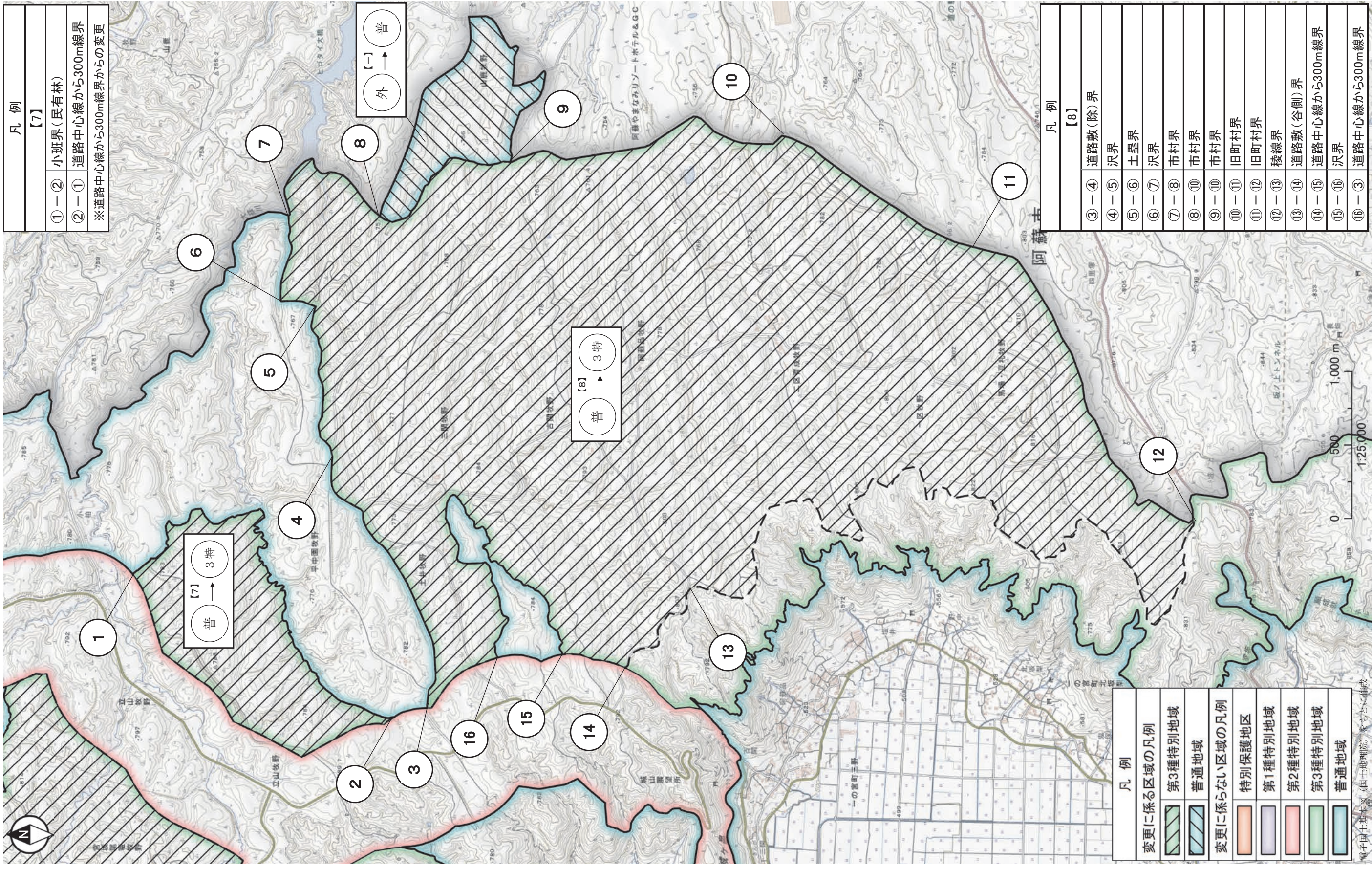


保護規制計画変更図2

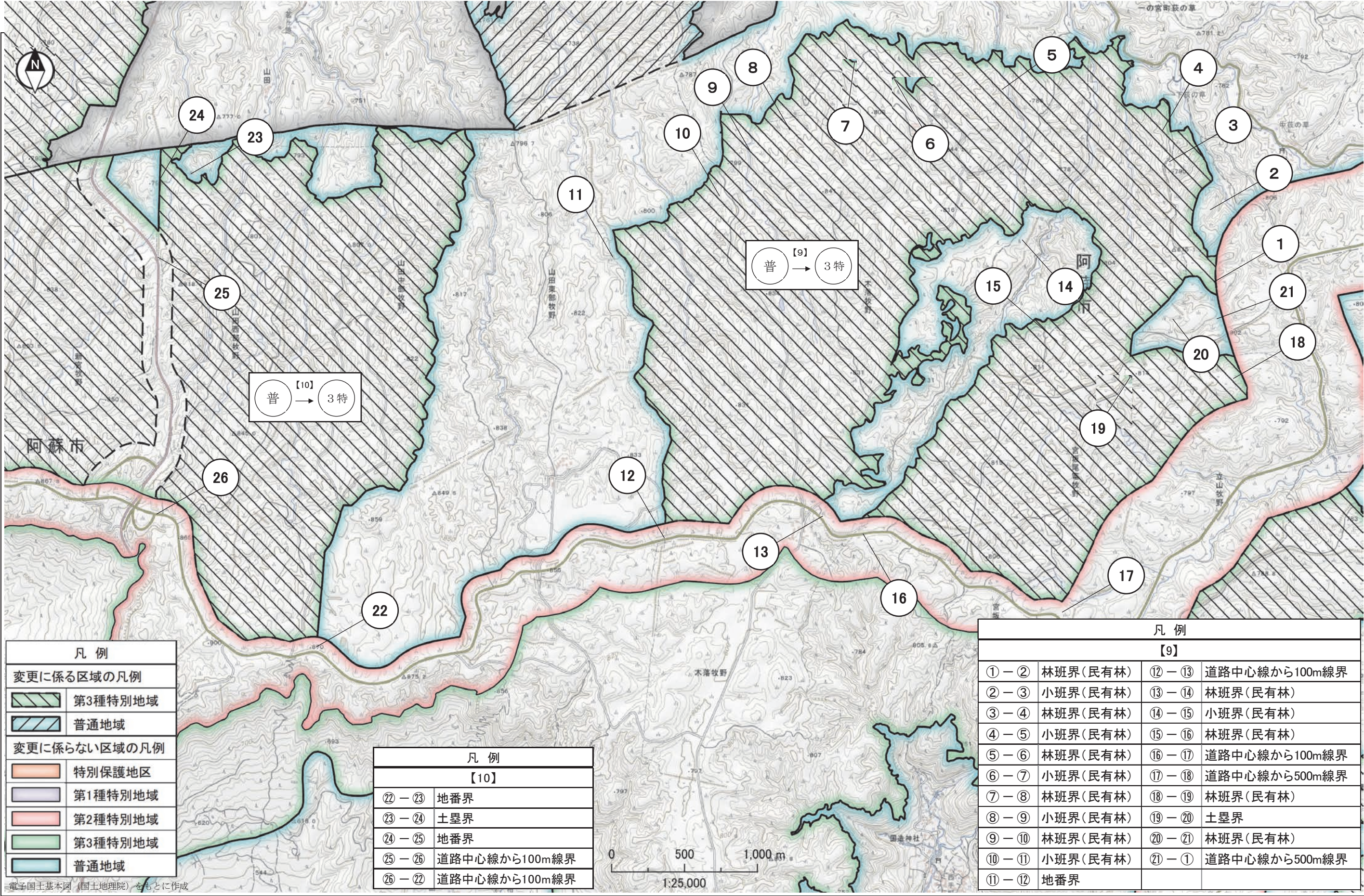


保護規制計画変更図 3





電子国土基本図(国土地理院)をもとに作成

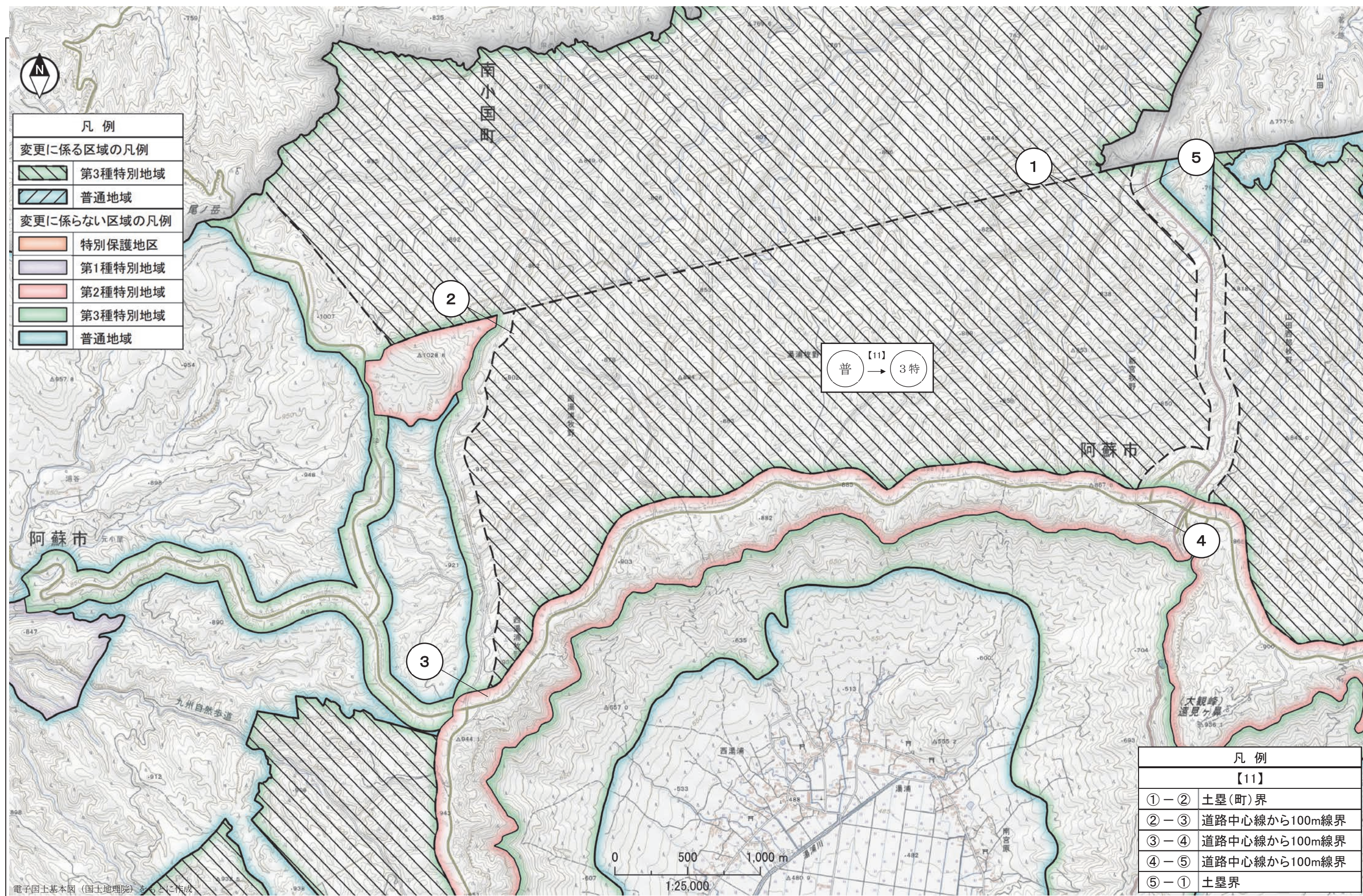


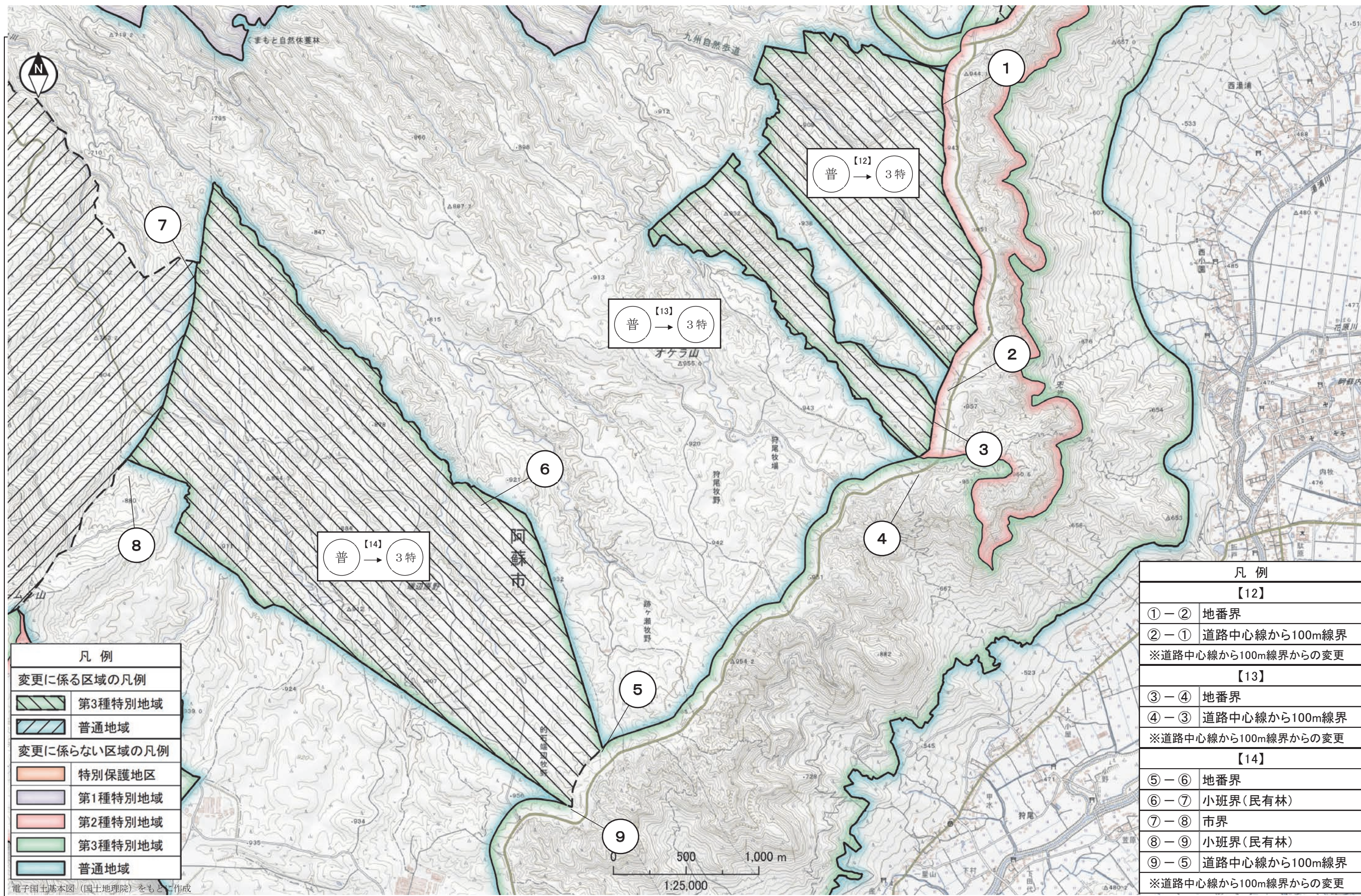
凡 例	
変更に係る区域の凡例	
	第3種特別地域
	普通地域
変更に係らない区域の凡例	
	特別保護地区
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	普通地域

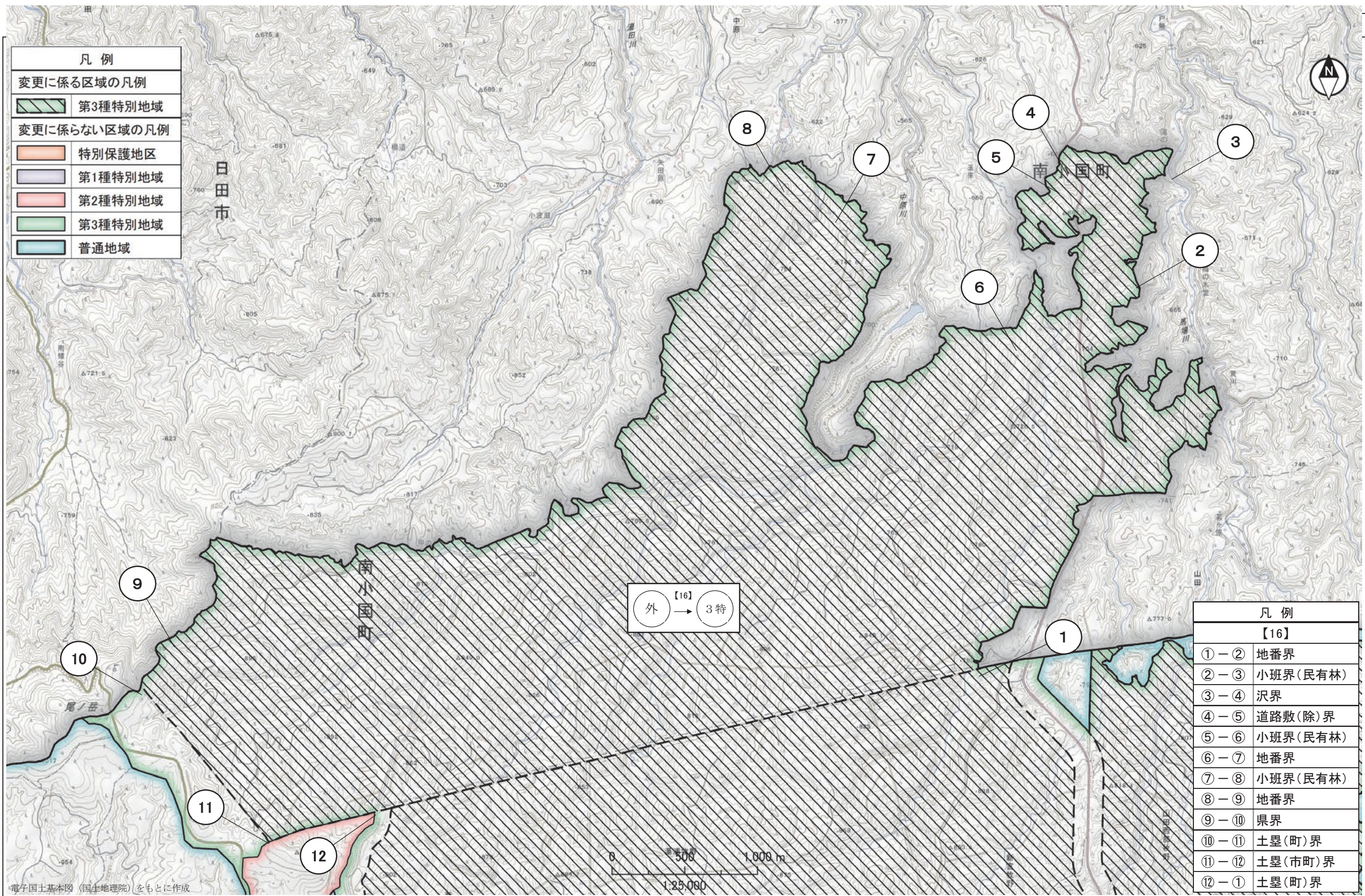
凡 例	
【10】	
22 - 23	地番界
23 - 24	土塁界
24 - 25	地番界
25 - 26	道路中心線から100m線界
26 - 22	道路中心線から100m線界

凡 例			
【9】			
① - ②	林班界(民有林)	⑫ - ⑬	道路中心線から100m線界
② - ③	小班界(民有林)	⑬ - ⑭	林班界(民有林)
③ - ④	林班界(民有林)	⑭ - ⑮	小班界(民有林)
④ - ⑤	小班界(民有林)	⑮ - ⑯	林班界(民有林)
⑤ - ⑥	林班界(民有林)	⑯ - ⑰	道路中心線から100m線界
⑥ - ⑦	小班界(民有林)	⑰ - ⑱	道路中心線から500m線界
⑦ - ⑧	林班界(民有林)	⑱ - ⑲	林班界(民有林)
⑧ - ⑨	小班界(民有林)	⑲ - ⑳	土塁界
⑨ - ⑩	林班界(民有林)	㉑ - ㉒	林班界(民有林)
⑩ - ⑪	小班界(民有林)	㉒ - ①	道路中心線から500m線界
⑪ - ⑫	地番界		

電子国土基本図(国土地理院)をもとに作成





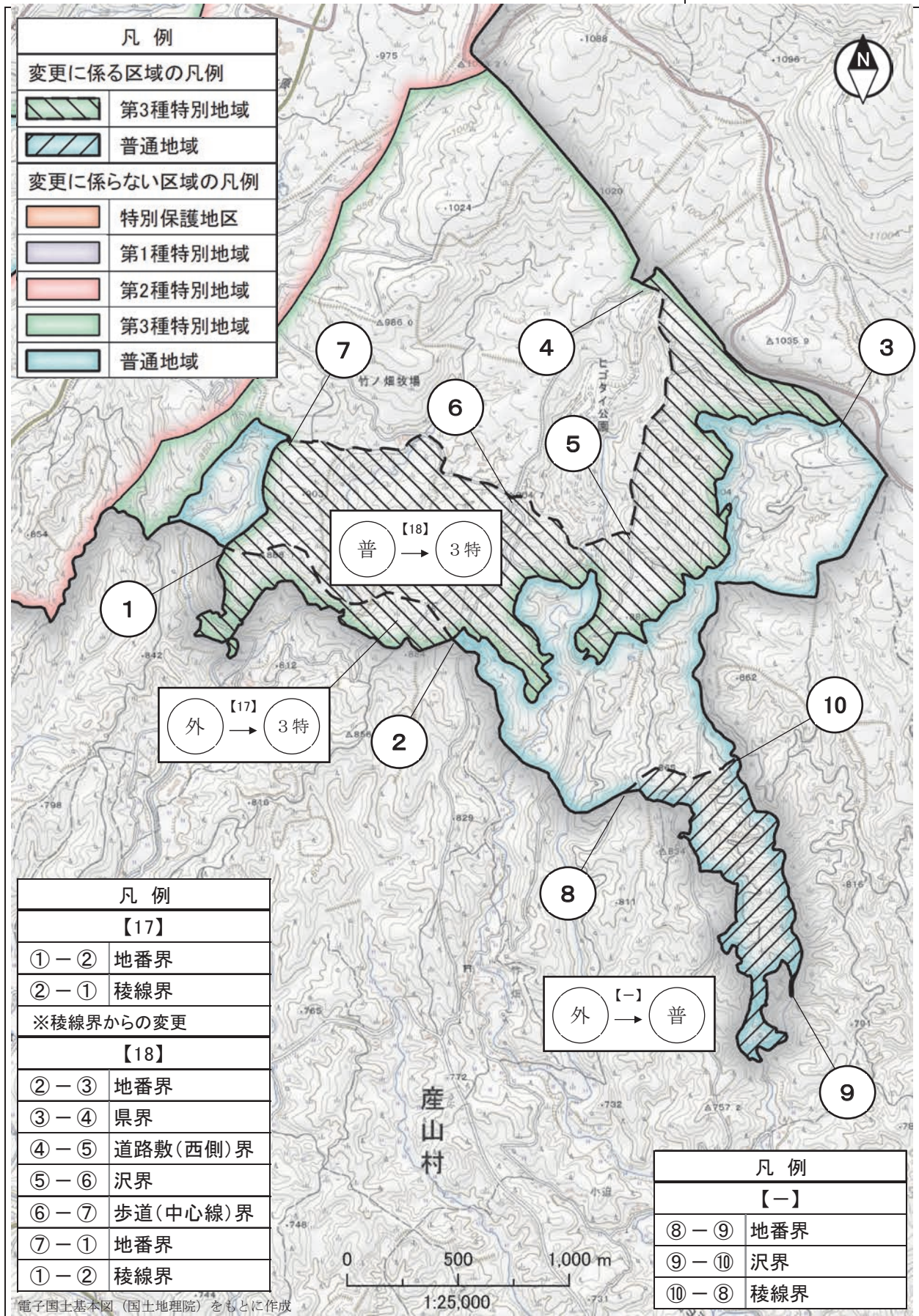


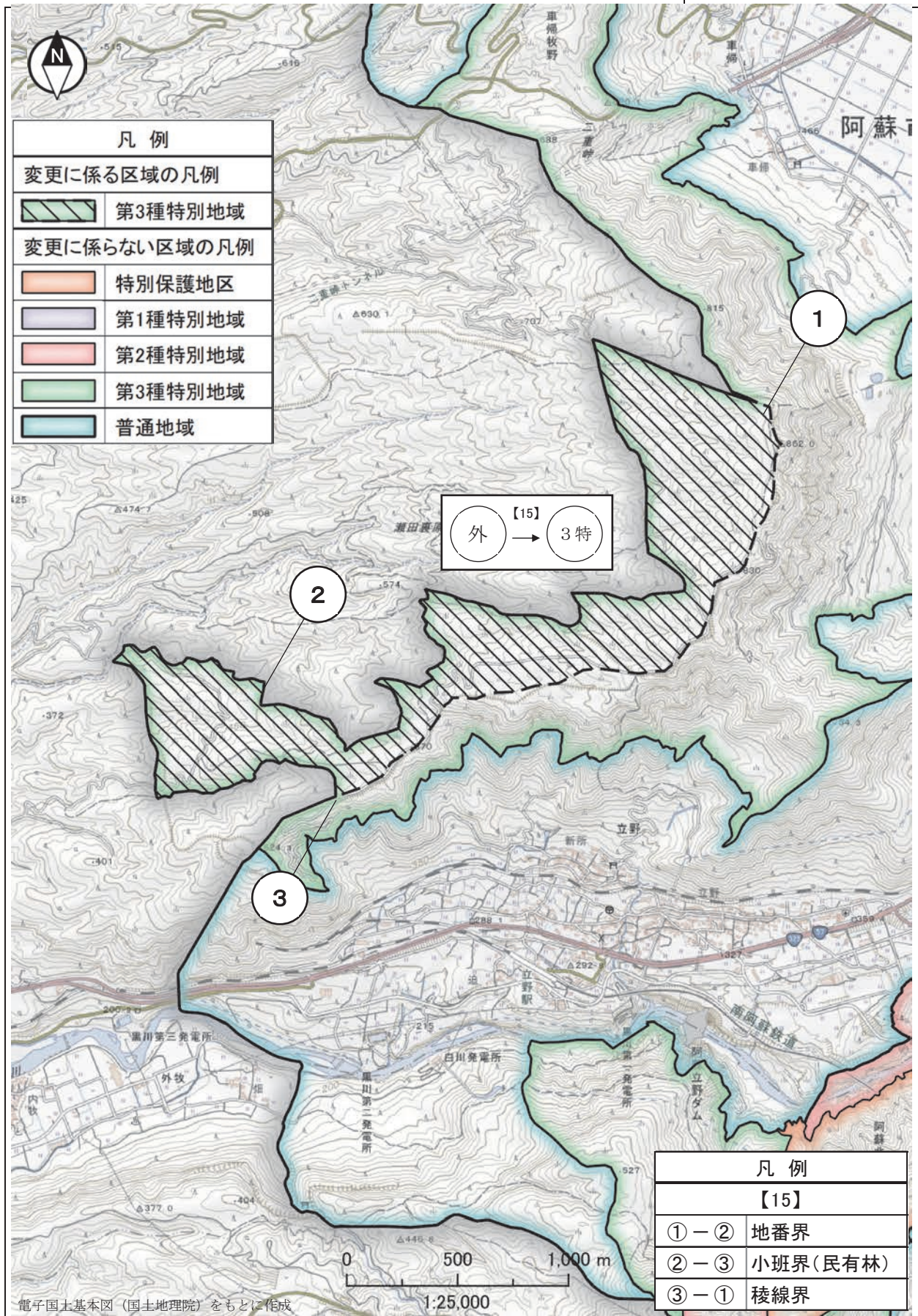
凡 例	
変更に係る区域の凡例	
	第3種特別地域
変更に係らない区域の凡例	
	特別保護地区
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	普通地域

凡 例	
【16】	
①－②	地番界
②－③	小班界(民有林)
③－④	沢界
④－⑤	道路敷(除)界
⑤－⑥	小班界(民有林)
⑥－⑦	地番界
⑦－⑧	小班界(民有林)
⑧－⑨	地番界
⑨－⑩	県界
⑩－⑪	土塁(町)界
⑪－⑫	土塁(市町)界
⑫－①	土塁(町)界

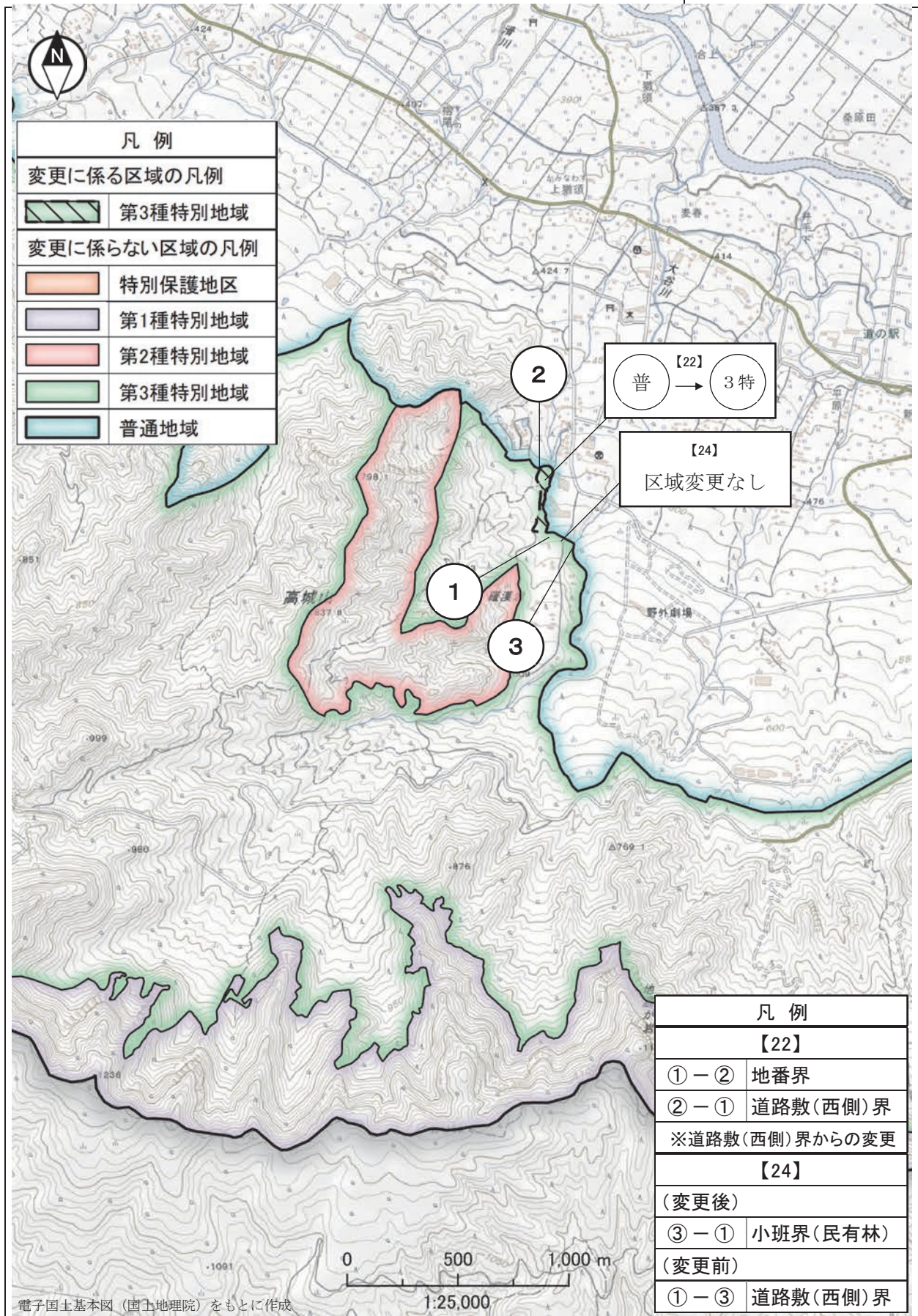
外 $\xrightarrow{[16]}$ 3特

保護規制計画変更図9

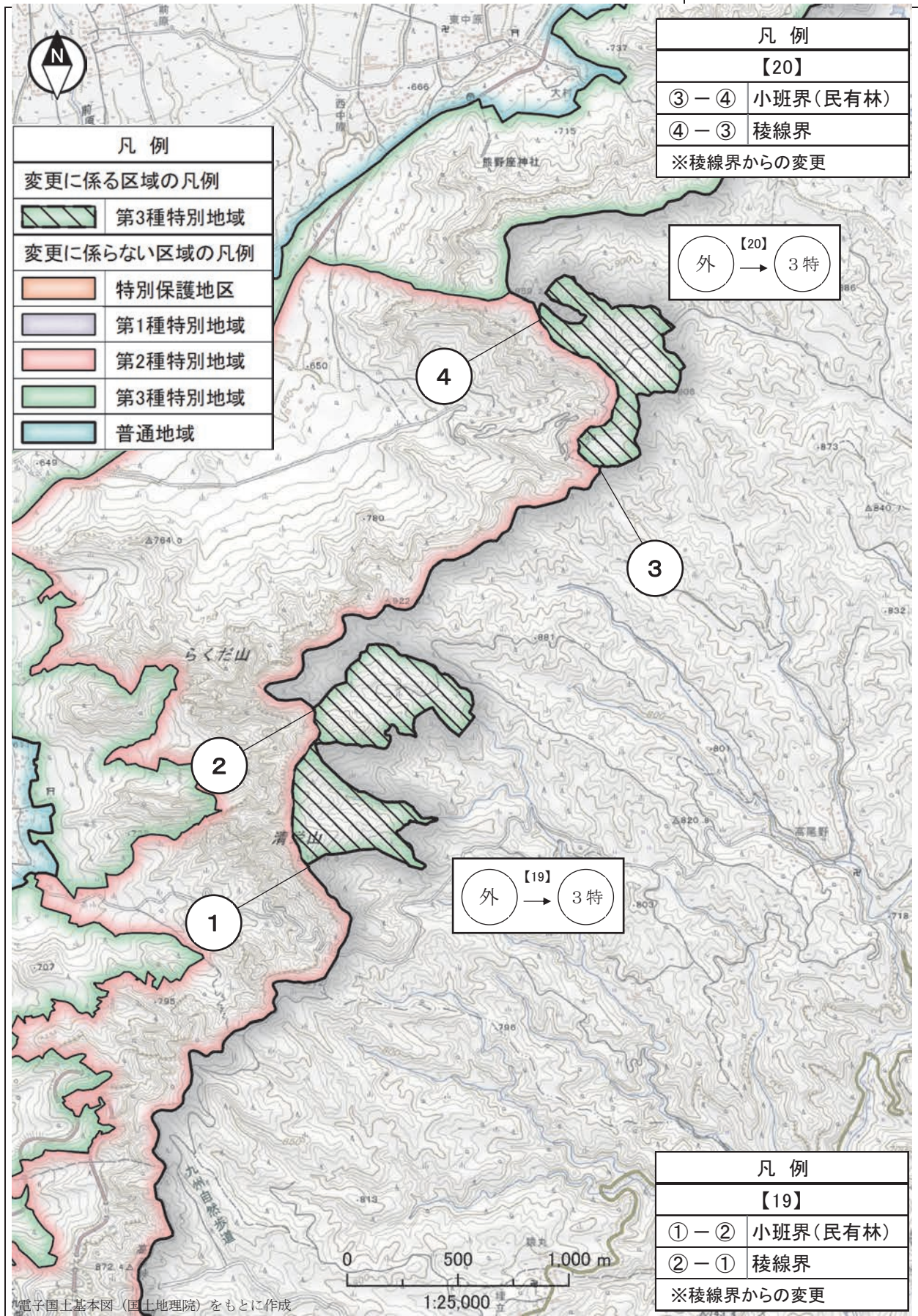


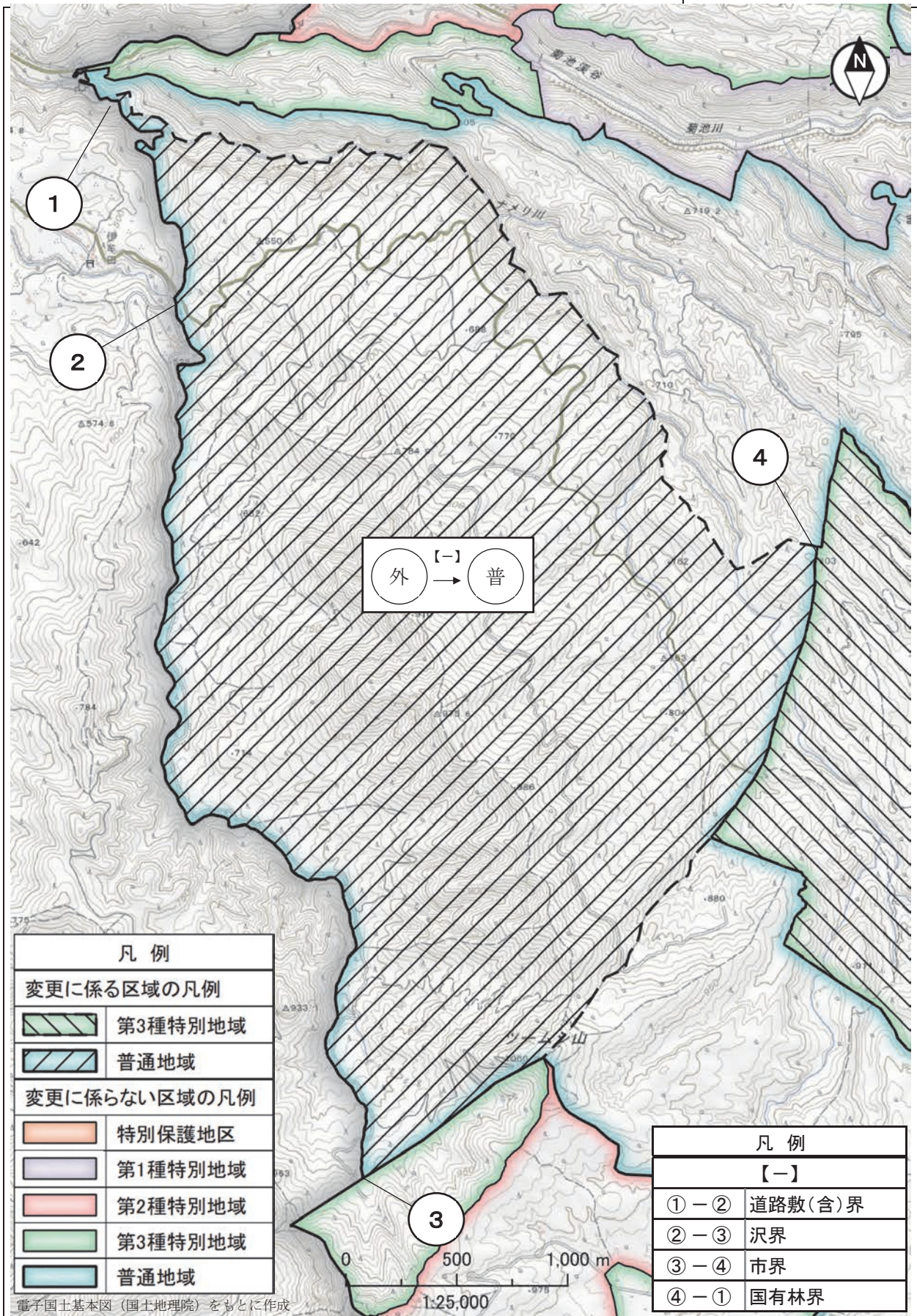


保護規制計画変更図 11

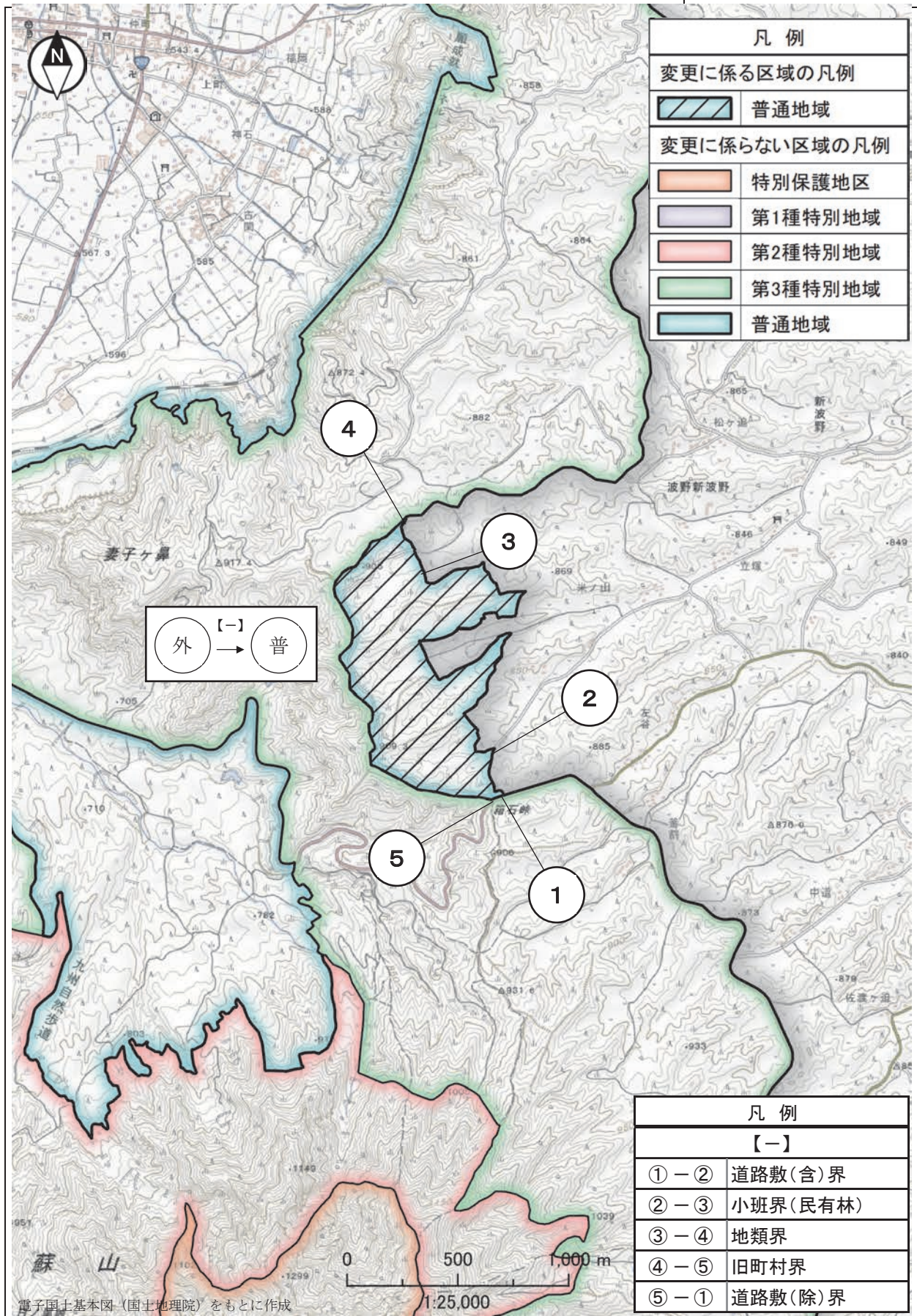


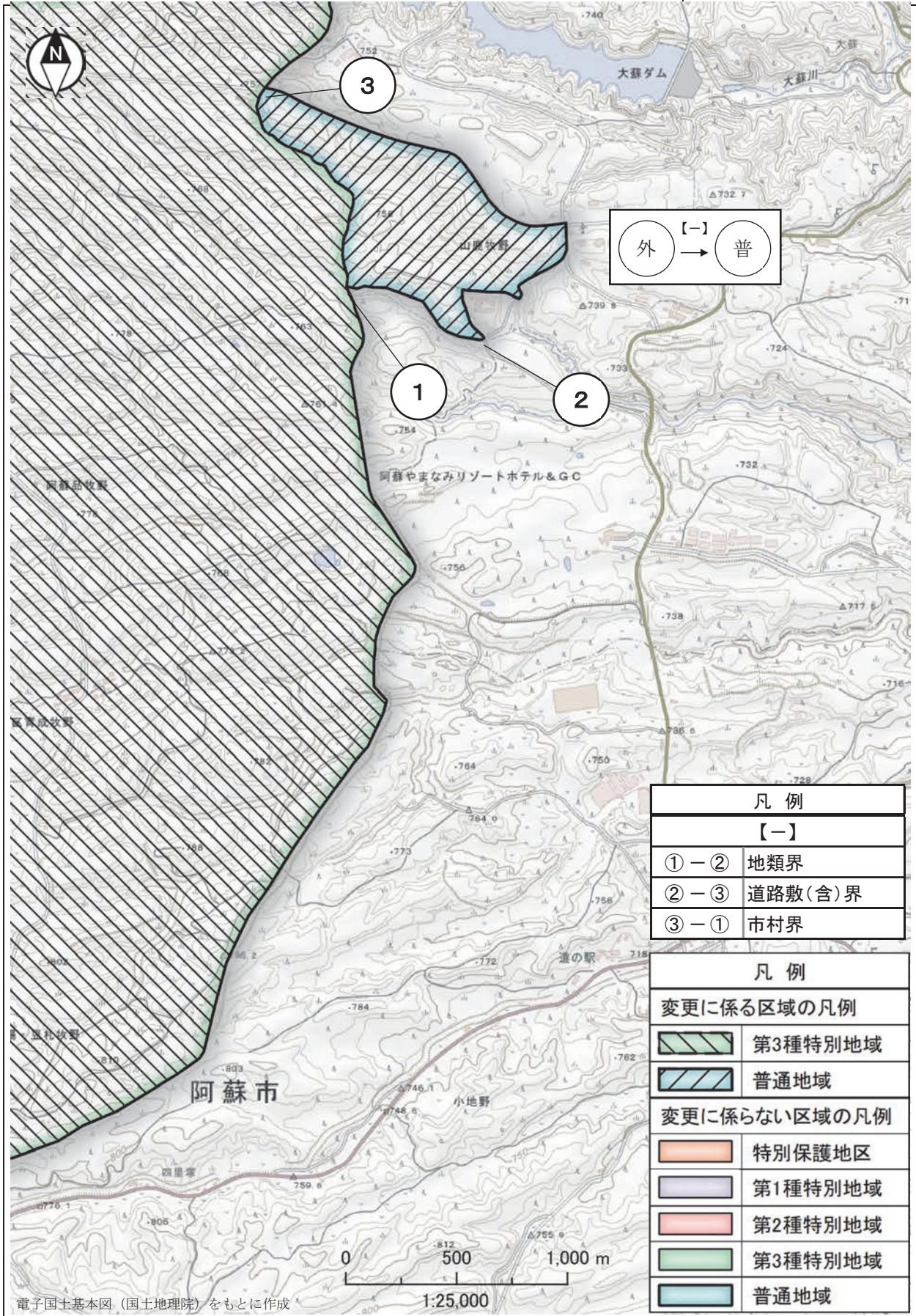
保護規制計画変更図 12

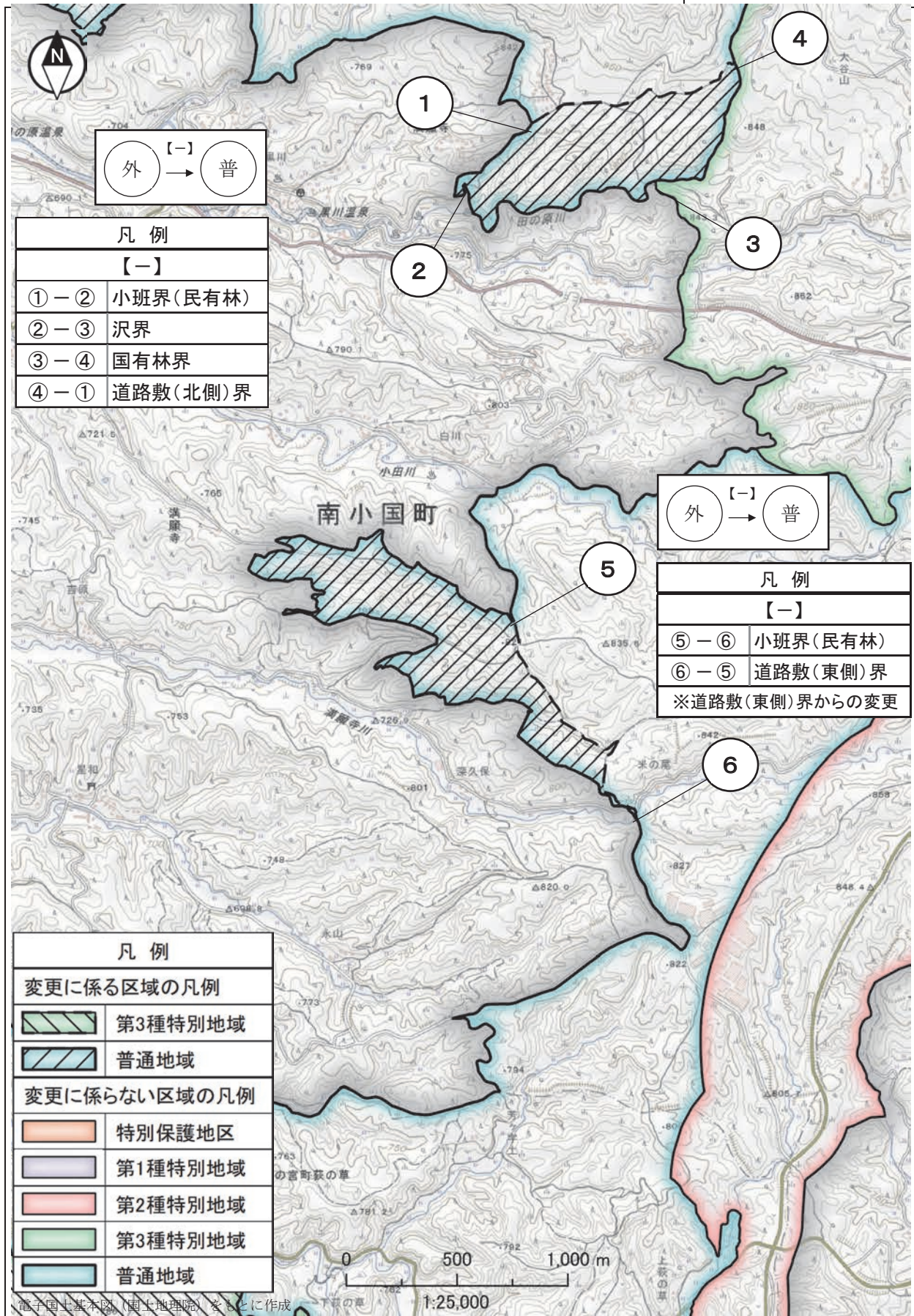


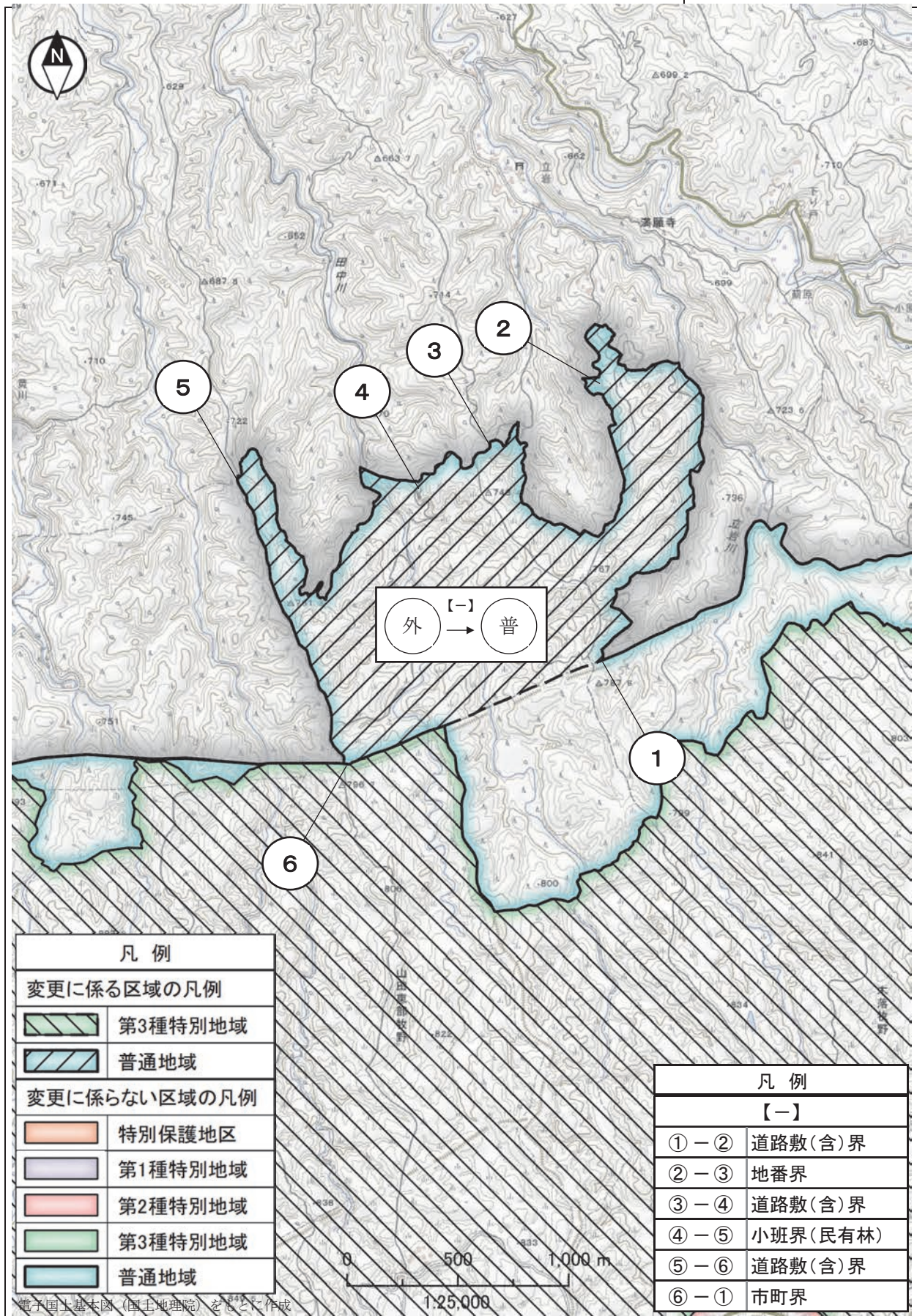


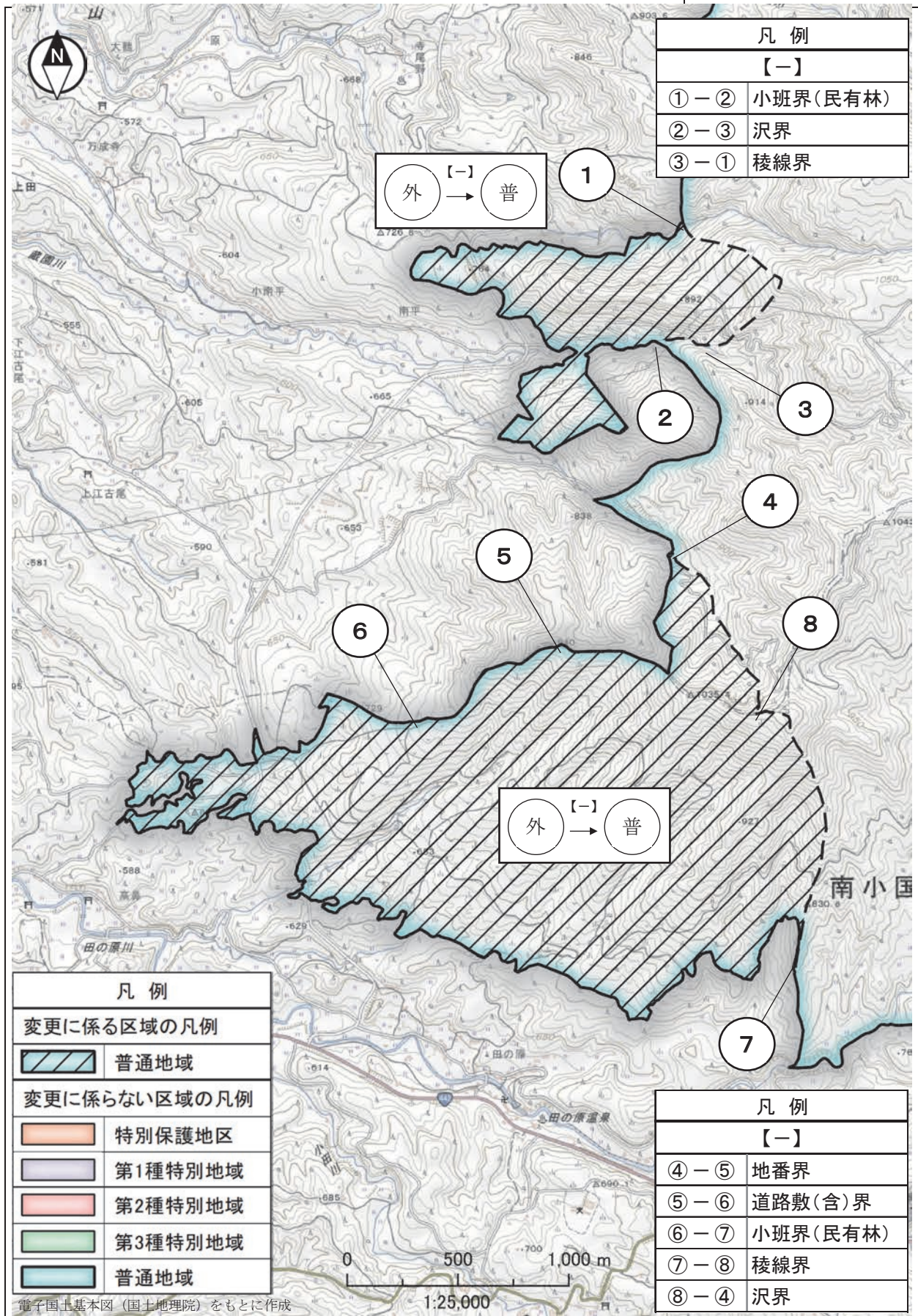
保護規制計画変更図 14



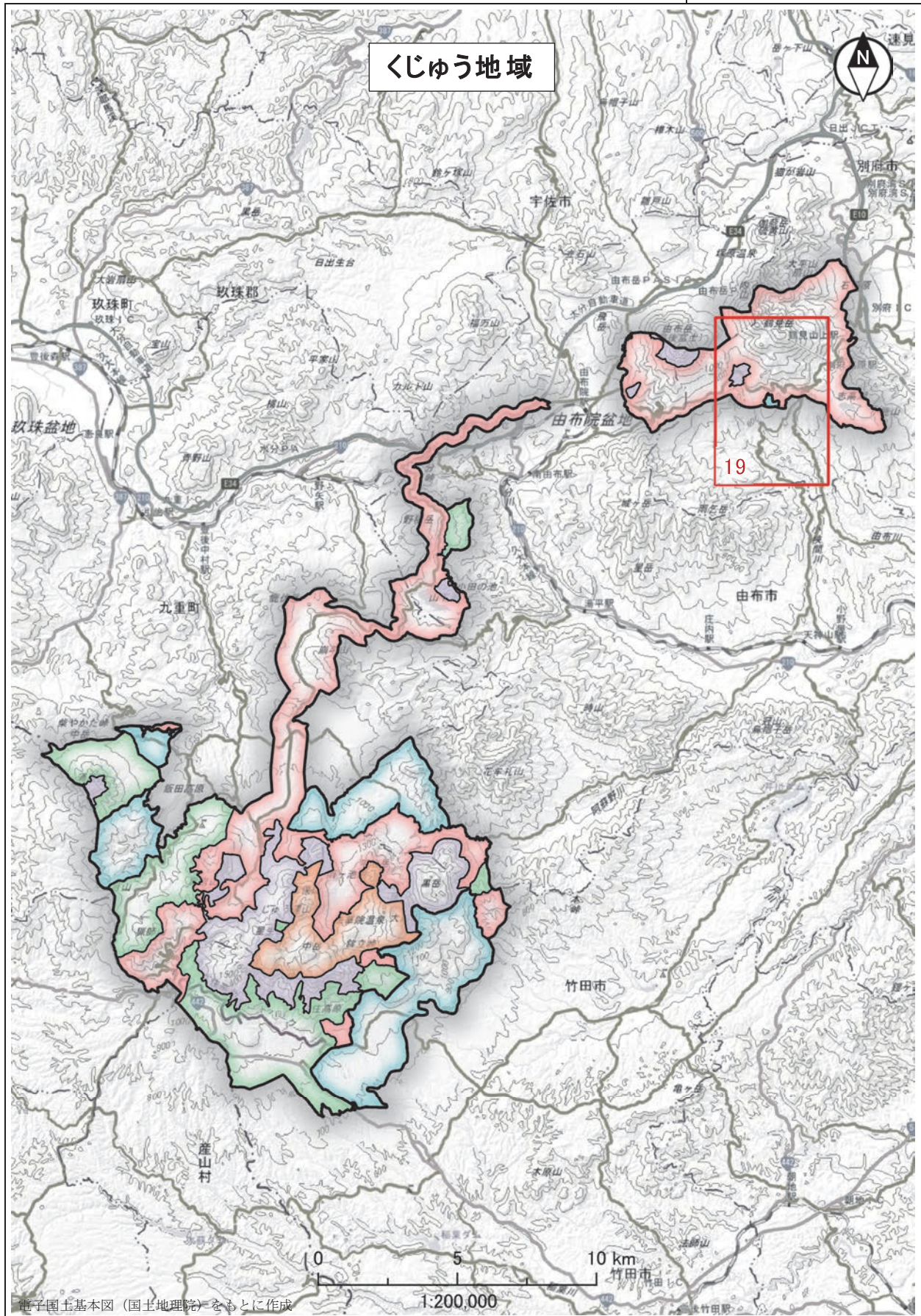




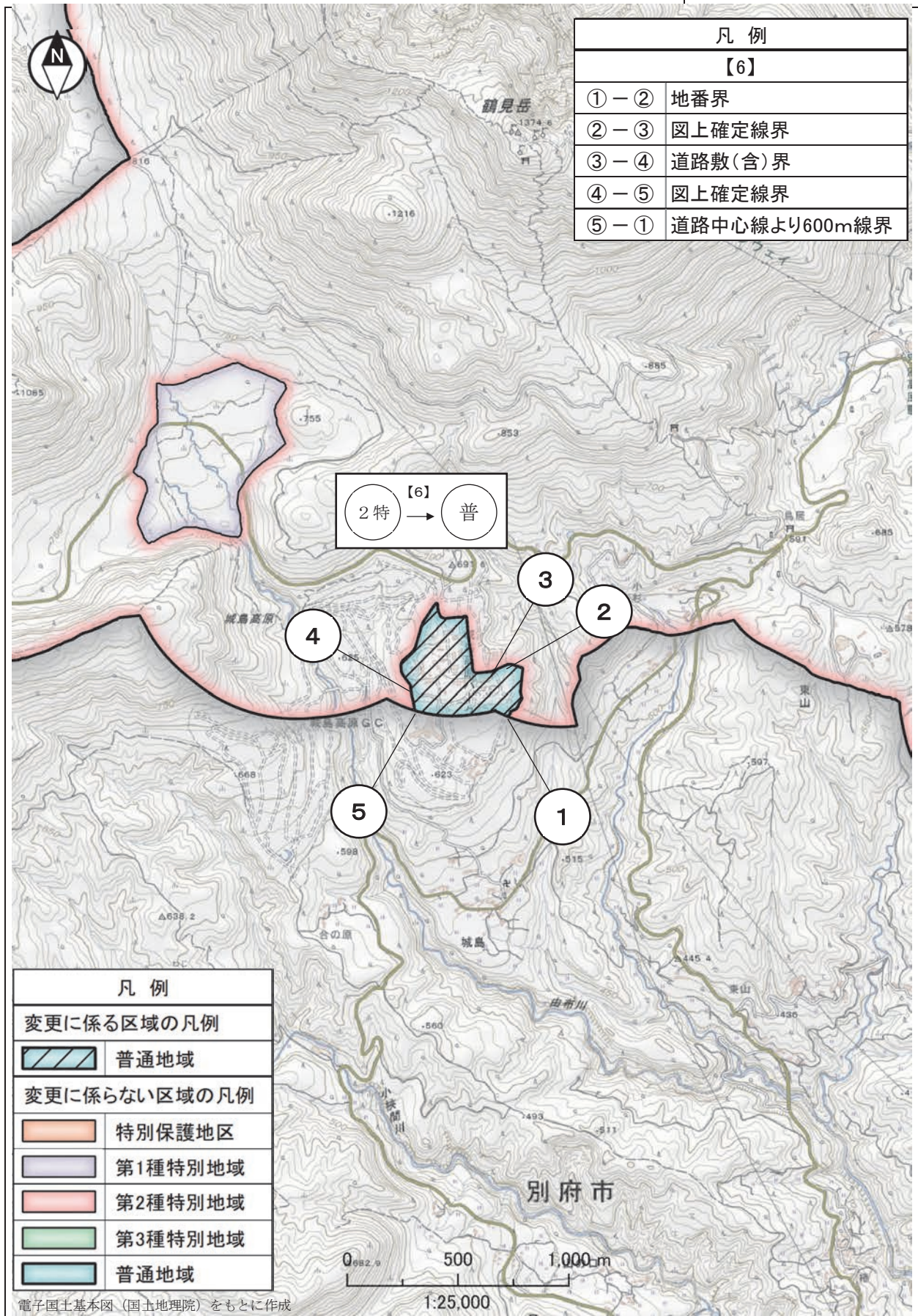




規制計画変更位置図2



電子国土基本図（国土地理院）をもとに作成



4 事業計画の変更内容

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

次の保護施設計画を変更する。

(表 12：保護施設変更表)

番号	種 類	現 行			新 規		理 由
		位 置	整備方針	告示年月日	番号	位置	
6	自然再生施設	熊本県阿蘇市、阿蘇郡南小国町、同郡小国町、同郡産山村、同郡高森町及び同郡南阿蘇村(阿蘇草原)	草原(野草地)の野焼きを継続・復活するための整備、採草等の管理を促進するための整備を、様々な関係者との協力により行う。 また、草原内に点在する湿地や希少種の生息・生育地について、当該地及びその周辺環境を整備する。 さらに、草原環境や自然再生事業に関する情報を発信し、草原環境教育を推進するため、	平成 17 年 7 月 12 日告示	6	熊本県阿蘇市、 <u>菊池郡大津町</u> 、 <u>阿蘇郡南小国町</u> 、 <u>同郡小国町</u> 、 <u>同郡産山村</u> 、 <u>同郡高森町</u> 及び <u>同郡南阿蘇村</u> (阿蘇草原)	国立公園区域として新たに指定する範囲に含まれる草原が包含されるよう拡張する。

			草原再生活動の拠点施設や希少植物等の展示草原を整備する。						
--	--	--	------------------------------	--	--	--	--	--	--

イ 利用施設計画

利用施設計画の一部を次のとおり変更する。

(ア) 単独施設

次の単独施設を追加する。

(表 13：単独施設追加表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
127 【変更 図 2】	園地	熊本県阿蘇郡南小国町（押戸石）	阿蘇外輪山の草原の丘にある巨石群と雄大な景観を活かした展望休憩の場として整備する。	新規
128 【変更 図 5】	園地	熊本県阿蘇郡南小国町（マゼノ溪谷）	大きな岩肌を洗うように流れる清流と生い茂る広葉樹のコントラストを楽しむための探勝の場として整備する。	新規
129 【変更 図 5】	野営場	熊本県阿蘇郡南小国町（甲の瀬）	阿蘇外輪山の草原とそこに流れる川を活かし野外宿泊の拠点として整備する。	新規
130 【変更 図 7】	宿舎	大分県竹田市（久住山南登山口）	阿蘇五岳の雄大な景観と九重山群南麓の自然草地に囲まれた自然環境を活かした滞在拠点として整備する。	新規

(イ) 道路

a 車道

次の車道を変更する。

(表 14：道路（車道）変更表)

現 行					新 規					理由
番号	路線名	区間	主要経過地	告示年月日	番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	
1	阿蘇北外輪山線	起点－熊本県菊池市（念仏橋・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（湯浦・車道合流点） 終点－熊本県阿蘇市（中通・車道合流点） 起点－熊本県阿蘇市（手野・車道分岐点） 終点－熊本県阿蘇市（坂の上・国立公園境界）	菊池溪谷 兜岩 大観峰 木落	昭 54. 12. 14 告示	1 【変更図 1】	阿蘇北外輪山線	起点－熊本県菊池市（念仏橋・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（湯浦・車道合流点） 終点－熊本県阿蘇市（中通・車道合流点） 起点－熊本県阿蘇市（手野・車道分岐点） <u>終点－熊本県阿蘇郡産山村（山鹿・国立公園境界）</u> 終点－熊本県阿蘇市（坂の上・国立公園境界）	菊池溪谷 兜岩 大観峰 木落	菊池市方面から菊池溪谷を通り、阿蘇北外輪を通過し、阿蘇五岳を眺望する道路である。道路沿線には、休憩のための小規模な園地を整備する。	国立公園区域として新たに指定する範囲に包含されるよう路線を延長する。
6	小国阿蘇線	起点－熊本県阿蘇市（茗ヶ原西方・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（坊中・車道合流点）	大観峰 内牧	昭 54. 12. 14 告示	6 【変更図 2】	小国阿蘇線	起点－熊本県阿蘇郡南小国町（赤馬場・国立公園境界） 終点－熊本県阿蘇市（坊中・車道合流点）	大観峰 内牧	日田、小国方面から大観峰を通り、阿蘇と結ぶ車道であり、ドライブや展望を楽しむ道路である。	国立公園区域として新たに指定する範囲に包含されるよう路線を延長する。

b 歩道

次の歩道を追加する。

(表 15：道路（歩道）追加表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
42 「変更図 4」	鞍岳登山線	起点－熊本県菊池市（鞍岳山頂第一駐車場） 終点－熊本県菊池市（ツームシ山山頂）	鞍岳	鞍岳山頂第一駐車場から鞍岳を経てツームシ山山頂までの探勝歩道として整備する。	新規
43 【変更図 6】	瀬の本扇ヶ鼻線	起点－大分県玖珠郡九重町（瀬の本） 終点－大分県玖珠郡九重町（扇ヶ鼻・歩道分岐点）	岩井川岳	瀬の本から岩井川岳を経由し、扇ヶ鼻へ至る登山道等として整備する。	新規

次の歩道を変更する。

(表 16：道路（歩道）変更表)

現 行					新 規					理由
番号	路線名	区間	主要経過地	告示年月日	番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	
35	長者原法華院線	起点－大分県玖珠郡九重町（長者原集団施設地区） 終点－大分県竹田市（北千里ヶ浜・歩道合流点） 終点－大分県竹田市及び玖珠郡九重町（三俣山山頂）	諏蛾守越	昭 56. 12. 14 告示 令 2 . 10. 22 変更	35 【変更図 6】	長者原法華院線	起点－大分県玖珠郡九重町（長者原集団施設地区） 起点－大分県玖珠郡九重町（大曲） 終点－大分県竹田市（北千里ヶ浜・歩道合流点） 終点－大分県竹田市及び玖珠郡九重町（三俣山山頂）	諏蛾守越	長者原集団施設地区から諏蛾守越経由で法華院へ至る歩道として整備する。 また、諏蛾守越から分岐して、三俣山山頂に至る路線として整備する。	長者原法華院線の支線として、大曲を起点とする歩道を追加する。

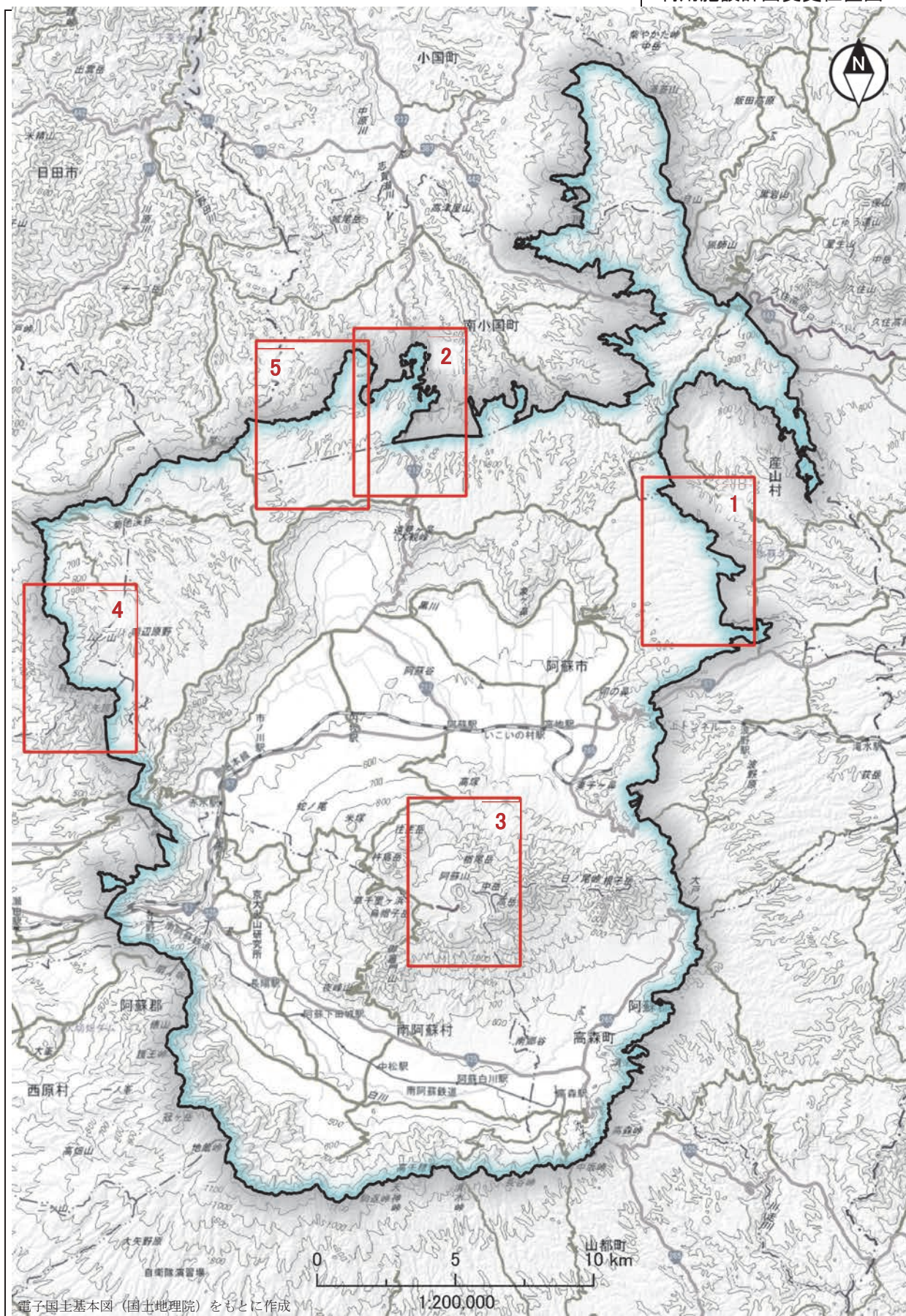
(ウ) 運輸施設

次の運輸施設を削除する。

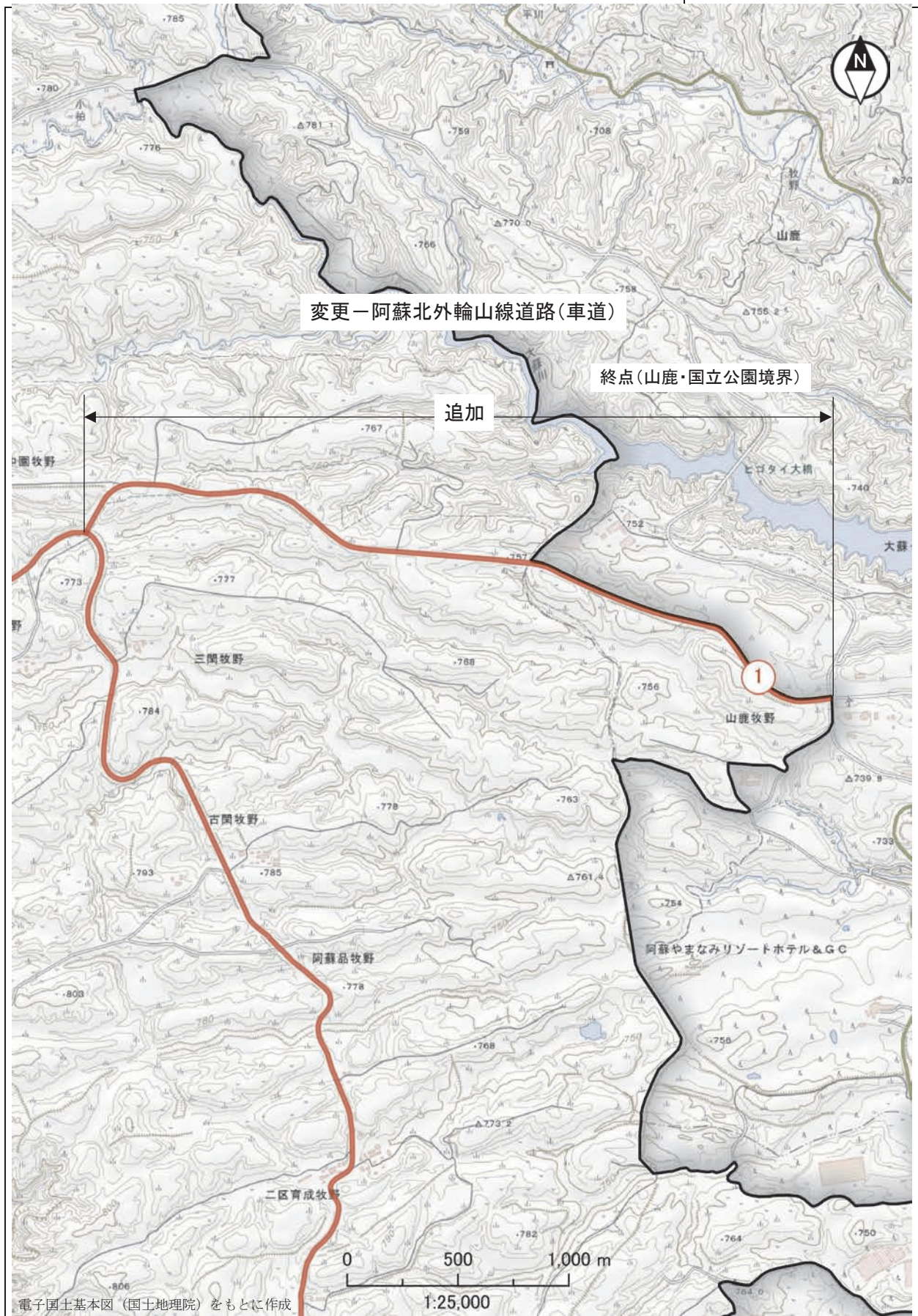
(表 17：運輸施設削除表)

番号	路線名	種類	位置又は区間	主要経過地	告示年月日	理由
1 【変更 3】	仙酔峡線	索道運送施設	起点－熊本県阿蘇市（仙酔峡） 終点－熊本県阿蘇市（中岳中腹）		昭 54. 12. 14 告示	地震によって被災し、事業が廃止され ており、今後利用再開の目処もな いため。
2 【変更 3】	中岳火口線	索道運送施設	起点－熊本県阿蘇市（古坊中） 終点－熊本県阿蘇市（中岳火口縁）		昭 54. 12. 14 告示	地震によって被災し、事業が廃止され ており、今後利用再開の目処もな いため。

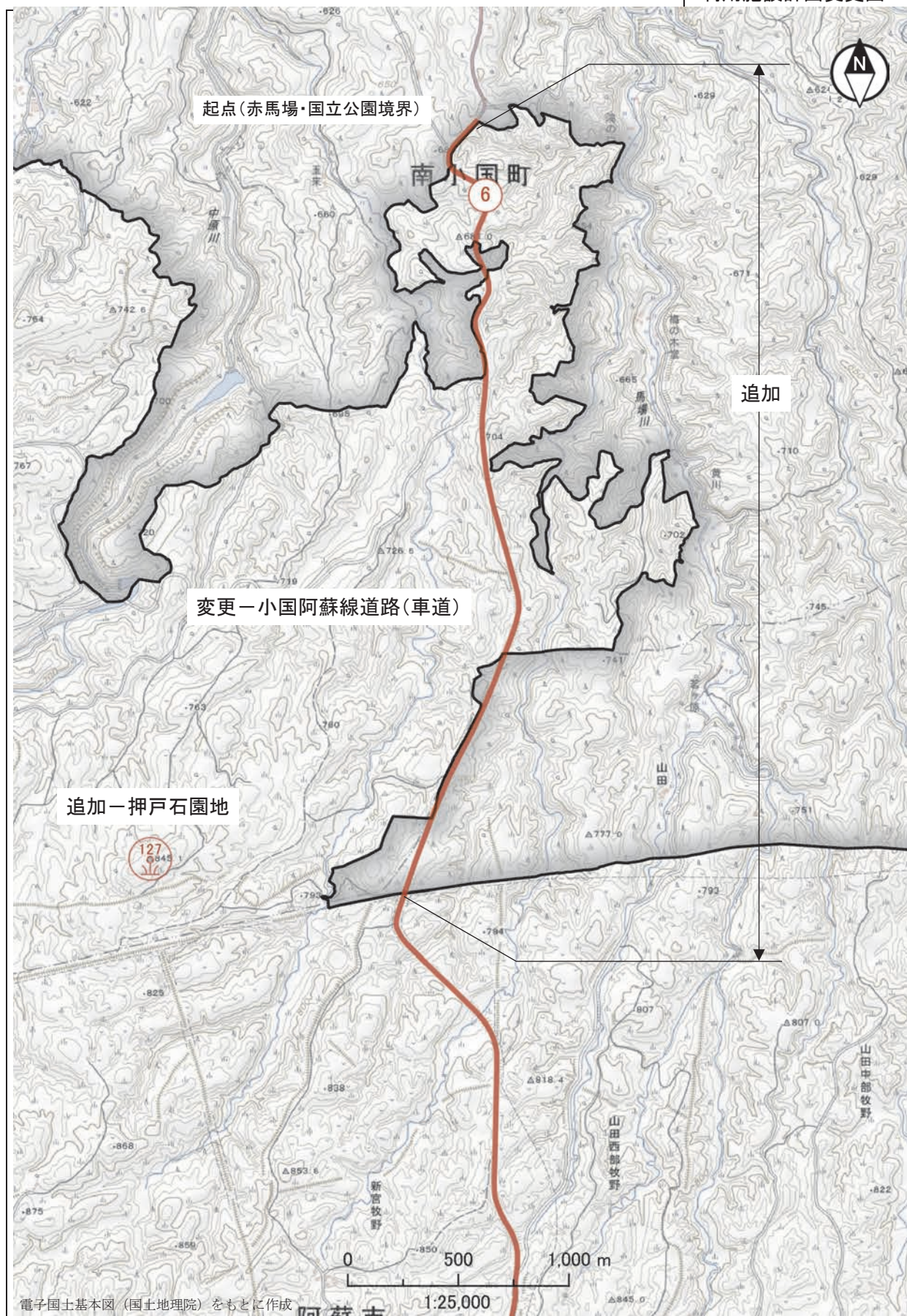
利用施設計画変更位置図 1



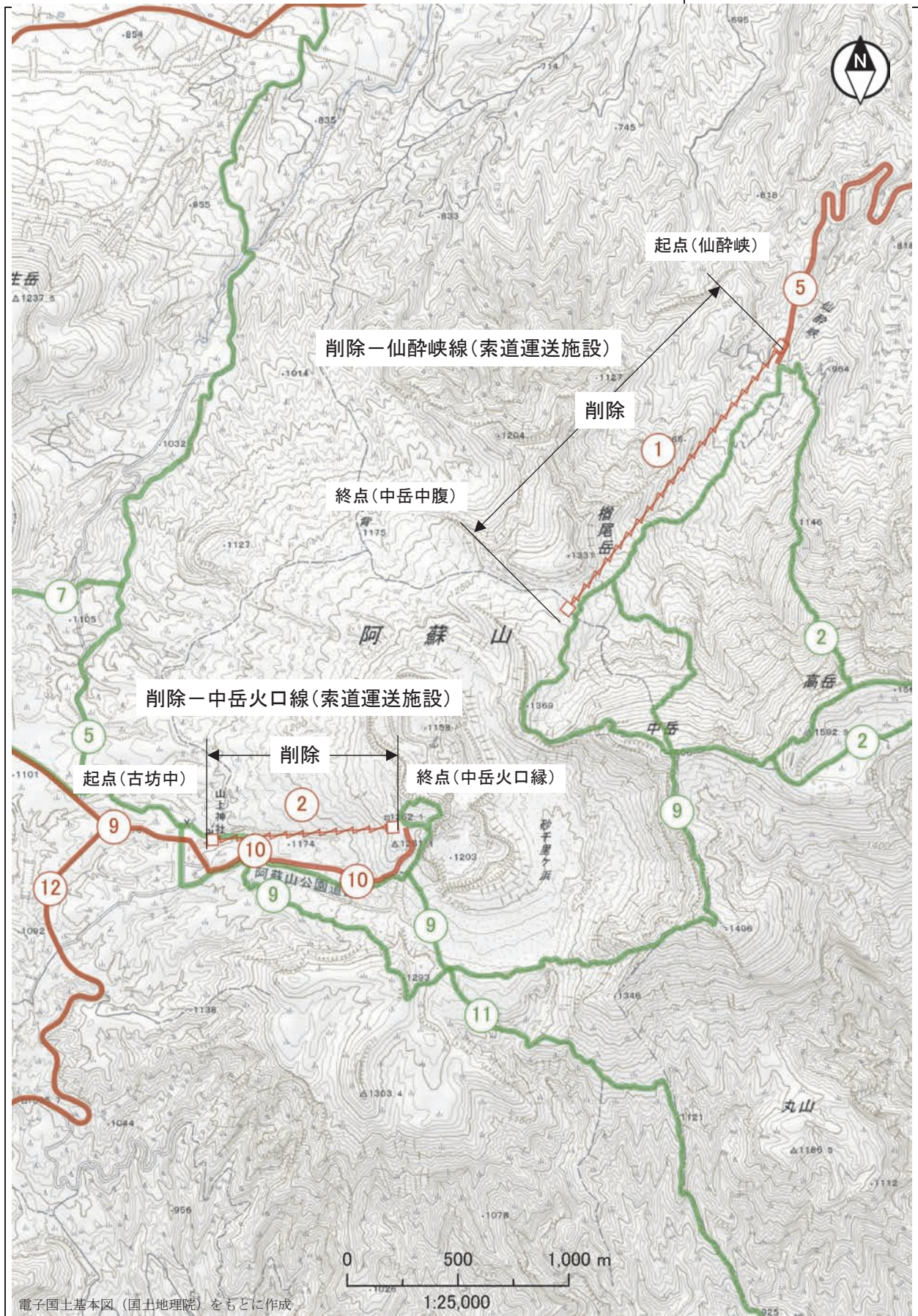
利用施設計画変更図 1



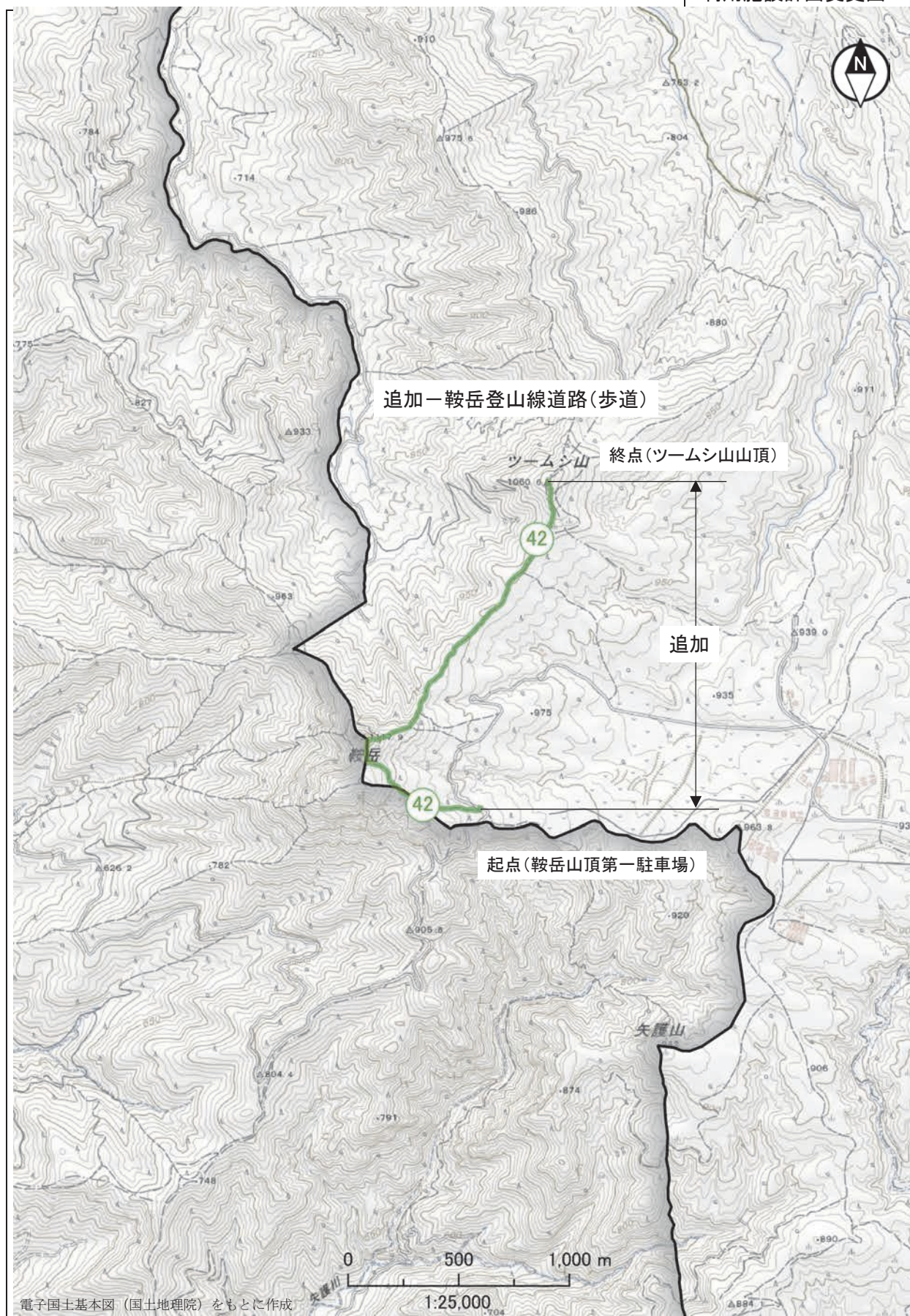
利用施設計画変更図 2



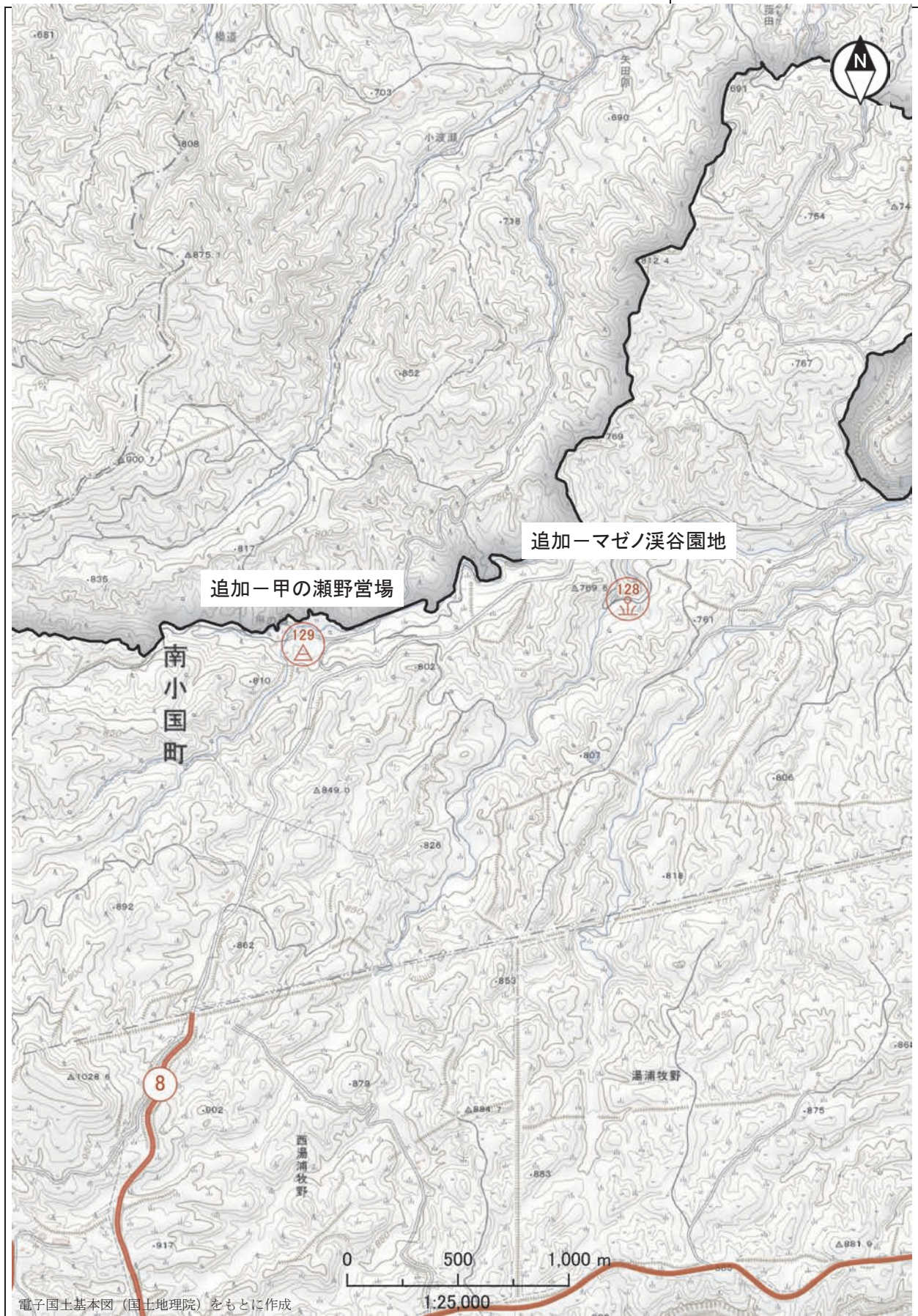
利用施設計画変更図 3



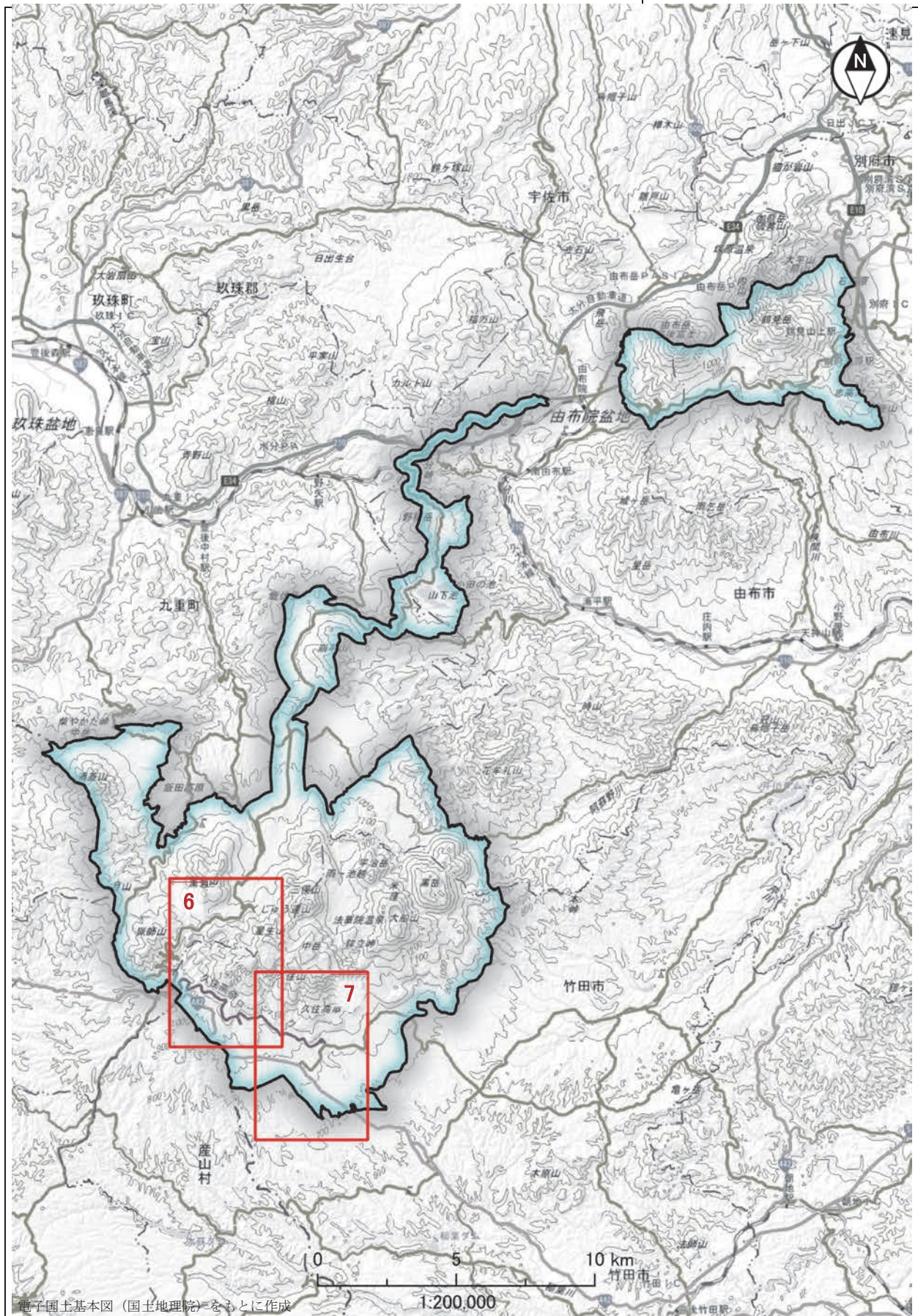
利用施設計画変更図 4



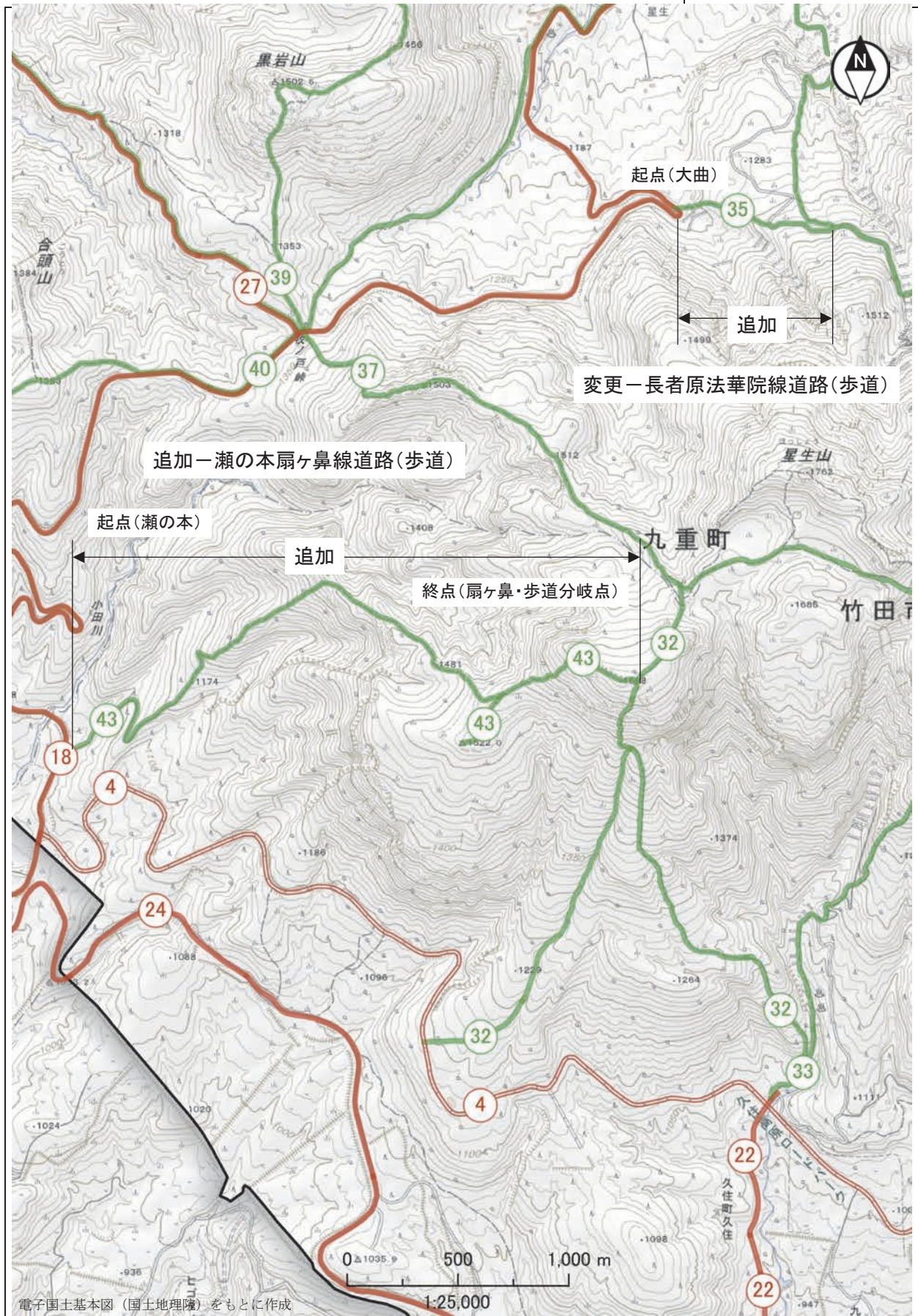
利用施設計画変更図 5



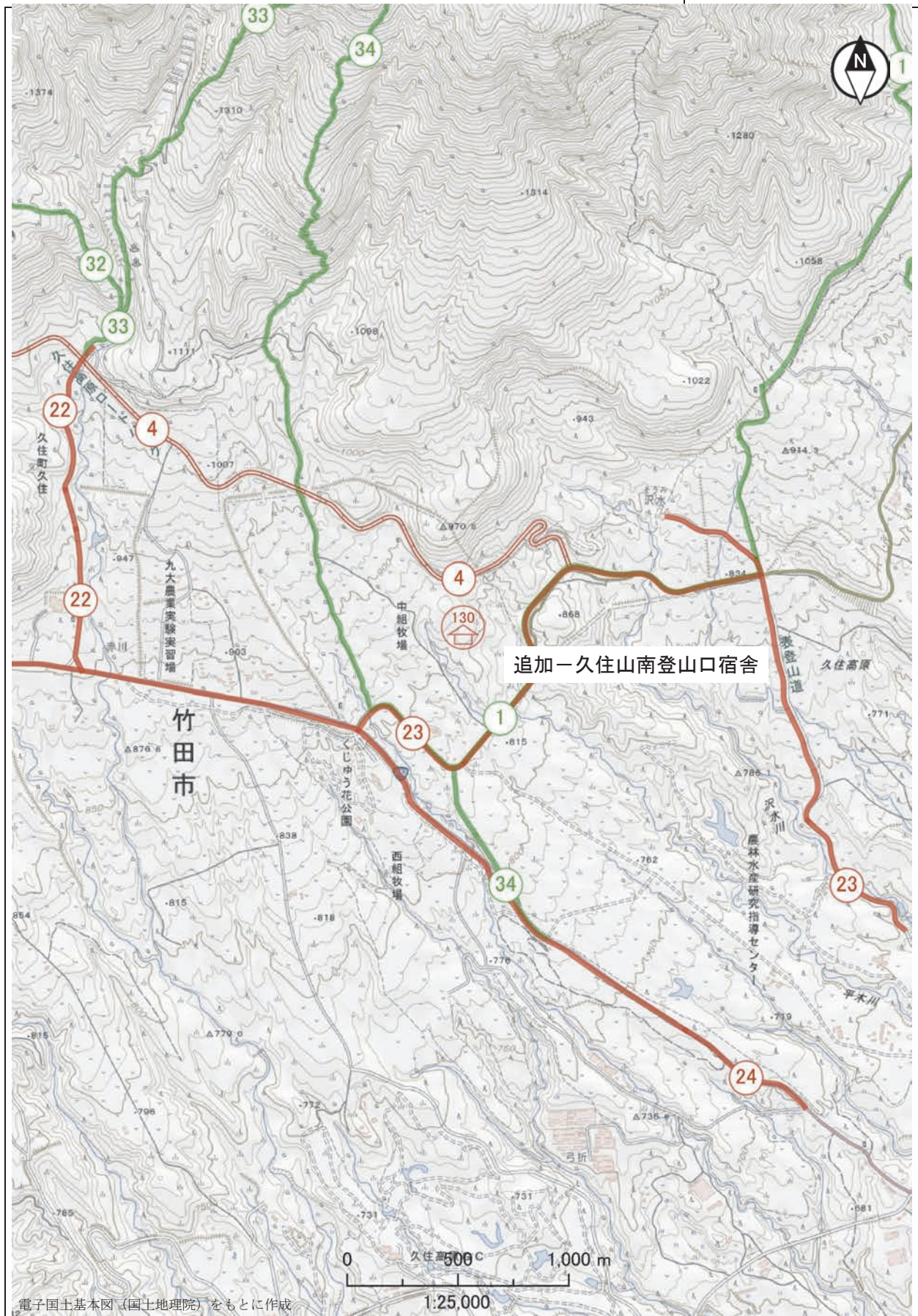
利用施設計画変更位置図 2



利用施設計画変更図 6



利用施設計画変更図 7



5 参考事項

参考事項を次のとおり変更する。

(表 18：参考事項変更表)

変更前			変更後		
(1)	過去の経緯		(1)	過去の経緯	
昭和 9 年 12 月 4 日	阿蘇及び九重地域が阿蘇国立公園に指定		昭和 9 年 12 月 4 日	阿蘇及び九重地域が阿蘇国立公園に指定	
昭和 13 年 5 月 13 日	特別地域の指定		昭和 13 年 5 月 13 日	特別地域の指定	
昭和 28 年 9 月 1 日	公園区域の拡張（鶴見岳周辺道路沿線）及び特別地域の変更		昭和 28 年 9 月 1 日	公園区域の拡張（鶴見岳周辺道路沿線）及び特別地域の変更	
昭和 31 年 5 月 1 日	公園区域の削除（高崎山地区を瀬戸内海国立公園へ編入）		昭和 31 年 5 月 1 日	公園区域の削除（高崎山地区を瀬戸内海国立公園へ編入）	
昭和 40 年 3 月 25 日	公園区域の拡張及び削除（横断道路沿線）及び特別地域（含む特別保護地区）の変更		昭和 40 年 3 月 25 日	公園区域の拡張及び削除（横断道路沿線）及び特別地域（含む特別保護地区）の変更	
昭和 54 年 12 月 14 日	公園区域及び公園計画の変更（阿蘇地域の再検討）		昭和 54 年 12 月 14 日	公園区域及び公園計画の変更（阿蘇地域の再検討）	
昭和 56 年 2 月 3 日	利用計画の一部変更（阿蘇山頂地区）		昭和 56 年 2 月 3 日	利用計画の一部変更（阿蘇山頂地区）	
昭和 56 年 3 月 25 日	利用計画の一部変更（阿蘇山頂地区）		昭和 56 年 3 月 25 日	利用計画の一部変更（阿蘇山頂地区）	
昭和 56 年 12 月 14 日	公園区域及び公園計画の変更（九重・由布鶴見地域の再検討）		昭和 56 年 12 月 14 日	公園区域及び公園計画の変更（九重・由布鶴見地域の再検討）	
昭和 61 年 9 月 10 日	公園区域及び公園計画の一部変更（第1次点検）及び公園の名称変更（阿蘇くじゅう）		昭和 61 年 9 月 10 日	公園区域及び公園計画の一部変更（第1次点検）及び公園の名称変更（阿蘇くじゅう）	
平成 2 年 12 月 1 日	公園計画の一部変更（小田の池、山下池を乗入れ規制地域に指定）		平成 2 年 12 月 1 日	公園計画の一部変更（小田の池、山下池を乗入れ規制地域に指定）	
平成 4 年 8 月 26 日	公園計画の一部変更（九州自然歩道の路線変更）		平成 4 年 8 月 26 日	公園計画の一部変更（九州自然歩道の路線変更）	

変更前			変更後		
平成 7 年 12 月 12 日	公園区域及び公園計画の一部変更(第2次点検)	公園区域及び公園計画の一部変更(第2次点検)	平成 7 年 12 月 12 日	公園区域及び公園計画の一部変更(第2次点検)	公園区域及び公園計画の一部変更(第2次点検)
平成 16 年 4 月 21 日	公園区域及び公園計画の一部変更(くじゅう地域第3次点検、変更なし)	公園区域及び公園計画の一部変更(くじゅう地域第3次点検、変更なし)	平成 16 年 4 月 21 日	公園区域及び公園計画の一部変更(くじゅう地域第3次点検、変更なし)	公園区域及び公園計画の一部変更(くじゅう地域第3次点検、変更なし)
平成 17 年 7 月 12 日	公園計画の一部変更(自然再生施設の追加)	公園計画の一部変更(自然再生施設の追加)	平成 17 年 7 月 12 日	公園計画の一部変更(自然再生施設の追加)	公園計画の一部変更(自然再生施設の追加)
平成 21 年 10 月 28 日	公園計画の一部変更(阿蘇地域第3次点検)	公園計画の一部変更(阿蘇地域第3次点検)	平成 21 年 10 月 28 日	公園計画の一部変更(阿蘇地域第3次点検)	公園計画の一部変更(阿蘇地域第3次点検)
平成 24 年 3 月 27 日	公園計画の一部変更(園地の追加)	公園計画の一部変更(園地の追加)	平成 24 年 3 月 27 日	公園計画の一部変更(園地の追加)	公園計画の一部変更(園地の追加)
令和 元年 8 月 30 日	公園計画の一部変更(園地の追加、歩道の区間変更)	公園計画の一部変更(園地の追加、歩道の区間変更)	令和 元年 8 月 30 日	公園計画の一部変更(園地の追加、歩道の区間変更)	公園計画の一部変更(園地の追加、歩道の区間変更)
令和 2 年 10 月 22 日	公園計画の一部変更(第5次点検)	公園計画の一部変更(第5次点検)	令和 2 年 10 月 22 日	公園計画の一部変更(第5次点検)	公園計画の一部変更(第5次点検)
令和 5 年 3 月 15 日	公園計画の一部変更(自然体験活動計画の追加)	公園計画の一部変更(自然体験活動計画の追加)	令和 5 年 3 月 15 日	公園計画の一部変更(自然体験活動計画の追加)	公園計画の一部変更(自然体験活動計画の追加)
令和 7 年 2 月 28 日	公園区域及び公園計画の一部変更(第6次点検)	公園区域及び公園計画の一部変更(第6次点検)	令和 7 年 2 月 28 日	公園区域及び公園計画の一部変更(第6次点検)	公園区域及び公園計画の一部変更(第6次点検)

この資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分 1 地勢図、5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図、電子地形図 25000 及び電子地形図 20 万を複製したものである。

本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

（測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R5JHf450）

